

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
愛知時計電機株式會社 勞働爭議の真相 北支を中心に捲起る アジアの嵐	神谷陸夫 山路久三郎 第二國民會 編纂部	・三〇 ・三〇 ・三〇 ・三〇	三〇 三〇 三〇 三〇	社會事情 大阪時事 新報社 第二國民會 出版部	北支事變の概要 (第二號) 抗日支那の真相 日・支遂に敵か	陸軍省 新聞班 平野馨 水上茂	・一〇 ・一〇 ・一〇 ・一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	陸軍省新聞班 平野書房 第一出版社
東洋平和の攪亂者 蔣介石を葬れ 時局知識二 支那の知識	長尾高義 清澤冽 室伏高信	・二〇 ・二〇 ・二〇	二〇 二〇 二〇	青年書房 東京講演部 東京出版部	北支事變 戰闘詳報 牧野元次郎氏の 銀行取付論	瀧川辰郎 石井嘉穂 長岡克曉 石井嘉穂	・四〇 ・四〇 ・四〇 ・四〇	四〇 四〇 四〇 四〇	大阪毎日 新開社 大阪毎日
建川中將國民新聞社長 を受諾す(他二篇) 藍衣社は躍る 蔣介石政權内部に 對立する諸勢力	大庭勝一 八幡博堂 小倉章宏	・二〇 ・二〇 ・二〇	二〇 二〇 二〇	鶴鳴莊出版部 開南俱樂部 東興社	通州兵變の真相 遂に戦はざる可か らざるなり 日支全面衝突と 列強の動向 どこまで行くか 日支事變	伊藤秀雄 安藤同盟 特派員 卜部直輔 片桐勝昌	・二〇 ・二〇 ・二〇 ・二〇 ・二〇	二〇 二〇 二〇 二〇 二〇	飛閣 森田書房 東京風書房 東京朝野新聞 出版部
謎の國・支那の全貌 支那の知識	室伏高信 清澤冽	・三〇 ・三〇	三〇 三〇	大東出版社 青年書房	北支事變と王明の 新論文 爆發の北支を現地に 見る	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會
挑戦する支那の實相 最近のドイツ事情	前駐支 武官支 孫田秀春	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	森田書房 東京實業教育 振興會	既定の方針 日本の大陸政策 政治學講義要旨 日本憲政史論集	花岡淳二 矢部貞治 尾佐竹猛	・二〇 ・二〇 ・二〇	二〇 二〇 二〇	パンフレット社 矢部貞治 成社
支那を屈するには 風雲の滿ソ國境 所有權無限の觀念を 拋棄せよ	石丸藤太 茂森唯士 長澤九一郎	・一五〇 ・一五〇 ・一五〇	一五〇 一五〇 一五〇	成社 太陽閣 國體原理 研究所	教育勸語と 警察精神の發揚 現代政治の諸問題 國際事情(續編九)	松井茂 高橋清吾 外務省 情報部	・一〇〇 ・一〇〇 ・一〇〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇	松華堂書店 有斐閣 榮堂
朝日時局讀本七 植民地の再分割 北支事變と最近の 世界情勢	星野辰男 馬奈木敬信 水野甚次郎	・二〇 ・二〇 ・二〇	二〇 二〇 二〇	東京朝日新聞 發行所 大阪毎日 社 吳港新報社	中國に於ける 外國人の地位 國體明徵我觀 日本國家學	入江啓四郎 木崎爲之 藤澤親雄 大串兎代夫	・六〇 ・六〇 ・六〇 ・六〇	六〇 六〇 六〇 六〇	日華關係法律 事務所 木崎爲之 高陽書院
羊頭狗肉な暴案劣策 生保國營案を駁撃す 海上勞働戰線解剖編	川口黎民 杉山善太郎 吉村忠三	・三〇 ・三〇 ・三〇	三〇 三〇 三〇	保險文化 研究所 中部港灣勞働組合 教育出版部	現代の外交 明日の日本建設 警察講習講義錄(五)	鹿島守之助 明石曉帆 淺井忠吉	・三〇 ・三〇 ・三〇	三〇 三〇 三〇	外交時報社 國體主義政治 經濟之研究會 日本警務學會
ソ情旬報 危機を孕める 佛領印度支那	暹羅室	・三〇	三〇	暹羅室			・三〇	三〇	

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
日本はどうなる? 天倫! 北支事變 ツ聯邦共産黨の 現況に就いて 青少年のための 時局讀本	小林一三 高谷覺藏 社會教育會 神庭伸之助	・一〇 ・一〇 ・一〇 ・一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	ニューウ・スト ビ 青年懇談會 出版部	九月	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會
日支事變と我勞働 運動の状態	神庭伸之助	・一〇	一〇	青年懇談會 出版部	九月	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會
支那を屈するには 風雲の滿ソ國境 所有權無限の觀念を 拋棄せよ	石丸藤太 茂森唯士 長澤九一郎	・一五〇 ・一五〇 ・一五〇	一五〇 一五〇 一五〇	成社 太陽閣 國體原理 研究所	九月	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會
朝日時局讀本七 植民地の再分割 北支事變と最近の 世界情勢	星野辰男 馬奈木敬信 水野甚次郎	・二〇 ・二〇 ・二〇	二〇 二〇 二〇	東京朝日新聞 發行所 大阪毎日 社 吳港新報社	九月	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會
航空國策 國營愛國富鐵 事變に甦る犯罪者	近藤亮雅 川口黎民 杉山善太郎	・三〇 ・三〇 ・三〇	三〇 三〇 三〇	保險文化 研究所 中部港灣勞働組合 教育出版部	九月	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會
羊頭狗肉な暴案劣策 生保國營案を駁撃す 海上勞働戰線解剖編	川口黎民 杉山善太郎 吉村忠三	・三〇 ・三〇 ・三〇	三〇 三〇 三〇	保險文化 研究所 中部港灣勞働組合 教育出版部	九月	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會
ソ情旬報 危機を孕める 佛領印度支那	暹羅室	・三〇	三〇	暹羅室	九月	岡野龍一 水野齊	・二〇 ・二〇	二〇 二〇	日本通信社 研究會

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
警察講習講義錄(八)	淺井忠吉	一・五〇	四〇	日本警務學會	戰爭と景氣	事業と會社 研究所	一・〇〇	四〇	森田書房
戰時國債發行解決案 五十億圓! 百億圓!	小林一三	一・〇〇	四〇	モグイ 社	躍進ソヴェト經濟讀本	直井武夫	一・六〇	四〇	春 社
證券資本論	江口行雄	三・〇〇	四三	森山書店	現代商業經濟學入門	前馬治一	一・八〇	四七	千倉書房
戰時社會經濟體制	小濱重雄	二・八〇	三七	松山房	明治維新後に於ける 兩替商金融	金融研究會	非	二九	金融研究會
經濟學史(三)	直井武夫 他一名譯	三・〇〇	四七	白揚社	戰爭經濟讀本	齋藤直幹	一・〇〇	二九	今日の問題社
日本コンツエルン全書五 安田コンツエルン讀本	小汀利得	一・五〇	三三	春秋社	現代公債政策	高橋龜吉	三・〇〇	四八	千倉書房
日本資本主義發達史 概説	土屋喬雄	四・三〇	五五	有斐閣	獨占の經濟理論	青山秀夫	三・八〇	四三	日本評論社
事變對策と經濟界の 動向	岡崎三郎	四・三〇	五五	有斐閣	財の二重效用と新企業 形態アモンシステム	玉塚締伍	非	二七	玉塚不動産 經濟研究所
北支經濟讀本	飯田清三	四・〇〇	六〇	札幌商工 會	マルクス死後五十年	小泉信三	三・〇〇	二八	改造社
戰時經濟の基礎知識	小島精一	一・五〇	二七	千倉書房	金と通貨	深井英五	非	四三	石井氏還曆 講演會
物經濟	岩井良太郎	一・二〇	三九	同	煙草專賣制度と 農民經濟	近藤康男	五・〇〇	四四	西ヶ原刊行會
中小商工金融論	太田正孝	一・三〇	三三	中央公論社	最近の物價政策と景氣	飯田繁	二・七〇	五八	大阪商科大學 經濟研究所
戰爭・財閥・軍需工業	井關孝雄	三・三〇	三二	同	支那農村經濟概論	薛暮橋 米澤秀夫譯	一・六〇	一五	叢文閣
資本主義と景氣循環	榊井義雄	五・〇〇	一三	新報經濟 社	支那經濟研究(三)	日本經濟 會	一・〇〇	三九	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
戰爭經濟の知識	室伏高信 清澤洵	一・三〇	三七	青年書房	抗日論	竹越與三郎	非	三三	竹越與三郎 書店
明治大正財政史(二)	大藏省	八・〇〇	一〇〇	財政經濟學會	歐洲體育の諸問題 都會人型虛弱兒の體育	植村鷹千代	一・三〇	三九	桶書店
經濟全史(六)	高山洋吉	一・八〇	二五	東學社	蘇聯を監視せよ	植田三四彦	一・八〇	二六	大阪賣文館
内外經濟概観	熊田克郎	四・〇〇	六〇	野村合名會社 調査部	ソ聯の横顔	池崎忠孝	一・八〇	二六	第一出版社
ゲマインシャフト	新明正道	一・八〇	三九	刀江書院	日ソ關係とソ聯陰謀 謀事件の真相探求	鶴橋開天	一・〇〇	三三	官界往來社
支那事變と 國際中立法の正體	大久保文雄	一・〇〇	三三	森田書房	支那事變實記	水島齊	非	四三	國際思想 研究所
ソ支密約と その後に來るもの	杉山捷三	一・〇〇	四三	皇文社	極東は近づく	編賣新聞社 編輯局	七・〇〇	三六	非凡閣
我が戰時經濟は どこへ行く	難波篁人	一・〇〇	元	東京朝野新聞 出版部	科學と社會	ヘッセル 鈴木東民譯	一・五〇	三三	時局評論社
嵐に立つ支那	尾崎秀實	一・五〇	三〇	亞星書店	戰線を訪ねて國民に 懇ふ	日本學術 振興會	二・〇〇	二七	日本學術 振興會
歐米の動きと支那事變	鶴見三三	一・〇〇	三三	岡倉書房	世界の革命的動亂と 秘密結社の活動	加藤久米四郎	一・〇〇	三六	東京朝野新聞 出版部
極東は近づく	ヘッセル 鈴木東民譯	一・五〇	三三	時局評論社	北支の重要性と 其の意義	山下主計	非	一八	龍門會
現代思想批判	本莊可宗	一・五〇	三六	高陽書院	北支事變の推移と 列強の態度	石井嘉穂	四・〇〇	一五	世界經濟 會
斷崖に立つ支那	佐古文男	一・〇〇	三三	今日の問題社	最近支那の動向	塚本義隆	四・〇〇	一七	同
我等の日本と世界の 將來	佐藤鐵太郎	非	二八	奉仕會	南京政府の正體	神田正雄	非	一〇	京都經濟會
日獨防共協定の意義	松岡洋右	一・五〇	二六	第一出版社		尾崎秀實	非	三三	新日本同盟

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
臺灣をどうする？ 米國の新中立法を批判して日支紛争との關係に及ぶ	岩本雪男	非	三	ますらを會	支那を躍らす人民戦線 極東擾亂の正體を曝く	宿田倍達	二	三	思想問題 調査會
咄!! 不敬 阪急寶塚女青の真相	林四平	非	三	ユダヤ思想 撲滅同盟	上海大山事件の真相 他二篇	谷口雅春	五	三	光明思想 普及會
支那赤化の危機迫る	八幡博堂	非	三	開南俱樂部	支那事變の社會主義 運動へ與へる影響	西村一郎	非	三	播州國防研 究會本部
支那は生存し得るか	村田改郎 共譯	一・五	三	教材社	赤裸の支那	小島喜一郎	一	三	小島政治 經濟研究所
支那の再認識	長野朗	一・三	四	大都書房	支那問題の基礎知識	賀來敏夫	一・三	三	三笠書房
ソ聯の現状とその批判	清澤洩	一・五	二	新報社	支那のはらわた 人間を作れ金を作れ	謝國城	一・〇	三	哲刀閣
日本映畫監督論	大塚恭一	一・八	三	映畫評論社	支那の總動員は斯うだ 對日戦の本據を衝く	安藤盛一	一・三	三	岡倉書房
對支大戦をせねばならぬ理由と國民の覺悟	和田龜治	非	三	修養聯合會	支那の總動員は斯うだ 對日戦の本據を衝く	牧野元次郎 他三名	一・三	三	今日の問題社
時局と朝鮮澎湃たる愛國運動	御手洗辰雄	非	三	東京聯合會	華北人民自治會	濱野昌雄	一・〇	三	大東情報社
國民總動員の真相	打田博幹	一・〇	三	文成社	敗慘支那はロシアに 何う喰はれるか	岡悌治	非	三	國策樹立協會
支那は日本に何を爲さんとするか？	水島齊	非	三	國際思想 研究所	中國四億五千萬民 衆に告ぐ	稻葉四郎	一・〇	三	教材社
蒙古社會制度史	ボリス・ウラ フ 外務省國際部 清水芳太郎	一・八	三	日本國際協會	支那を動かす人物は 誰々か	五十嵐隆	一・五	三	國際日本協會
動亂の支那と將來	清水芳太郎	一・五	三	清水芳太郎 先づ	日本を揺るがす 支那の動き	天沖輝嗣	一・〇	三	東京朝野新聞 出版部

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
戦ひの目標と終局 在米邦人の觀たる 米國と米國人	松永左衛門 長谷川新一郎	一・五	三	モダ ンソ 社	國民精神總動員要覽	大河内貫壽	一・七	三	佛敎聯合會 支那部
支那事變と吾等の覺悟	東邦國策 同志會	非	三	東邦國策 會	日支政治經濟讀本	熊田克郎	一・〇	三	野村合名會社 調査部
日本に呼びかける	近衛文麿 他四名	一・三	三	今日の問題社	内外經濟概觀	濱田峰太郎	一・三	三	白揚社
朝日時局讀本(八) 國際通商戰	星野辰男	一・三	三	東京朝日新聞 發行	日本産業經濟全書 支那經濟概觀	黒岩貞雄	一・三	三	春秋社
十月					新興ナチス經濟通信	勝田貞次	一・八	三	同
保險國營是非に關する 政界代表者の意見	尾高三郎	非	三	政治經濟 事情研究會	支那事變と財政經濟	太田正孝	非	三	新日本同盟
現代憲政の諸問題	鈴木安藏	二・〇	三	泰山房	外國貿易政策一 覽	油本豐吉	二・五	三	巖松堂書店
大日本帝國の進路	竹林賢治	一・五	三	青春社	物價變動要覽	物價問題 調査會	一・四	三	千倉書房
警察の實際と理想	網島 覺左衛門	一・六	三	良書普及會	人口・資源・殖民地	阿部源一	二・八	三	巖松堂書店
大陸政策と回教問題	須田正繼	非	三	ヤニ・ヤ ンモフ ペリ ソ	日本經濟四季報四 篇	日本經濟 研究所	一・八	三	改造社
内閣補強機關の 成るまで	長尾桃郎	非	三	時事展望社	經濟篇 饒富	藤井正一	一・三	三	實業之日本社
非常時局にたつ近衛公	福岡醇祐	一・五	三	東京閣	歐洲の現勢と 準戰時經濟	武藤孝太郎	一・七	三	武藤孝太郎
戦費と増税問題	龜谷正司	一・三	三	日本經濟政策 研究所	戰爭時の支那財界	吉田日治	非	三	武藤孝太郎
ソ支不可侵條約に就て 他二篇	西村一郎	非	三	播州國防研 究會本部	埃國學派の價值學說	波多野鼎	二・〇	三	巖松堂書店

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
正統學派の價值學說	波多野鼎	二・八〇	圓三九	巖松堂書店	獨占資本と物價	ウエ・セン	二・八〇	圓四三	清和書店
日本經濟講話 二	川田秀雄	一・五〇	圓二九	白揚社	内外海運經濟年報	新報社	二・五〇	圓三六	新報社
ハーバ國際貿易論上	岡倉伯士	三・〇〇	圓四二	有斐閣	勞務管理	桐原葆見	一・八〇	圓二九	千倉書房
世界政治經濟情報四	堀江邑一	一・三〇	圓三〇	清和書店	我國の戰時經濟	波多野鼎	一・〇〇	圓二四	日本評論社
日本資本主義の諸問題	向坂逸郎	二・八〇	圓三六	育生社	時局と朝鮮人と兵役・朝鮮武裝の朝鮮經濟	菊池謙讓	圓一六	實業時代社	
經濟原論	北澤新次郎	二・三〇	圓二九	東京泰文社	英吉利に於ける電力の國家統制	鳥居義太郎	圓一四	電氣協會	
證券取引所經濟論	島田徳	二・三〇	圓三三	精興社書店	支那事變と我が財政	大西忠雄	圓一四	電氣協會	
事變直前の支那經濟狀態	東洋協會	非	圓三三	東洋協會	地方債と其の手續	松方幸次郎	非	日本協會	
日本燈火史大系一	萩原古壽	五・〇〇	圓一七	電氣經濟研究所	景氣變動動論	岡田吉光	二・八〇	圓六五	常磐書房
日本光經濟史論	賀屋興宜	七・〇〇	圓二一	河出書房	橋本欣五郎氏と其の理論・附小林順一郎氏の經濟理論に就て	波多野鼎	二・五〇	圓三三	巖松堂書店
北支經濟は如何に建設すべきか	小林一三	一・〇〇	圓五	今日の問題社	明治大正財政要覽	神庭伸之助	圓三	青年懇談會出版部	
リアルガ世界經濟恐慌史 第一卷第一部	永住道雄	二・五〇	圓二六	慶應書房	及昭和	國政研究會	非	國政研究會	
日本財政論	牧野輝智	二・八〇	圓三六	日本評論社	國際正義より觀たる英國の東洋經濟政策	若杉浪雄	非	東亞經濟研究所	
現下の經濟問題	美濃部亮吉	七・〇〇	圓一六	潮社	事變對策と經濟界の前途	高橋龜吉	圓三	高崎商工所	

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
殖民地問題資料	經濟問題研究所	非	圓二二	經濟問題研究所	支那事變と半島人の護り	李在東	非	圓三	榮尚協會本部
經濟學說論考	渡邊一郎	四・五〇	圓四三	三省堂	對外宣明文邦譯	京都協會	圓八	京都協會	
時局對策と景氣問題	望月商店	圓三	圓三	望月商店	護國の正法	清水東川	圓三	興教書院	
新日本經濟策	神木鷗津	一・〇〇	圓三	鈴木勝男	時局認識の強化と思想國防	思想協會	非	思想國防協會	
戰時原料保障論	小濱重雄	一・〇〇	圓三三	巖松堂書店	世界經濟戰の動向と我對策勞務擔當者の覺悟に就て	松本健次郎	圓三	勤勞者教育會	
電氣事業評價の基底	中川元治朗	一・八〇	圓四三	中川企業經營研究所	赤化しつゝ亡び行く米國を動かす猶太の勢力	渡邊福雄	圓三	東京朝野新聞出版部	
支那財政講話	孫懷仁	一・〇〇	圓二九	泰山房	岐路に立つ支那親日國民政府再建か共產政府の樹立なるか	龜岡豐二	圓三	東京朝野新聞出版部	
支那國防經濟の現状	東洋協會	非	圓二九	東洋協會	支那事變實記 二	柳沼七郎	非	國際政經學會	
經濟全史 七	高山洋吉	一・八〇	圓二六	東學社	支那の男と女	上村文三	圓三	教材社	
經濟本質論	大熊信行	二・三〇	圓三一	同文館	支那の事情は變つたか	編新開社	圓七	凡閣	
ダイヤモンド實務知識	石山皆男	一・九〇	圓六三	ダイヤモンド社	支那の事情は變つたか	松本忠雄	圓二	大文字書院	
最近世界生産と物價の動向	外務省	二・五〇	圓三三	日本國際協會	支那の男と女	小松孝彰	圓二	森田書房	
戰時體制下の景氣觀	木村孫八郎	一・五〇	圓三三	太陽閣	支那の男と女	後藤朝太郎	圓一	大東出版社	
近世社會經濟學說大系	田崎仁義	二・〇〇	圓四二	誠文堂新光社	子供心理學講話	上村哲彌	圓一	日本兩親再教育協會	
淺見綱齋集	松下傳吉	一・五〇	圓三三	中外産業會	日本を狙ふソ聯の動き	關根傳二	圓二	東京朝野新聞出版部	

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
戰時概言	德富猪一郎	一〇〇	四二四	民友社	スタハーフ運動の研究	相馬一郎	一〇〇	四七	卓月會
東京交通労働組合 鎮壓具體案	小島喜一郎	一〇〇	四五	小島政治經濟研究所	戰時經濟體制と其前途	藤岡啓	一〇〇	四〇	太陽閣
同志社問題批判	岡島一英	一〇〇	四〇	岡島一英	國家宣傳とシリアリズム統制	高梨菊二郎	一〇〇	三三	野田書房
如何なる時に日ソ戦争は始まるか	河並修二	一〇〇	四〇	大文字書院	北支戰を現地に觀る	神田孝一	一〇〇	三三	今日の問題社
最新數學ハンドブック	太陽堂編輯部	二〇〇	四四	太陽堂書店	蔣政權はどうなる	吉岡文六	一〇〇	三三	第二國民會出版部
蔣政權の次に來るもの	大木喬夫	一〇〇	四三	大文字書院	報國の秋	高瀬毅譯	一〇〇	二二	白水社
抗日支那の解剖	鈴木利貞	一〇〇	四四	日本評論社	支那事變の理由と國民の覺悟	和田龜治	一〇〇	二二	國體宣揚會
敗主義を粉碎す	谷口雅春	一〇〇	四五	光明思想普及會	支那事變と其後の日本經濟は如何なるか	菅順之助	一〇〇	二二	新興日本新聞社
朝日時局讀本一〇 戰時體制下のソ聯	星野辰男	一〇〇	三五	東京朝日新聞發行所	問題はこれからだ	船田中	一〇〇	二二	東京朝野新聞出版部
支那征討の目的と覺悟	里見岸雄	一〇〇	二六	日本國體學會	支那事變ロシヤは來るか	大石利徳	一〇〇	二二	片桐書店
日本はいつソ聯を撃つべきか	松尾友太	一〇〇	二六	日本書房	支那の對日宣傳策	海軍省軍事普及部	一〇〇	二二	海軍省軍事普及部
吾等に覺悟ありや	江原小彌太	一〇〇	二二	千倉書房	支那に於ける國防と新聞事業の統制	吉野信次	一〇〇	二二	生活部
支那事變に對する我々の態度に就いて	稻村隆一	一〇〇	二二	全國農民組合三條出張所	支那事變に關する意見	高安龜次郎	一〇〇	二二	忠愛日會
次に來るべき問題として	眞鍋儀十	一〇〇	二二	秋書院	支那事變と國民の覺悟	松本忠雄	一〇〇	二二	田熊會

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
荒れる地中海	菅二郎	一〇〇	三三	森田書房	支那に於けるコミンテルンの活動	山梨縣	一〇〇	三三	山梨縣
身を捨てゝこそ	荒木貞夫	一〇〇	三五	三笠書房	日支事變の歸結	深川文治	一〇〇	二二	大亞細亞協會
五十嵐源三郎外四十一名選舉違反事件の真相	五十嵐源三郎	非	一九	五十嵐源三郎	ソ聯は今何を劃策してゐるか	三島康夫	一〇〇	二二	第百書房
社會政策の相貌	山崎孝一	二五〇	四四	北潮會	赤色アジアか 防共アジアか	中保與作	一五〇	四四	ダモンド社
時局知識五 事變の知識	室伏高信	一五〇	四三	青年書房	デパート従業員賃上 闘争と勞務管理方針	小島喜一郎	一〇〇	二二	小島政治經濟研究所
日米外交はどうなる	鷹橋聖一	一〇〇	二二	パンフレット社	祖國の各位に懇ふ	加藤久米四郎	一〇〇	二二	新聞改造社
支那 便衣隊の 名物 正體を衝く	寶來正芳	一五〇	二二	良榮堂	暴虐支那の正體	笠井光司	一五〇	二二	内外出版社
戰苑支那の習俗	長野朗	一八〇	三三	坂上書院	スパイ戰線を衝く	尾瀬敬止	一〇〇	二二	森田書房
列國の偽裝平和政策と日本の大陸黎明運動	内藤民治	一〇〇	二二	國際日本協會	日本に呼びかける	近衛文磨 他四名	一〇〇	二二	今日の問題社
日本の信念を宣ぶ	五十嵐隆	一〇〇	二二	同	支那事變をめぐる列國の策動を衝く	山本みのる	一〇〇	二二	東京パンフレット社
極東を視ふ英國の魔手	鷹橋聖一	一〇〇	二二	パンフレット社	米國は日本の敵か味方か?	貴島桃隆	一〇〇	二二	國際經濟研究所
日本社會學	松本潤一郎	一〇〇	二二	時潮社	支那事變に直面して	琴陵光重	一〇〇	二二	金刀比羅宮
今次事變の意義	山梨縣	一〇〇	二二	同	銚後思想戦に關する資料	西本喬	一〇〇	二二	戰時思想盟
支那に於ける國民主義運動と抗日運動の全貌	同	一〇〇	二二	同	對支政策の本流	中山優	一〇〇	二二	戰時思想盟
支那軍の正しき認識	同	一〇〇	二二	同	時局收拾に關する研究要綱	半澤玉城	一〇〇	二二	日本外交協會

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
ソ聯の日本研究 ソ聯は日本に 挑戦するか 十一月	ソヴェエト 研究会 吉村忠三	一・三〇	四三〇	高山書院	内外經濟概観	熊田克郎	一・〇〇	四三〇	野村合名會社 調査部
領土資源の再分配問題	松本悟朗	一・〇〇	四三〇	日本協會	財政學序説	飯島幡司	三・八〇	四八〇	同
近代政治思想と皇道	藤澤親雄	一・〇〇	四三〇	青年教育會	支那幣制の研究	飯島幡司	三・八〇	四八〇	同
政治家	戸澤鐵彦	一・〇〇	四三〇	岩波書店	昭和十各通商の 二年版 動向と日本 北支對策に關する 研究資料	外務省 通商局	三・〇〇	四四〇	日本國際協會
九國條約無効	蟻川新	一・〇〇	四三〇	國民文化協會	經濟學史概要(上)	舞出長五郎	三・〇〇	四四〇	岩波書店
政黨全滅 神代の選舉法	龜田政之助	一・〇〇	四三〇	絃會	マルクス・資本論 第一卷下 非常時財政經濟に對す る國民の協力に就て	長谷部文雄	三・八〇	四六〇	日本評論社
國家總動員	小野清秀	一・八〇	四三〇	風會	悪性インフレーション 戰捷景氣か	大藏省 商工省	非	七	思想國防協會
支那を支配する 三人の女	寺田幸夫	一・〇〇	四三〇	立正書院	造船家の生活設計	事業と會社 研究所	一・〇〇	四三〇	森田書房
戰爭と増税	山崎源太郎	一・五〇	四三〇	橋書店	ソ聯邦に於ける金問題	吉國彦二	一・五〇	四三〇	巖松堂書店
明治初期に於ける 高山縣の政治學的研究	志見正次	三・〇〇	四三〇	高陽書院	財政學入門	津田政男	一・八〇	四三〇	日本評論社
綜合國策樹立の爲に	太田武雄	一・八〇	四三〇	日本政治問題 調査所	資源の愛護と非常時財 政經濟への國民の協力	井藤半彌	一・八〇	四三〇	同
日進主義より見たる 政治經濟問題	明石地	一・五〇	四三〇	金澤精華會	新訂海上保險論 戦後の財政經濟と 國民の協力	内閣情報部	一・〇〇	四三〇	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
訂正經濟學入門	波多野鼎	一・〇〇	四三〇	日本評論社	戰時國家の經濟法	賀屋興宜	一・〇〇	四三〇	大坂毎日社
研究經濟學(七)	東北帝國大 學經濟學會	一・三〇	四三〇	岩波書店	英國資本主義の 成立過程	野村兼太郎	五・八〇	四七〇	有斐閣
ガーステンバウグ 經營財務論	野瀬新藏	一・八〇	四三〇	創生社	戰爭と財政金融	金原賢之助 他三名	一・四〇	四三〇	時潮社
新聞經濟面の 讀み方 財政篇	木村孫八郎	一・八〇	四三〇	栗田書店	戰爭と日本經濟力	高橋龜吉	一・三〇	四三〇	千倉書房
明治大正財政史(一四)	大藏省	一・八〇	四三〇	財政經濟學會	戦後の經濟に備へよ	勝田貞次	一・三〇	四三〇	同
技術者と經濟	文部省實業 事務局	一・八〇	四三〇	實業教育振興 中央會	物價の理論と實際	牧野輝智	一・三〇	四三〇	啓明會事務所
本邦重要物價の 實證的研究	原祐三	三・八〇	四三〇	千倉書房	戰時インフレーション 戦後の經濟	木村禮八郎	一・六〇	四三〇	橋書店
支那に於ける財政的經 濟的統一の狀況に就て	内閣情報部	一・〇〇	四三〇	内閣情報部	激變期の日本經濟	石橋湛山	二・五〇	四三〇	東洋經濟 出版部
朝鮮封建社會經濟史上 ハイパー・	白南雲	七・五〇	四三〇	改造社	社會科學と價値 判斷の諸問題	戸田武雄譯	三・八〇	四三〇	有斐閣
戰時體制下の 財政經濟政策解説	岡倉伯士	二・八〇	四三〇	有斐閣	数理經濟學研究	中山伊知郎	四・五〇	四三〇	日本評論社
日本コンツェルン全書四 住友コンツェルン讀本	丹羽高重	非	四三〇	商業知縣 學校	資源北支の展望	岡田博道	一・三〇	四三〇	森田書房
戦後の經濟動向	西野喜與作	一・五〇	四三〇	春秋社	支那經濟建設の全貌	太平洋問題 調査部	二・〇〇	四三〇	日本國際協會
コルホーズ財政問題	野澤秀信	一・五〇	四三〇	太陽閣	經營技術學と 經營經濟學	酒井正三郎	二・五〇	四三〇	森山書店
戰爭の危機とナチス 獨逸の經濟力	益田直彦	非	四三〇	國際思想 所					

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
改正商法 株主の心得 による	瀨良倭喜太	一・五〇	三三	崇文堂出版部	支那軍の正しき認識 支那啓發指導の骨子 (他二篇)	内閣情報部	一・〇〇	三三	内閣情報部
利子論	高田保馬	四・三〇	五七	岩波書店	支那啓發指導の骨子 (他二篇)	成瀬正雄	一・三〇	八〇	智仁勇社
經濟學斷片	堀經夫	二・三〇	四四	文友堂書店	日英戦争の危機	大野慎	一・〇〇	四四	大東京出版社
世界大戰に於ける 各國の食糧政策	糧友會	一・五〇	一五	糧友會	國際關係から見た支那 戦争はどうなる	尾崎秀實	一・〇〇	三六	第二國民會 出版部
日本經濟講話(三)	川田秀雄	一・五〇	四二	白揚社	人民戦線 ナチスの宣戦 に對する	荒木貞夫	一・〇〇	四〇	東京朝野新聞 出版部
日本貨幣制度論	寺島一夫	一・三〇	三三	大同書院	支那再建の思想的基調 支那再建の思想的基調	中谷武世	一・五〇	二六	青年教育 普及會
金融論研究(第二分冊)	正井敬次	一・三〇	一八	大同書院	支那再建の思想的基調	中谷武世	一・五〇	三三	大亞細亞協會
百貨店經營とその問題	村本福松	三・八〇	五八	文雅堂	支那の干渉と日支事變	和野篤憲	一・三〇	一七	金江堂書店
戰時經濟と預金國 家保證	川崎清男	非	九	川崎清男	外國權威紙の觀た 支那事變見透し	澁川喬	一・〇〇	三〇	兵庫縣工業會
列強の戰時經濟政策	白谷忠三譯	二・〇〇	四二	育生社	支那人の見た日本人	信濃憂人	一・三〇	二六	青年書房
大陸經濟開發を 日産鮎川義介に訊く	松下元	二・〇〇	二一	元社	支那事變に於ける帝國 海軍の行動と國際法	野畑一男	非	一七	海軍普及部
戰時體制讀本	西岡竹次郎	非	三	東京朝野新聞 出版部	國民の沈黙は破れたり コミンテルンは挑撃する	高谷覺藏	一・五〇	三三	大東出版社
占據したる土地を 戰場の兵士に與へよ	事帝協國會	一・〇〇	三	東京朝野新聞 出版部					

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
ひのちとパンフレット(三) 新日本精神に就て 他一篇	海老名正	五・〇〇	九	新日本精神 研究会	國際時事解説	情外報部	二・〇〇	四五	三笠書房
非常時局に際して 我等の進むべき道	中西猷淳	非	七	天臺宗寺門部	英・猶太財閥の陰謀	杉山明	一・〇〇	四〇	交通展望社
農地法と思想國防	宗正雄	七・〇〇	一三	二松堂書店	支那事變と其の 背後に迫るもの	宮崎興基	一・〇〇	五	佐伯龍彦 實業會國民科 學研究部
支那事變の終局は 何う收拾されるか	並河修二	一・〇〇	七	教材社	愛國の至情に訴へ 極天皇基を護らん	大隅末廣	非	四	内閣情報部
青年學徒と支那事變	松本圭祐	一・〇〇	七	松本圭祐社	支那に於ける國民主義 運動と抗日運動の全貌	同	一・〇〇	三	同
何故支那と戦ふか	宗形金風	一・〇〇	三	創文社	對支平和國際に 關する建議	笠木良明	一・〇〇	五	大亞細亞 建設社
東亞和平攪亂の元兇 老猶英國を撃碎せよ	渡邊剛	一・〇〇	四	夕刊帝國 新聞社	日本は支那をどうする	野原完二郎	一・〇〇	三	パンフレット 社
いよゝ迫る 英米對日本の抗爭	長谷川文人	一・〇〇	三	昭和書房	抗日の元兇英國を衝く	原田政治	一・〇〇	三	大中社出版部
ソ聯邦の現状	茂森唯士	一・〇〇	三	今日の問題社	神兵隊司令前田虎雄 とはどんな人物か	山田陸奥男	一・〇〇	四	山田出版 所
支那事變で英米の 肚を覗く	ヴァルガ	一・〇〇	三	東京パンフレ ット社	國內石油資源開發に 關する應急對策建議	燃料國策 研究会	一・〇〇	七	燃料國策 會
支那事變下に於ける各 道府縣農會の農村對策	帝國農會	一・〇〇	一六	帝國農會	東洋の平和は亞細亞 モンロー主義にあり	金子堅太郎	非	六	皇輝會
時局讀本	横島常三郎	一・〇〇	三	東京學藝社	支那事變と電力國家 管理案への展望	岡敬一	一・五〇	四	電氣人社
支那の財政は どうなるか	大西齋	非	五	經濟研究會	アジヤ再建の意義	永井柳太郎	一・五〇	四	國民精神總動 員中央聯盟 東京パンフレ ット社
光は極東から	横原玉葉	一・〇〇	一六	神皇學會	危機は迫る 極東の風雲	山本實	一・〇〇	一四	東京パンフレ ット社
これが支那だ	林貞四郎	一・〇〇	六	北海國民社					

内田老鶴圃 [昭和十二年度新重刊書]

東京日本橋大傳馬町一
振替東京一二一四六番

七五二

權威科學書は老鶴圃 (解説付き圖書 目録通覽進呈)

(重) 稿物理學通論 本多光太郎 五.〇〇〇	(新) 微分學通論 山崎榮作 五.〇〇〇
(重) 稿物理學本論 本多光太郎 五.八〇〇	(新) 積分學通論 山崎榮作 五.〇〇〇
(新) ヒレ量子力學の基礎 坂井卓三 二.〇〇〇	(新) 數理統計學 松村宗治 二.五〇〇
(新) ベクトル解析 平賀良藏 四.五〇〇	(重) 高等無機化學の基礎 永海佐一郎 五.〇〇〇
(重) 飛行機の理論と設計 甲斐茂吉 九.〇〇〇	(新) 分析化學の研究 永海佐一郎 八.五〇〇
(重) 鐵及鋼の研究(卷四) 本多光太郎 一四.五〇〇	(新) 高等化學深論(三卷) 森元七 一七.〇〇〇
(重) 近代の金屬材料 濱住松二郎 八.五〇〇	(重) 電氣化學實驗法 田中正三郎 三.八〇〇
(重) 材料試驗法 山田良之助 改版三月 出來豫定	(重) 新兵器毒ガスと煙 西澤勇志智 七.〇〇〇
(新) 鑄鐵 濱住、菊田、谷口共著 三.五〇〇	(重) 新兵器花火の研究 西澤勇志智 八.五〇〇
(重) 耐酸耐蝕金屬及合金 遠藤彦造 改版三月 出來豫定	(重) 石鹼製造化學 中江大部 七.〇〇〇
(重) 代數學(全二卷) 藤原松三郎 一七.五〇〇	(新) 香料の配合 附化粧品製造提要 西澤勇志智 四.〇〇〇
(重) 數學微積分學第一卷 藤原松三郎 七.五〇〇	(新) 植物の採集と標本製作 本田正次 二.〇〇〇
(新) 解析幾何學第一卷 窪田忠彦 六.五〇〇	(新) 動物の移行と進化 野村七錄共 二.八〇〇
(重) 高等微積分學 岡田良知 三.八〇〇	(新) 日本鑛床學 岩崎重三 六.五〇〇

内田老鶴圃

[權威科學書選]

(圖書目録 通覽進呈)

東京日本橋大傳馬町一
振替東京一二一四六番

權威科學書は老鶴圃 (解説付き圖書 目録通覽進呈)

金 屬 濱住松二郎 五.〇〇〇	鑛山の開發と經營 山田復之助 三.〇〇〇
冶 金 濱住松二郎 三.〇〇〇	日本探鑛法 岩崎重三 四.〇〇〇
鐵鋼の腐蝕と防錆の研究 遠藤彦造 三.〇〇〇	鑛物鑑定岩石吹管分析及地質表 岩崎重三 四.〇〇〇
東 洋 鍊 金 術 近重眞澄 二.五〇〇	應 用 鑛 物 學 岩崎重三 八.五〇〇
英文東洋鍊金術 近重眞澄 一.五〇〇	金 岩崎重三 三.八〇〇
鐵鋼讀本 鋼の狀態圖 岩瀬慶三 二.五〇〇	銀 岩崎重三 三.八〇〇
鐵鋼讀本 鋼の熱處理 岩瀬慶三 近 刊	石 炭 岩崎重三 六.〇〇〇
アルミニウムの性質及用途 小久保定次郎 四.〇〇〇	實驗有機合成化學(二卷) 森山剛一郎 下 八.八〇〇 上 二.八〇〇
金 屬 と 人 生 加瀬勉 三.五〇〇	醇 素 化 學 (理論實驗) 森元七 五.八〇〇
工業の金 屬 加瀬勉 三.〇〇〇	織 維 素 塗 料 西澤勇志智 六.五〇〇
飛行機の強度計算法と設計例 甲斐茂吉 四.〇〇〇	珪酸鹽工業の要覽 永井彰一郎 四.五〇〇
流體力學並に水力機の理論 池田芳郎 四.〇〇〇	土木建築主要材料 窯業の化學 製造及試驗法 永井彰一郎 六.五〇〇
等角寫像と其方法 池田芳郎 四.〇〇〇	無機標準工業分析法 庄司務 二.五〇〇
熱 傳 導 論 竹前源藏 七.五〇〇	油脂工業化學 中江大部 七.〇〇〇

七五三

新萬葉集

全集十卷 豫約募集

萬葉を凌ぐ新時代の國民的大歌集!!

第一回 別卷 宮廷篇
目下配本中

今上陛下御製
皇后陛下御歌
皇太后陛下御歌
英照皇太后御歌
明治天皇御製
昭憲皇太后御歌
大正天皇御製
皇族御四十一方御歌
諸臣の歌
宮中歌御會始撰歌集
堂々五百二十頁

新興日本の鬱勃たる民族的氣魄と優婉なる傳統的國民精神を象徴する「新萬葉集」はその力強き巨歩を茲に印することとなつた。これこそ新日本のあらゆる階級、あらゆる層を通じて時代精神の新標識を掲ぐるもの!! 炎々と燃ゆる世紀の炬火だ!! この強烈な日本精神の一大凝結、「新萬葉集」に聴け!!

自第一卷至第九卷一般作品

本卷 九册 別卷 一册
菊判上製天金函入優雅典麗
一册頁數四百五十頁内外
劃期的豪華華版

内容見本進呈(最寄の書店にあり)
申込金一圓 毎月一冊 二圓五十錢
裝幀 横山大觀 題簽 比田井天來

東京芝區新橋七丁目 改造社 東京芝區八四二番

村松梢風著	支那漫談	四六判上製 四百二十七頁	定價一圓五十錢 送料十四錢
木村毅著	上海通信	四六判上製 三百五十三頁	定價一圓八十錢 送料十四錢
山本實彥著	滿蒙	四六判上製 四百二頁	定價一圓五十錢 送料十四錢
山本實彥著	支那	四六判上製 四百十四頁	定價一圓 送料十四錢
山本實彥著	支那	四六判上製 四百二十八頁	定價一圓 送料十四錢
山本實彥著	支那	四六判上製 四六判上製	定價一圓六十錢 送料十四錢
堀田權吉著 中西登義繼著	支那	寫真及地圖入	定價一圓 送料十四錢
谷口壽太郎著	地方稅通義	森田優三著 森數樹著	物價指數の理論と實際 定價二・八〇 送料二・二〇
久保平三郎著	臨時業利收得稅法通義	岡崎文規著	人口統計論 定價二・八〇 送料二・二〇
谷口壽太郎著	市町村稅釋義	中川友長著	國勢調查論 定價二・八〇 送料二・二〇
船田勇著	實用經濟學計算法	水谷良一著	國富及國民所得論 定價二・八〇 送料二・二〇
池内信行著	經營經濟學論考	永野芳夫著	勞働統計論 定價二・八〇 送料二・二〇
野瀨新藏著	實例法による經營學入門	鬼頭英一著	新訂論理學概論 定價二・五〇 送料一・四〇
青木倫太郎著	管理會計	藤原泰著	ハイデツガの存在學 定價一・五〇 送料一・四〇
石津漣著	共同海損研究	芳野國雄著	簿記の學方と受驗法 定價一・三〇 送料一・四〇

東京芝區新橋七丁目 改造社 東京芝區八四四番

東京芝區新橋七丁目 改造社 東京芝區八四四番

東洋出版社

改造社

好評の新刊と重版書

日本曹達社長 中野友禮氏著	これからの事業 これからの経営	價 壹圓	送料 拾貳錢
東亞同文書院教授 馬場敏太郎氏著	郷土人生讀本	價 壹圓五拾錢	送料 拾貳錢
千代田火災重役 山名次郎氏著	北支八省の資源	價 貳圓	送料 拾八錢
文部省 國民精神文化研究所編	偉人秘話	價 壹圓參拾錢	送料 拾貳錢
海軍中將子爵 小笠原長生氏著	青少年教育	價 壹圓參拾錢	送料 拾貳錢
實業之日本社々長 増田義一著	聖戰忠話	價 壹圓參拾錢	送料 拾貳錢
蘆谷蘆村氏著	今後の進み方	價 壹圓貳拾錢	送料 拾貳錢
醫學士 櫻田十次郎氏著	軍國少年讀本	價 壹圓貳拾錢	送料 拾貳錢
滿洲重工業總裁 鮎川義介氏著	新しい脳の衛生	價 壹圓五拾錢	送料 拾五錢
	物の見方考へ方	價 五拾錢	送料 九錢

七五七

東京市西區橋本
實業之日本社
振替 東六
京番

東京市深川區越中島町
糧友會發行所
電話 陸軍糧本所
電話 陸軍糧本所
電話 陸軍糧本所
電話 陸軍糧本所

糧友會編	日本主要食品營養圖解	布表裝五・〇〇 紙表裝三・〇〇 荷造實費三・五	日本人の日常食物百八十二種を蛋白、脂肪、含水炭素、無機鹽類、ビタミン等が美麗な十色刷原色版で一目瞭然たる圖解。
糧友會編	食品の選擇 營養價計算 早見書	二・五〇 一・四〇	最も面倒な營養價計算が一目で早見し得られる特色あり。他に食品分析表ビタミン表無機鹽類表消化吸収表等食物獻立に關する諸表。
陸軍糧本廠編	基本料理法	一・五〇 一・四〇	料理法は千懸萬様であるが、その基本を習へば簡單である。本書は軍隊で研鑽實施された基本料理である。簡易病人食が附いてゐる。
糧友會編	軍隊及團隊炊事獻立カード	三・〇〇 二・二〇	この獻立カードがあれば、軍隊、工場、學校、寄宿舎、大宿屋、食堂など至極簡易に立案及營養價計算が出来る。
岡崎桂一郎著	文部省推薦 日本米食史	七・〇〇 三・〇〇	群籍無量二萬卷の前後七年になつた本書は米食人たる日本人の食に關する小讀書館である。昔ながらの本書は現代主食改善運動の原動力なり。
陸軍糧本廠編	日本兵食史	上巻五・〇〇・二四 下巻三・五〇・二四	上代より近代迄の幾多戰陣の兵食状態を明瞭にして未踏の分野を開拓せし概観書。
陸軍糧本廠編	炊事教育 調理概論	〇・五〇 〇・六〇	軍隊で兵士に炊事調理を教へる際の教科書で至極簡易に要領を摘記したものである。
陸軍糧本廠編	炊事教育 營養概念食物知識	〇・五〇 〇・六〇	營養概念と食物知識を書いた書が隨分あるが炊事する人、調理人はどれ位知つて居ればよいかそれに答へて出版したのが本書。
井舟著	炊事教訓講話(典座抄)	一・二〇 一・〇〇	書として唯一な典座教訓を、平易に現代人の肯定するやう講話した生活指導書。
糧友會編	家庭パンと洋菓子の造り方	一・五〇 一・〇〇	菓子やパンの書籍は数多くあるが、このやうに圖説をし親切に要領を示したものは本書を第一とする。
同	家庭貯藏糧の詰方	一・〇〇 一・〇〇	家庭で食物を貯藏する事は家計經濟上、趣味生活上最も親切に感ぜられる事。本書によりて其のコツを知る事が出来る。
糧友會編	調理士教程	二・五〇 一・四〇	調理士の職務、營養概念調理、食物衛生、獻立型士勿論食料關係指導者の好む考案資料なり。

七五六

糧友會 雜誌
月刊 十六頁
三月一號起
郵費 二圓
郵費 二圓
郵費 二圓
郵費 二圓

濱松高等工業學校教授 中島友正	新編 實用電氣磁氣	菊判 280頁 洋裝 圖250 送.21	1.80
濱松高等工業學校教授 中島友正	新編 實用電氣機械	菊判 前編 288頁 圖280 2.00 後編 264頁 圖230 送.21	1.90
東京工業大學教授 理學博士山本勇	最新電氣磁氣學	菊判 300頁 洋裝 圖280 送.21	3.00
工學士 岡義明	岡式電氣工學	菊判 272頁 洋裝 圖 50 送.15	1.50
濱松高工教授 中島友正	電氣機器設計原論 磁路の計算法	菊判 454頁 洋裝 圖136 送.15	1.20
九州帝國大學教授 工學博士 森兵吾	交流理論	菊判 398頁 洋裝 圖201 送.33	3.50
逓信技師 鈴木壽傳次	電氣測定	菊判 280頁 洋裝 圖164 送.21	2.80
逓信技師 工學士 道田貞治	再訂新版 最新電話 中編	菊判 410頁 洋裝 圖185 送.21	3.20
理學博士 工學士 山本勇 關英男	改訂增補 無線工學	菊判 200頁 洋裝 圖220 送.20	1.80
工學博士 大竹太郎	增補 技術者用高等數學	菊判 506頁 洋裝 圖 84 送.33	4.80

發行所 合資社 電氣之友社 東京銀座八ノ一 振替東京二二〇三番

七五八

建築世界社編

數寄屋建築

本書は古來の銘席銘園は勿論近代數寄屋風の住宅數種を網羅し加ふるに其用材を附記したれば趣味の建築愛好家に採つて好個の參考書である。

伊藤東涯著 村山德淳校訂 重野文學博士閱

操觚字訣

本書は東涯碩儒一代の大著にして其内容の豊富なる考證の該博なる實に作文辭典の最大權威であることは世既に定評あり大震災後品切れの處大方の翹望切なる爲め今回第十二版を發刊す。

工業用器畫法教科書

著者は中等程度の用器畫は數多あれ共工業教育に適應するもの甚少なきを憂へ多年工業教育に從事せし蘊蓄と實驗上より著述せしものにて商船學校工業學校用教科書として最も適切な書なり三重縣立工業學校校長三上虎太郎 同校教諭 長野宗四郎 共著

実業有機化學教科書

本書は著者が實際教育に必要且適切なる教材を撰擇し其程度難易分量の多少等を實際に適合せしめん事を期し之を適當に排列せり。

發行所 須原書店 東京市京橋區二ノ二 電話 一七五五 (橋京) 振替 〇六九四

七五九

!!! 書備準璧完勝必

内容見本進呈

登龍幾何學

松室隆光先生著

其本の書は、松室隆光先生の著である。幾何学の基礎から、高度な幾何学まで、体系的に解説されている。問題集として、多くの学生が愛用している。本書は、その中でも、最も重要な部分を精選し、わかりやすく解説している。これにより、幾何学の理解が深まり、問題解決能力が向上する。本書は、幾何学の学習に不可欠の良書である。

授教校學等高級成
師講學大本日
士學理

著生先二一藤近

本書は、近藤二先生著の「登龍幾何学」の精選集である。幾何学の基礎から、高度な幾何学まで、体系的に解説されている。問題集として、多くの学生が愛用している。本書は、その中でも、最も重要な部分を精選し、わかりやすく解説している。これにより、幾何学の理解が深まり、問題解決能力が向上する。本書は、幾何学の学習に不可欠の良書である。

忽二十四版
四六判 全一冊
六一〇頁
最上製
總クローヌ
定價 千・一九〇

軌範化學 軌範物理學

東神京市東
神保町一〇六
市丁一〇六
田目番四五
區番四五

館文廣

すまり居てし致賣發て

のへ線戰驗受!!!彈巨

内容見本進呈

登龍代數學

陸軍經理學校教官 陸軍士官學校前教官
陸軍學士 陸軍學士

本書は、松室隆光先生の著である。代数学の基礎から、高度な代数学まで、体系的に解説されている。問題集として、多くの学生が愛用している。本書は、その中でも、最も重要な部分を精選し、わかりやすく解説している。これにより、代数学の理解が深まり、問題解決能力が向上する。本書は、代数学の学習に不可欠の良書である。

忽一十版 忽三版 忽五十五版 忽十二版

登龍二三角法
登龍算術
登龍代數學問題選集
登龍幾何學問題選集

東神京市東
神保町一〇六
市丁一〇六
田目番四五
區番四五

館文廣

に店書名著國全は物實

◇ 書 の 讀 必 民 國 少 時 常 非 ◇

大好評の「金の星社」の本は、どうぞして、日本中の子供さんを
 良くしたい念願に燃えて作られた理想的課外讀物です！

支那 忠勇美談集 これこそ非常時の少國民讀本！ 水谷まさる著 定價六十五錢 送料十錢	支那 輝く皇軍美談集 祖國を愛する方は一人残らずお讀下さい。 水谷まさる著 定價六十五錢 送料十錢	支那 空中戰美談 思はず手に汗を握る荒鷲美談集！ 芦谷光久著 定價七十錢 送料十錢	輝く 空軍 本書を讀めば空軍通になります。 高橋航空兵 定價八十錢 送料十錢	輝く 陸軍 本書を讀めば陸軍通になります。 松尾戸山學校 定價八十錢 送料十錢	輝く 海軍 本書を讀めば海軍通になります。 中島監海軍 定價八十錢 送料十錢	お話學校・一年生 先生方もおほめになるお話學校！ 水谷まさる著 定價六十錢 送料十錢	お話學校・二年生 小學生大よるこびのお話學校！ 水谷まさる著 定價六十錢 送料十錢	お話學校・三年生 とても面白くて、爲になるお話學校！ 水谷まさる著 定價六十錢 送料十錢	お話學校・四年生 誰でも優等生になれるお話學校！ 水谷まさる著 定價六十錢 送料十錢	日本童話名作選 大好評の童話年鑑昭和十三年版！ 童話作家協會編 定價二十八錢 送料一錢	日本兒童劇名作選 劇日 定價二十八錢 送料一錢
--	---	---	--	---	--	--	---	--	--	---	----------------------------------

◇ 書 の 備 必 に 校 學 ・ 館 書 圖 ◇

童話讀本・一年生 沖野岩三郎著 定價六十六錢 送料十錢	童話讀本・二年生 沖野岩三郎著 定價六十六錢 送料十錢	童話讀本・三年生 沖野岩三郎著 定價六十六錢 送料十錢	童話讀本・四年生 沖野岩三郎著 定價六十六錢 送料十錢	童話讀本・五年生 沖野岩三郎著 定價六十六錢 送料十錢	童話讀本・六年生 沖野岩三郎著 定價六十六錢 送料十錢	面白くて偉人の話・一年生 三井信衛著 定價五十五錢 送料十錢	面白くて偉人の話・二年生 川崎春二著 定價五十五錢 送料十錢	面白くて偉人の話・三年生 本地正輝著 定價五十五錢 送料十錢	面白くて偉人の話・四年生 三井信衛著 定價五十五錢 送料十錢	面白くて偉人の話・五年生 久米元一著 定價五十五錢 送料十錢	面白くて偉人の話・六年生 本地正輝著 定價五十五錢 送料十錢	年少日 本外史(源平)卷 三島霜川著 定價九十一錢 送料十錢	年少日 本外史(南北朝)卷 三島霜川著 定價九十一錢 送料十錢	所行發 兒童圖書 專門出版 金の星社 東京市淺草區小島町一丁目二七番地 電話淺草五二六九番・振替東京六四六七八番
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	--	---

東京帝國
大學教授

理學博士 鮫島實三郎氏著

膠質學

菊判布裝全貳冊
上卷金參圓八拾錢
下卷金五圓八拾錢
内地送料各參拾參錢

七六六

下卷出來完成

吾人の身體は勿論動物界や岩石土壤などの無生物に至る迄膠質に非るものは極めて稀である、従つて斯學の研究範圍は非常に廣汎に亘り吾人人類の福祉増進を計る上に最も必要な學問である。

吾々日常生活の衣食住は勿論工業上、醫學上、軍事上等あらゆる應用方面に於て今後益斯學の研究に俟つ所が頗る多い、然るに本邦斯學の成書は其の多くは初步の概念的記述に止まり、眞に研究者の伴侶となるものに乏しい。鮫島博士之に鑑みるところあり多年研究の結果を纏め曩に本書上卷を公刊し斯界無二の典籍として多大の賞讃を博し、下卷の急速なる發行を要望せらるること頻りであつたが今回漸く上梓の運びとなり茲に膠質學上下卷を完結せらるるに至つた、この事は本邦斯學に對して劃期的の出來事であると云ひ得るであらう。下卷には産業上に關係深い親水膠質及び凝膠體の記述を含み、殊に乳狀液、泡沫、煙霧質等に至つては本邦に於て唯一無二の成書である、記述平明、論旨正鵠、眞に斯學研究の標準書なりと信ず、敢て之を薦むる所以である。

黑龍會編纂

菊判布裝全貳冊
上卷一八頁
中卷二七頁
下卷一六頁

東亞先覺志士記傳

上中下卷

明治初年以來東亞經綸の爲に馳騁盡瘁した先覺志士の事蹟を闡明した一大秘史で、編纂着手以來星霜を閲すること六年、本會の知能を總動員し、拮据經營、今回漸く完結を告げるに至つたものである。上卷は明治初年より日露戰役前後に至り、中卷は明治末期より大正年代に及び、下卷は昭和の大業滿洲建國に至る迄の秘史並に先覺志士、千餘名の列傳を掲載し、史家の未だ年を着けざる領域に新境地を拓いたものである。幾多志士の卓擧なる風采と東亞問題の變遷推移は正に光焰萬丈の概を以て全紙面に躍動し、後人の爲にその嚮ふべき指標を打建てゝゐる。是れ先覺志士の金字塔であり、明治大正昭和の裏面史であり、而して又氣象博大なる國民功業史である。明日の世界に處すべき昭和の國民に取り必讀の書たるは識者の批評既に一致せる所、敢て廣く之を江湖に薦む。

全卷愈々完成

定價 全三冊 金參拾圓 各一冊 金拾圓
送料 郵便 (香港) 一冊五圓
船車便 (荷魯共) 一冊五圓
郵費 (直達) 一冊三圓
郵費 (直達) 一冊三圓
郵費 (直達) 一冊三圓
郵費 (直達) 一冊三圓

平田良 武道極意 四六版洋布製 送價拾貳圓

平田良 聖訓謹解 四六版洋布製 送價拾貳圓

葛生能 高士山岡鐵舟 四六版洋布製 送價貳圓五拾錢

文部省認定 附泥舟遺稿 送價拾貳錢

黑龍會 日韓合邦秘史 菊版豪華製 送價貳拾五圓

編纂 上下兩卷 附黑龍會三十年事歷 送價貳拾五圓

平田良 國體本義 四六版洋布製 送價壹圓

平田良 皇國史談 菊版特、並製 送價壹圓

平田良 日本之亞細亞 菊版特、並製 送價壹圓

七六七

東京市麴町區 裳華房 振替 東京 七〇七

東京市麴町區 黑龍會出版部 振替 東京 九七三 電話 九七三 電話 一七九

漢文基礎
支那現代文捷徑 實藤惠秀

ザイデル
簡易支那語文典 奥平定世

ホケ
ツト 滿日會話 奈良一雄

新興支那語 斯界權威 執筆

根本的啓蒙指導を目的として支那語を學ばらるる人々、既中・高級程度まで進んで來て、新しい讀物や突進したる。高進したいと希望される方々の好伴侶です。本書は日支會話の標準書として、散語を輯收して、用對話に重きを置き、常習單語、初學者にも容易に會得せしむる様懇切に極めてある。

本書は極めて整然たる組織的な文法書で、ザイデル氏の名著の最も良心的な研究書である。尙重念をゴシツクで、示し發音をウェード式で示し書取聽取の練習、單語の暗記に便ならしめてある。

本書は支那現代文を讀破する爲に漢文の知識を基礎とし、勉學の訓法を發揮せるもの、漢文の常識さへあつたものである。取材を極めて廣範圍に求めた良書。

四一四
六〇六
六〇六
六〇六
送料三錢

四一四
五〇六
五〇六
五〇六
送料三錢

八二七
七〇七
七〇七
七〇七
送料六錢

八二七
七〇七
七〇七
七〇七
送料六錢

宮島吉敏・矢野藤助先生共著

ポケット支那語辭典

本書は著者二十年間の苦心により成れるものにして、其の發音・譯語の正鵠は勿論凡る場合に適合し得る熟語を輯めた點と、索引に「部首」「畫引」「音引」「檢字」の四種を用ひた爲め初學者と雖も苟も漢和辭典を引く程の人なら誰でも容易に使用し得るものである。

◎ 色 特 大 八 ◎

語彙八萬語
譯語正鵠
各語發音付
檢索至便
輯錄廣範圍
裝幀優美
紙質精撰
價格至廉

特價提供二
價二・八〇二

◆ 內容見本 ◆
呈

頁〇〇八・裝美革羊總
錢二十元・圓三價定

- 新刊 神學博士 小辻節三著
- 刊新 文法・構文法 本文解説付 **ヒブル語原典入門**
- 青木澄十郎著
- 刊新 **一日使徒行傳靈解**
- 四六判三六〇頁 定價一圓三十錢
- 金澤常雄著
- 刊新 **ヨブ記講解**
- 四六判二三〇頁 定價一圓
- 畔上賢造著
- 版再 **基督教讀本**
- 四六判二八〇頁 定價一圓
- 武本喜代藏著
- 刊新 **武本喜代藏著 日本基督教の眞隨**

新約聖書略註全

版六 千頁 總革新金線特製 定價金三圓五十錢 (送一四錢)

黑崎幸吉・石原兵永 共著

淺野猶三郎・畔上賢造

- 版四 コリント前後書 菊判二〇〇頁 定價一圓二十錢
- 版四 マタイ傳 菊判二六〇頁 定價一圓五十錢
- 版三 ヨハネ傳 菊判二四〇頁 定價一圓四十錢
- 版再 ヘブル書・ヤコブ書 菊判二〇〇頁 定價一圓三十錢
- 版再 ベテロ前後書・ユダ書 菊判二〇〇頁 定價一圓四十錢
- 版再 ロマ書・ガラテヤ書 菊判二〇〇頁 定價一圓四十錢
- 刊新 ヨハネ默示録ヨハネ書簡 菊判二〇〇頁 (送料何レモ十二錢)

以下續刊——

神學博士 小辻節三著
刊新 文法・構文法 本文解説付 **ヒブル語原典入門**
菊判二五〇頁 定價二圓五十錢

青木澄十郎著
刊新 **一日使徒行傳靈解**
四六判三六〇頁 定價一圓三十錢

金澤常雄著
刊新 **ヨブ記講解**
四六判二三〇頁 定價一圓

畔上賢造著
版再 **基督教讀本**
四六判二八〇頁 定價一圓

武本喜代藏著
刊新 **武本喜代藏著 日本基督教の眞隨**

振替東京 振替東京 振替東京
東神田 東神田 東神田
一町 三町 五町
三四五
尚文堂
圖書總目錄
呈

發行所 東京錦町一丁目一區 日英堂書店 振替東京 電話二二一三

日本精神協會發行

大日本詔勅謹解 全七卷

謹輯するところ列聖詔勅五百餘篇、悉く治國の中樞たり、日本歴史の核心なり。國民精神總動員の秋敢て社會各層の指導者に薦む。

- 1. 思想社會 一〇一頁
2. 道徳教育 六九頁
3. 軍事外交 六七頁
4. 神祇佛敎 七六頁
5. 政治經濟 一〇六頁
6. 雜事 一〇七頁
7. 詔勅と日本精神及索引 一二〇頁

菊判特製布表紙・每卷約四〇〇頁 定價二十五圓・送料一揃に付壹圓

大日本詔勅通解

皇祖以降、今上陛下に至る重要詔勅五百詔を年代順に敬載す。本文・謹解共に總振假名附、文體頗る平易、萬民必讀の聖典。 四六版洋裝美本・本文壹千餘頁 定價四圓五十錢・送料三十三錢

開目抄講話

田中智學序・山川智應述 開目抄は日蓮聖人御遺文中の白眉！宗學の泰斗山川博士が四十年の研鑽を傾けし力作、文釋・義釋・事釋・想釋具さに脈絡系統を明にし、行文流暢・説明平易、一讀直ちに聖人の眞意を領解するを得ん。 菊判洋裝金押裝釘・本文五五〇頁 定價四圓五十錢・送料二十二錢

本門本尊論

田中智學序・山川智應講述 本講は、聖典原據の考察・聖傳芳躅の檢討・宗學史上の回顧の三篇より成り、周到精密に聖人本尊の旨致を講明して遺憾なし。切に宗門緇素各位の高讀を俟つ。 菊判洋裝函入九ポイント組・本文四八〇頁 定價特製二圓五十錢・並製一圓八十錢 七十一錢

全國優秀農家組合行脚

自力更生 香月秀雄著 菊判洋裝函入美本・本文二九二頁總振假名附・定價二圓五十錢・書留送料卅三錢

農業經營と農政

帝國農會幹事 岡田 溫著 菊判洋裝函入美本・本文五三〇頁 定價三圓八十錢・書留送料卅三錢

農事小組活動の實際

農業技師 折目六右衛門著 四六判洋裝函入・本文四五〇頁總振假名附・定價二圓二十錢・書留送料廿一錢

肥料詳説

前肥料検査官 長谷川喜直著 菊判洋裝函入・本文五三〇頁別冊分析表四十葉・定價三圓八十錢・書留送料卅三錢

成功せる農村振興策

農業技師 折目六右衛門著 菊判洋裝函入・本文二五〇頁總振假名附・定價二圓八十錢・書留送料二十一錢

日本産石材精義

理學士 小山一郎著 四六判洋裝橫組二九〇頁・原色版石材標本二百餘・定價七圓・書留送料四五錢

建築標準規格解説

最新工學普及會編 四六判洋裝橫組・本文二百餘頁建築土木標準規格附・定價一圓半・書留送料十五錢

動物學概論

盛岡高等農林學校教授 進士 織平著 菊判洋裝橫組・本文五百餘頁・圖版滿載定價四圓八十錢・書留送料三十三錢

菌類界の特異現象

農博山田玄太郎序 鳥取高農助教松浦勇著 菊判洋裝橫組二百餘頁・着色普通寫眞百六十九圖・定價三圓半・書留送料廿一錢

帝國歲計豫算の話

前大藏次官 河田 烈著 菊判洋裝パンフレット 定價八十五錢・書留送料十五錢

大審院判事 細野長良著 民事訴訟法要義

編成完

第五卷

菊判背革四〇〇頁
定價 四 圓
送料 二十二 錢

著者の多年に亘る精研の集積たる本書は、茲に第五卷に以てその完結を見るに至る。現行民事訴訟法の領域に於て最初にして唯一とも稱すべき大規模なる体系的企圖のもとに、實證的見地に立ちて之が解釋を試み、凡ゆる可能の疑問に答へ、内外の學說判例を詳密に引照して立論に供す。内容眞に完璧の評高き名著たり。

本書第五卷に在つては再審、督促手續及訴訟費用殊に訴訟費用の負擔、訴訟上の擔保或は訴訟上の救助に就きて論述せられ、卷末には全卷を通ずる事項索引並に條文索引を附して本書の實用に便せらる實際家必備の書たるべきを確信するところなり。

- ◇ 第一卷 ◇ 定價 五・〇〇 送料 二・二二
緒論 | 民事訴訟ノ觀念・事實關係トシテノ民事訴訟ノ主體 | 訴訟的法律關係・民事訴訟法ノ效力・民事訴訟ノ主體 | 司法機關・裁判所ノ構成・當事者・當事者ノ意義及表示方法・當事者能力・辨濟能力・代理・使者
- ◇ 第二卷 ◇ 定價 五・〇〇 送料 二・二二
訴訟ノ自由ト訴權・訴ノ種類・訴ノ消滅並ニ移轉・停止・訴訟ノ消滅
- ◇ 第三卷 ◇ 定價 四・八〇 送料 二・二二
訴訟行為ノ準備・口頭辯論ノ準備手續・證據(證據手續・證明ニ依ル證據方法ノ種類・證人訊問・鑑定・書證)
- ◇ 第四卷 ◇ 定價 四・五〇 送料 二・二二
訴訟指揮・辯論ノ公開及法廷警察・訴訟行為ノ懈怠及其效果・裁判・判決・區裁判所ノ手續・上訴及再審 | 上訴・控訴・抗告

二町保神・田神・京東

店書堂松巖

番六五五六京東替振

七七二

理論 應用 植物及動物

新年特大號(第五卷)特輯欄 || 生物學の進歩と其應用 本號に限り三六〇頁 價一圓三十錢・送料六錢

生物研究家
博物教育家
醫學・獸醫
畜産・養蠶
水産・林學
作物・園藝
の必讀智囊
頁十六百判々三號每
錢三料送錢十六册一
錢五十五圓四分月六
錢五十四圓八分册七

農業及園藝

新年特大號(第十三卷)特輯欄 || 果實特産品の研究 本號に限り五〇六頁 價一圓廿錢・送料八錢

農學研究と
農村收益の
増進方法と
農村更生の
根本對策と
を包含する
最新智囊!
頁〇五二判々三號每
錢三料送錢十六册一
錢十二圓四分月々六
錢十八圓七分册二十

理論 實際 機械及電氣

新年特大號(第十四卷)特輯欄 || 電氣工學界最近の進歩 本號に限り三一〇頁 價一圓廿錢・送料六錢

工業關係の
學者・技術
家・教師・當
業者の最新
智囊!! 學生
技工の將來
の技術に昇進
の修學資料
頁十八百判倍嬰號每
錢四料送錢十六册一
錢廿圓四分月々六
錢十七圓七分册二十

七七三

發行所 東京本郷區森川町七〇番 株式會社 養賢堂

★文明社著名發行書目錄★

著者	書名	定價
大上茂喬著	微分學演習	¥ 3.50
、	積分學演習	上 ¥ 1.80 下 ¥ 1.80
、	代數學演習	上 ¥ 1.80 下 ¥ 1.80
大上茂喬共 松室隆光著	解析幾何學演習	1,2,3各卷 ¥ 1.80
若桑光雄著	物理學演習	上 ¥ 3.90 下 ¥ 4.00
、	力學演習	¥ 3.00 ¥ 2.30
西鐵之輔著	無機化學	¥ 3.00
、	有機化學	¥ 2.50
佐賀高校教授 理學士 大上茂喬著	數學閑話	¥ 2.00
弘前高校教授 理學士 若桑光雄著	高等物理學通論	上 ¥ 3.00 下 ¥ 3.50
愛知醫大豫科教授 理學士 越智治成著	代數學狙ひ所	¥ 1.30 ¥ 1.50
理學士 佐藤常三著	三角法徹底的研究	¥ 1.40
大 中 孝 男著	階段式英文和譯徹底的研究	¥ 1.70
弘前教授理 學士 若桑光男 共 大坂在吉中學教諭掛谷近一著	中等程度 物理學演習	¥ 1.50
理學士 越智治成著	代數學徹底的研究	¥ 1.60
、	幾何學徹底的研究	¥ 1.60
楠 間 龜 楠著	商業讀本	¥ 1.00
野 田 眞 一著	產業組合の話	¥ 1.00
佐賀高校教授 理學士 大上茂喬著	外遊見たまゝ聞いたまゝ	¥ 2.00
長崎縣女子師範教授 島 本 靜 夫著	數學教育概説	¥ 1.30
稻 次 靜 一著	算術教育原論	¥ 4.00
元東京女高師訓導 北 澤 種 一著	作業教育の本質	¥ 2.00
稻 次 靜 一著	算術の本質と指導の根柢	¥ 1.50

物理學

微分學

代數學

無機化學

有機化學

力學

幾何學

演習

七七四

東京市小石川區
水道端二ノ一〇
文 明 社
振替東京
一七〇一六番

驚馬異の科學

理學士 柴山雄二郎著

附東京女子高等師範
數百枚珍寫其入

(刊新最)

私永年長科學の方面に於ては、
たゞ常識の範圍を超えて、
新しい知識の獲得に努むるは、
學問の進歩に必要にして、
是れを科學と云ふ。然るに、
科學の發展は、常に過去の
知識を基礎として進歩する
ものにして、新発見のみに
依るものではない。むしろ、
過去の知識を批判的に検討
し、その眞實性を確かめる
ことが、科學の進歩の鍵を
握る所である。本書は、
科學の眞實性を追求する
ため、過去の知識を批判的に
検討し、その眞實性を確か
めることを目的として編纂
されたものである。本書は、
科學の眞實性を追求する
ため、過去の知識を批判的に
検討し、その眞實性を確か
めることを目的として編纂
されたものである。本書は、
科學の眞實性を追求する
ため、過去の知識を批判的に
検討し、その眞實性を確か
めることを目的として編纂
されたものである。

定價一・五〇 送料〇・一四

防空讀本

陸軍少將 大場彌平閣下著

好評噴々、既に二十版突破、空前の超非
我國最初の權威ある防空教典、空
常時に直而して國土防衛の大任を果して何
する？ 全國民必讀の書！

定價一・三〇 送料一・一〇

我が空中戦記

リヒトホーフエン手記 松井忠夫譯

四面重圍の五ヶ年、過ぐる大戦に獨逸魂は恐ろしきまでに
死闘した「空の赤鬼」リヒトホーフエンの華々しき血戰手記
これ非常時に日本に驚然として頭を垂れさせる不朽の名著

定價一・三〇 送料一・一〇

少年讀物叢書

山 中 峯 太 郎 著 四六上製三三二頁 定價一・〇〇 送料一・一〇
祖 國 の 鐘 少 女 桂 子 の 哀 れ 悲 し げ 可 憐 二
亞 細 亞 に 立 つ 火 柱 社 大 亞 細 亞 の 平 和 を 亂 せ 秘 密 結
社 を 撃 滅 さ せ る 快 傑 ・ 本 郷 義 昭

定價一・五〇 送料〇・一四

七七五

發行所 東京東區橋 目丁二町寶
社 成 借
振替東京 二五三一
全國書 店販賣

婦人界社發行圖書

料理書は

- ▲赤堀式惣菜料理 赤堀峯吉著 一〇〇〇千十二
- ▲四季の家庭料理 宮澤ひさの著 一七〇千十五
- ▲四季の新しい日本料理 宇多繁野著 一五〇千十五
- ▲榮養本位 簡易西洋料理 櫻井省三著 二二〇千十五

結婚準備に

- ▲常日服裁縫の秘訣 原田恵助著 一二〇千十二
- ▲禮儀作法 大妻コタカ著 一二〇千十二
- ▲活花大鑑 婦女界社編 〇六〇千九錢
- ▲婦人性典 福井正憲著 一〇〇千九錢
- ▲日本名婦傳 菊池寛著 一〇〇千十二

育兒と教育に

- ▲我子の教育 關寛之著 一三〇千十五
- ▲偉人の母 千葉春村著 一二〇千十二
- ▲我子の愛育法 三田谷啓著 一二〇千十二
- ▲愛兒の導き方 三田谷啓著 一二〇千十二
- ▲コドモの相談 三田谷啓著 一五〇千十二
- ▲兒童心理 上野陽一著 一二〇千十二
- ▲赤ちやんの名付け讀本 熊崎健翁著 一三〇千十五
- ▲病兒看護の批判 吉田久造著 一〇〇千十二
- ▲漫畫おハム珍騒曲 市川十士著 一〇〇千十二

東京神田駿河臺 振替東京二九三七番 電話神田二七五二

弘文堂

新刊

東京神田駿河臺 振替東京五三九〇九 電話神田二七五二

新東洋史綱要 丹羽正義著 一八〇	支那とフランス美術工藝 小林太一郎著 七〇〇	元人雜劇序說 青木正兒著 一八〇	トム言語學史 泉井久之助共譯 一五〇	體系と展相 山内得立著 三〇〇	生物化學概論 小松茂著 四〇〇	フイヒテ 木村素衛著 一三〇	デカルト 野田又夫著 一三〇	ヒューム 土井虎賀壽著 一三〇	アウグステイヌス 松村克己著 一三〇	マクス・シェーラー 田中熙著 一三〇	家族構成 成戸貞三著 四〇〇	保全處分の研究 吉川大二郎著 四〇〇	手形法 大橋光雄著 三三〇	日本憲法論上 黒田覺著 一五〇	日本憲法論中 黒田覺著 一七〇	保險經濟學 松山斌著 三〇〇	債權各論講義 石田文次郎著 二五〇	改訂日本行政法上 渡邊宗太郎著 四三〇	改訂海商法論 烏賀陽然良著 四〇〇	改訂物權法論 近藤英吉著 三〇〇	集團社會學原理 松本潤一郎著 三二〇
------------------	------------------------	------------------	--------------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	-----------------	--------------------	--------------------	----------------	--------------------	---------------	-----------------	-----------------	----------------	-------------------	---------------------	-------------------	------------------	--------------------

此の一年必ず読むべき本

日本古代史論

文學博士 清原貞雄著

菊判上製箱入六五〇頁
定價 五・五〇
送料 二・二〇

本書は建國以來大化改新によつて、我國が近世的國家として立上るまでを日本古代史として、政治、經濟、文化百般に亘つて剔抉し、此を綜合し、一貫せる大系の下に發表し、先人珠玉の研究に總決算を與へた名著。

日本城郭史

文學博士 内務省考證官 大類伸・鳥羽正雄著

菊判洋裝箱入七百頁
定價 六・五〇
送料 二・二〇

城郭の變遷は文化の進度を示す記念碑である。本書は、單なる壘壕から天下の名城を産むまでの興味深き發達を解く。追日亡はれゆく此の足跡を惜み、城郭研究の第一人者として餘りにも有名な著者が健筆を揮つたもの。

水戸學派の尊皇及び經綸

樋畑雪湖著 價二圓送・一四

古文書の研究法

龍居松之助著 價二圓五十錢送・一四

文房至寶

荻野謙堂著 價四圓送・二二

- 去來抄新講(上) 藤守井田乙男序著 布装六函判 五・二〇
- 俳人許六の研究 藤鈴井木紫重影序著 紙装六函判 一・八〇
- 俳諧史上の人々 幸高田木露蒼伴梧題著 紙装六函判 二・〇〇
- 其角五元集全解 岩本梓石著 紙装六函判 二・五〇
- 俳人惟然の研究 穎鈴木重雅序著 布装六函判 二・五〇
- 俳句季寄せ 俳書堂編 布装半函判 一・八〇

俳書

- 俳句用語 俳書堂編 輕紙半裝判 〇・四〇
- 俳人北涯 船山草花著 布装六函判 一・二〇
- 句集くぢら 宇田零雨著 紙装六函判 一・二〇
- 連句入門 榎山梓月著 輕紙六裝判 一・二〇
- 故人春夏秋冬 大須賀乙字著 布装半函判 一・八〇
- 子規句集講義 虛子鳴雪著 布装半函判 一・八〇

俳書專門 俳書堂

東京丸ノ内 三菱廿一號館
電話丸の内四八〇〇番
振替東京二七一〇九番

目錄内容見本進呈

三成社發行の新刊と重版書

神戶會話新英日

神戸 榮先生著
 ◆三六判特製携帶至便
 ◆價壹圓五拾錢稅十錢

英文大阪毎日學習號批評
 三年後の東京オリンピックを
 指して英語會話の發行せられ
 たもの枚舉に暇なき程である
 もとの間に最新會話の如きは
 らう。即ち内容最新の分けて
 生會話「四季會話」第二編「學
 生會話」第三編「社交會話」第
 四編「時事會話」として、別に
 用句集として會話に必要な
 的點をいまは順に集めたもの
 創的なる今までの類に全く獨
 一般人士に是非を云ふに及ばず
 一讀を薦めたい

内容見本送呈す

神戸 榮先生著
 ◎英文公式の合理的學び方
 三六判特製全
 紙數三百六十頁
 ●定價金壹圓貳拾錢
 ●郵稅金十二錢

著者	書名	定價	郵稅
岡田起作	習字新法	一・五〇	一・四〇
岡田起作	草海	三・〇〇	二・九〇
板橋新一	體操教育の根柢と教案の立て方	一・三〇	一・二〇
淺野秀一	我が子の教育	一・三〇	一・二〇
加藤不可止	綴方の新指導	一・八〇	一・七〇
奥野庄太郎	高等小學教育の革新研究	三・八〇	三・七〇
山崎博	新興地理教育と日本景觀地理	二・〇〇	一・九〇
高橋義雄	健康聖典	一・五〇	一・四〇
大澤昌壽	頭腦明快成功法	一・五〇	一・四〇
芥川克己	一年生全科文庫	一・三〇	一・二〇
丸山行雄	二年生おはなし十二月月	〇・九〇	〇・八〇
	三年生おはなし十二月月	〇・九〇	〇・八〇
	少年忠烈軍神物語	一・〇〇	〇・九〇
	少年名作物語	一・〇〇	〇・九〇

東市京東 町保神區田神市京東
 番七二〇四田神話電 社 成 三 町保神區田神市京東
 番七二〇四田神話電 社 成 三 町保神區田神市京東

獨・伊は果して 最近に於ける ソ聯邦事情	大阪府情報 委員 會 杉森孝次郎	一・〇〇	〇・九〇	大阪府情報 委員 會
國際日本の自覺 起ち上る蒙古	岡 一太	一・〇〇	〇・九〇	理想社出版部
支那事變の意義	中原民穂	非 〇・三〇	非 〇・二〇	大阪毎日 新聞社
社會政策講義案(二)	天澤不二郎	一・五〇	一・四〇	大分縣産業 組合青年聯盟
在阪思想轉向者は 如何に活躍してゐるか	品川武信	非 〇・六〇	非 〇・五〇	精興社書店
支那事變の過去と現在 列強は果して支那事變 に于渉し得るか	下村敬三郎	〇・五〇	〇・四〇	帝國在郷軍人 會 本 部
嵐を詩くソ聯 ソ聯邦新選舉法と 最高會議選舉	吉森悟市 鷹取武夫	〇・八〇	〇・七〇	經綸會出版部
支那事變について	林 群喜	〇・八〇	〇・七〇	國民精神總動 員中央聯盟
眞 相 ソ 聯	新井 格	一・五〇	一・四〇	豐文書院
一、トーチカの話二、 再び支那に於ける抗日 團體とその活動の根源 を探る(二)	西村一郎	非 〇・四〇	非 〇・三〇	播州國防研究 會 本 部

政治・經濟・社會

七八一

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
政治學汎論	大石兵太郎	四・三〇	三〇〇	南郊社	日清日露兩戰役及世界大戰に於ける我が戰時財政	大藏大臣官房調査課	一・〇〇	一五〇	千倉書房
國策の檢討と具體化	下垣幸三郎	〇・八〇	一六〇	日本政治所	滿洲國の政治機構に就て滿洲國の經濟政策と經濟建設	三品隆以	非	四〇	日滿中央協會
行政機構改革意見書	同	〇・六〇	一〇〇	同	北支經濟案內	高木陸郎	一・三〇	三三〇	今日の問題社
軍需工業動員講話	内田源兵衛	〇・六〇	一〇〇	松山房	日本財政論	風早八十二	〇・八〇	三三〇	三笠書房
民族と國家	矢内原忠雄	〇・六〇	一〇〇	矢内原忠雄	資源獲得と植民地再分割論	貴島桃隆	一・五〇	一〇九	國際經濟研究所
國際勞働會議に於ける	石川彌吉	非	七〇	關東產業團體聯合會事務所	近代戰と株式投資	後藤一平	一・五〇	三三〇	橋本書店
列強の極東政策	磯木寛	〇・六〇	一〇〇	ニユース社	經濟合史(八)	高山洋吉	一・八〇	三三〇	東學社
保險社會省の重要性	田子一民	〇・六〇	一〇〇	久保賢一郎	支那事變と本邦貿易の推移	同	〇・六〇	三三〇	神戶商工會議所
日本戰時外交史話	渡邊幾治郎	一・七〇	二五〇	千倉書房	戰争と財産(一)	平井光三郎	一・〇〇	三三〇	經濟之日本社
世界政治經濟情報(五)	堀江邑一	一・二〇	一八〇	清和書店	通貨價值變動の實證的研究	原祐三	三・五〇	五三〇	千倉書房
一九三八年投資相談	勝田貞次	一・五〇	二〇〇	千倉書房	獨逸の統制經濟	木下矢五郎	七・〇〇	一五〇	慶應書房
戰時統制經濟下に於ける獨占企業の機能に就て	柳澤英壽	〇・五〇	一〇〇	日本統制經濟研究所	大學講座經濟學(二)	新關庄藏	〇・七〇	六冊	慶應書房
支那事變の影響調査一	東京商工會議所	〇・五〇	一〇〇	東京商工會議所	物資總動員の根本精神	前田善敬	〇・二〇	四八	日本學會
大藏大臣官房調査課	大藏大臣官房調査課	〇・〇〇	一〇〇	大藏大臣官房調査課					

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
現下の戰時經濟の動向	小島精一	〇・三〇	一〇〇	神戸市産業課	獨逸の統制經濟	木下矢五郎	七・〇〇	一五〇	慶應書房
北支經濟開發に關する三大要項と諸家の論策	松浦長治	〇・三〇	一〇〇	大東亞協會	金利と物價	豊時稔	二・三〇	二二〇	高陽書院
經營經濟學總論	上原英次郎	二・〇〇	三三〇	東洋出版社	新勞働管理	蒲生俊文	四・五〇	四四〇	保險衛生協會
大戰中の英國財政及當初の經濟政策	大藏大臣官房調査課	一・五〇	二八〇	千倉書房	戰時體制下の鐵鋼政策	事業之世界社調査部	〇・三〇	三〇	三枝文雄
日本新資本主義の誕生	稻葉四郎	〇・二〇	一〇〇	大文字書院	時局に躍る帝國經濟	東日經濟部	一・五〇	三三〇	秋豐園出版部
北支建設と國內經濟への影響	高村幸夫	〇・二〇	一〇〇	立正書院	統制下日本の外國貿易	芹澤彪衛	一・三〇	二九〇	白揚社
これからの經濟生活	前田梅松	〇・二〇	一〇〇	高山書院	佛蘭西の貨幣銀行制度と金融市場	十龜盛次	四・〇〇	五七〇	一元社
民間經濟中樞機關試案	酒井三郎	非	五〇	昭和研究所	非常時財政經濟に對する國民の協力に就て	山梨縣	〇・四〇	四〇	山梨縣
再軍備下の世界金融	ボール・ポール	非	三〇	東京銀行會	支那通貨の運命	塚本義隆	〇・五〇	一四〇	同盟通信社
戰時金融及び金融政策	金原賢之助	〇・二〇	一〇〇	同	日本貿易政策	谷口吉彦	三・〇〇	五三〇	千倉書房
佛紙上の全面的戰爭の企圖と日本經濟力	水島齋	非	三〇	國際思想研究所	銀行の收支豫算を論ず	荒木秀一	〇・六〇	一五〇	大阪銀行會
内外經濟四季報(二)	内務省	一・五〇	二五〇	一元社	此の經濟的底力	犬飼時男	〇・六〇	一五〇	國策産業協會
日本經濟の生産力擴充の進路	東京通信社	一・五〇	二八〇	東京通信社	北支經濟の開發	十河信二	非	三〇	新日本同盟
戰時財政と金融統制	塚田一甫	一・五〇	二四〇	太陽閣	躍進の南洋	菊池正夫	二・五〇	三三〇	東亞協會
ベエーム價值理論	大山千代雄	一・三〇	三三〇	大山千代雄	北支經濟開發と五省の資源	中山桂三	〇・六〇	一五〇	日本協會

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
内外經濟概観	熊田克郎	三〇	三〇	野村合名會社
米穀取引所並に戰時消費統制問題	東京商工會議所	三〇	六〇	東京商工會議所
電力國家管理案に就て	大和田悌二	三〇	四〇	全國産業團體聯合會事務局
北支八省の資源	馬場敏太郎	二〇〇	四〇〇	實業之日本社
日本コンツェルン全書一三 電力コンツェルン讀本	三宅晴輝	一六五	四〇〇	春秋社
戰爭と思想變革	本莊可宗	一五〇	四二〇	高陽書院
英國を撃つ	武藤貞一	一〇〇	四三〇	新潮社
戰時に處する道	中村白葉	一三〇	四三〇	金星堂
戦後國民の覺悟	林銑十郎	非	三〇	日本協會
日支民族協和工作の急務	廣瀬庫太郎	非	四〇	栗林四郎
次に立つ我々	安藤良信	一五〇	四三〇	復興社
國家論及世界政策	吉川末次郎	三〇	四〇	社會大衆黨國際部
事變の原因と朝鮮人の覺悟	崔相徳	非	四〇	東亞民論社
支那の民族性と社會	川合貞吉	一〇〇	四二五	第二版國民會

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
王道北支の建設	八木雄馬	非	四〇	八木雄馬
世界列強の軍備はどうか	内閣情報部	非	三〇	國民精神總動員中央聯盟
アジア再建の義戰	西村一郎	四〇	三〇	播州國防研究會
支那事變と英國の言動	神庭伸之助	四〇	五〇	青年懇談會出版部
日本主義労働運動大意	鷺澤與四二	二〇	四〇	江藤大吉
支那開發の根本方策	江藤大吉	二〇	四〇	江藤大吉
支那聯省自治の主體	加田顯治	二〇	四〇	皇文社
ソ聯邦極東の軍備を探る	西本喬	四〇	四〇	戰時思想聯盟
戦後思戦戦に關する資料	石原純	一〇〇	四三〇	岩波書店
科學と社會文化	東京商工會議所	非	四〇	東京商工會議所
現下の電力問題に就て	馬奈木敬信	三〇	四〇	昭和生活社
日獨伊協定の眞目的	奥村喜和男	三〇	四〇	昭和生活社
時局讀物	前川傳二	三〇	四〇	昭和生活社
孫文との誓約により	帝國軍	三〇	四〇	東京朝野新聞出版部
穩田の神様支那四億民衆に告ぐ	事協會	三〇	四〇	東京朝野新聞出版部
非常時に於ける國民の覺悟	細越重助	三〇	四〇	細越重助
フアツシズム論 (プリント)	河合榮治郎	二〇	四〇	プリント聯盟

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
日本精神の考察	谷本克富	非	四	京都經濟會
支那事變の經過と我國關係	長岡克曉	非	四	大 道 社
北支經營の三大關心事	角岡知良	非	四	關東產業團體聯合會事務所
世界大戰時に於ける戦傷者の再教育及再雇傭に關する英獨佛諸國の政策及諸施設	石川彌吉	非	三	關東產業團體聯合會事務所
日英戰はん乎	小林麒一郎	一・三〇	四	内外出版社
近衛内閣はいつまで	小原章喇	一・〇〇	三	大文字書院
事變後の支那内事情	日本協國會	一・〇〇	三	日本國際協會
支那財政經濟の混亂	同	一・〇〇	三	同
支那事變と抗日運動	同	一・〇〇	三	同
南京政府と共產黨	同	一・〇〇	三	同
極東の覇者は	小林知治	一・〇〇	三	今日の問題社
日英對立の根本的省察	山崎靖純	一・〇〇	三	同
世界時局に躍る人々	堀内敬三 他二名	一・五〇	三	時局評論社
ユグヤ人の陰謀を曝く	大野 慎	一・〇〇	三	東京パンフレット社
日本よ大志を抱け	ト部直輔	一・〇〇	三	東京風物社

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
他國の英國完全に失敗した支那援助工作	安藤清雄	一・〇〇	四	昭和書房
電力管理案を撃つ	瀬川主計	一・〇〇	四	新ジャム社
大英帝國主義批判	室伏高信	一・五〇	四	千倉書房
思想報國	林田基勝	非	四	昭徳支部會
群衆社會學	今井時郎	一・五〇	三	高陽書院
史蹟捏造と國家の責任	橋本徳太郎	一・五〇	三	雄山閣
明朗新支那の建設	長谷川 了	一・三〇	三	第二國民會出版部
東亞明明化のために	船田 中	一・三〇	三	日本青年會

日本最古の地圖

日本最古の地圖が三枚ドイツのゲツチンゲン大學にあることが、本年三月十六日午後神戸に入港した照國丸で歐米視察の旅から歸つた専門家の土産話ではじめてわかつた。天明年間伊勢の幸太郎といふ者が難船して露領へ漂着しレングラードに滞在してゐる間に製作した日本地圖がめぐりめぐつてこの大學に寄贈されたもので専門家も「なか／＼立派なものだ」と折紙をつけてゐる。いままで日本最古の日本地圖とされてゐた伊能忠敬の實測地圖は寛政十二年に測量に着手し十八年かゝつて完成したものだが、それより卅餘年前すでにこの地圖が製作されてゐたわけである。

讀難き淨瑠璃外題 (一)

姫山姥	(近松門左衛門)
壽門松	(同)
卯月潤色	(同)
曾我虎か磨	(同)
娥歌加留多	(同)
双生隅田川	(同)
復鳥羽戀塚	(同)
穉靜胎内摺	(同)
淀鯉出世瀧徳	(同)
大磯虎稚物語	(同)
女長田卓櫻	(同)
美條御前身替弦服月	(西澤一風)

弘徽殿鶴羽産家	(近松門左衛門)
菊地大友如袖鏡	(近松半二)
小いなリトノイロアゲ	(入民平七)
半兵衛廓色上	(並木宗輔)
鷗山姫捨松	(並木宗輔)
男作五雁金	(竹田出雲)
釜淵双級巴	(並木宗輔)
信田森女占	(紀海音)
平安城細石	(同)
青梅擇食盛	(同)
大塔宮棒鏢	(竹田出雲)
三拾石艦始	(古淨瑠璃寄物)
粧水絹川堤	(東勇助)

(一八) 數學

學

〇算術〇代數〇幾何
〇三角〇高等數學

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
一月 高等數學要義	西谷茂喬	一・三〇	一八〇	文明社
高等微積分學 下	高須鶴三郎 加藤平左衛門	三・三〇	三六〇	華房
前線の追跡	佐久武雄	二・八〇	一八五	成美堂書店
最新高等圖學	平山嵩	三・三〇	三六〇	風館
高等微積分學 上	高須鶴三郎 加藤平左衛門	二・五〇	三三〇	華房
三月 函數觀念陶治の本質と新指導	高木佐加枝	一・八〇	二四〇	美堂
四月 初等數學 高等數學で分るの講義	瀧村良一	三・五〇	五六〇	太陽堂書店
五月 急速受 實戰代數學根 驗準備 本問題精解 實用高等數學初歩	桑名保吉 北村友圭	一・九〇 一・五〇	三三〇 三三〇	高岡本店
和算研究集録 上	林博士遺著 刊行會	一〇・〇〇	一〇〇	東京開成館
初等常微分方程式	吉江琢兒	八・五〇	四三〇	華房
函數論(問題解説) 下	竹内端三 佐藤正孝	四・〇〇	三六〇	同
微積分學(一)	藤原松三郎	七・五〇	六三〇	内田老鶴園
六月 微積分學 上	坂井英太郎	非	三六〇	共立社書店
平面三角法	掛谷宗一 蓮池良太郎	二・八〇	三三〇	科學書院
七月 工業微分方程式	帆足竹治	四・四〇	三三〇	修教社書院
積分論	泉信一	一・九〇	一五〇	岩波書店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
四月 ラッセル・動物の行動環境 定性分析化學下 詳化學實驗法 新力學大要 高等化學深論(二) 非金屬屬篇 改高等物理學要論 有機化學攬要 無機化學攬要 高等立體圖學 物理學本論 條件反射學 地球盜難 實驗生化學	永野爲武 石田周三 高木誠司 榎本竹治 有澤輝一 岡谷辰治 森元七 造賀常一 牧野鑑造 同 市浦健 船越義房 本多光太郎 バヴロフ 林 海野十三 柿内三郎	二・八〇 二・〇〇 二・〇〇 二・八〇 三・八〇 九・〇〇 四・八〇 三・〇〇 三・〇〇 四・〇〇 三・三〇 五・八〇 八・〇〇 一・五〇 四・〇〇	三三六 二二五 二三四 三九六 四〇四 五八六 三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇	岩波書店 日本藥報社 東洋圖書株式 合資會社 賢堂 内田老鶴圃 文館 前野書店 同 内田老鶴圃 三省堂 ラヂオ科學社 克誠堂書店
五月 應用物理學實驗 光と物質 容量分析實驗指針 定性分析化學上 農政學要論 神秘の宇宙 日本動物分類(一四) 同(一五) 日本の鳥類 經濟理學實生活篇 生物學生理と環境 染料植物譜	眞島正一 他四名 福田光治 石橋雅義 中久木潔 高木誠司 石坂橋樹 ジーンズ 戴内清譯 中條道夫 佐藤井岐雄 内田清之助 岡本利吉 本間誠 山後藤捷平	四・〇〇 四・五〇 三・五〇 四・〇〇 三・三〇 四・〇〇 四・〇〇 一・八〇 一・八〇 一・〇〇 一・〇〇 一・〇〇 一・五〇 一・五〇	三三九 三三三 三三三 五〇九 五〇九 四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇	内田老鶴圃 培風館 カニヤ書店 修教社書院 日本藥報社 叢文閣 恒星社 三省堂 同 大日本圖書株式會社 敬文堂書店 高尾書店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
植物病理學各論 東亞植物圖說(三ノ二) 用器畫原論 理論電氣學(五) 氣象學楚石上 南洋華僑の研究 日本礦物資料(續二) 航海力學後編 動物學 中等物理學新講 地質學講話 工業と工業政策 理論實驗有機化學提要 魚類の化學 高等無機化學	三宅市郎 中井猛之進 大和喜榮 水野敏之丞 岡田武松 新川傳助 伊藤貞市 荒木勤 石橋榮達 他四名 福井私城 望月勝海 河津退 末次又次 植田高三 大谷武夫 富士川 橋本吉郎	非關 一・五〇 二・五〇 四・五〇 五・五〇 八・〇〇 五・〇〇 四・八〇 三・五〇 一・八〇 三・五〇 三・五〇 四・三〇 五・五〇 一・八〇	一六三 三三 三三六 一七七 四四四 二二二 一六八 三三三 四三七 一七三 四九 三三 三三 五二 一八〇	三宅市郎 春陽堂書店 國民教育會 丸善株式會社 岩波書店 興中公司 伊藤貞市 巖松堂書店 華房 内田老鶴圃 古今書院 斐閣 科學書院 生關 賢堂 日本マニユファクチュア史論 榮養と食品の化學 家事化學講義 地質學汎論 軍需インフレは何時まで續くか 彈力學 流體學 魚病學 乳と乳製品の細菌學 工業立地論
六月 應用物理學實驗 音響學 實驗博物學 應用電氣機器學(一)	服部之總 信夫清三郎 藤卷良知 有本邦太郎 石澤吉磨 藤本治義 野田功 佐々木達治郎 同 藤田經信 齋藤道雄 小島正秋 川西正鑑 藤井鴨三 小幡重一 佐々木信次 鶴丸鶴作 瀬藤象二	一・八〇 三・〇〇 四・五〇 一・七〇 一・〇〇 一・〇〇 一・二〇 一・二〇 一・二〇 四・五〇 六・八〇 一・八〇 四・八〇 三・八〇 二・〇〇 二・〇〇 二・三〇	三五四 四九九 五〇八 三〇〇 四四四 三〇〇 四四四 四〇〇 四〇〇 三三四 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三	育生社 丸善株式會社 目黒書店 地人書館 森田書房 共立社 同 厚生閣 西ヶ原刊行會 千倉書房 南山堂書店 内田老鶴圃 中文館書店 共立社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
外國特許要覽 電氣A(強電)二一號	河原孝	一・五	四三	日本學術會	化學構造と生理作用 (二四)	高瀬豊吉	一・五	四三	カニヤ書店
動物記(一)	内山賢次譯	一・五	四三	白揚社	造園植物大圖說(三)	上原敬二	二・五	四三	平凡社
化學反應	千谷利三	二・六	四三	岩波書店	物理騒音防止	高田實	三・三	四三	修教社書院
古典理論化學の基礎	北岡馨	四・五	四三	華房	實用植物學	德田省三	三・〇	四三	西ヶ原刊行會
日本動物分類(二)	德永雅明	二・三	四三	三省堂	高等有機化學	菊池末太郎	一・九	四三	養賢堂
同	上野益三	二・八	四三	同	彈性學(下)	清水篤磨	四・五	四三	工業圖書株式會社
本邦鑛物圖誌(一)	伊藤貞市	二・三	四三	大地書院	金銀採鑛法	河田英	二・五	四三	昭晃堂
分析理論	下澤剛	二・五	四三	共立女子藥學專門學校	電氣磁氣及電子	可見英雄	一・三	四三	工業圖書株式會社
脊椎動物大系鳥類	内田清之助	二・〇	四三	三省堂	酒精及無水酒精	黑野勘六	四・〇	四三	專賣協會
同	黑田長禮	八・〇	四三	同	石鹼製造化學	中江大部	七・〇	四三	内田老鶴園
電氣化學工業大系(二)	向山幹夫	他一名	二册	共立社	治療・營養飼育上より 見たる麥酒酵母	上代格	四・〇	四三	東京ツエノヅ イス出張所
外國電氣事情(一)	電氣局	電氣局	電氣局	電氣局	工業藥品要綱	岩崎重三	六・〇	四三	内田老鶴園
同	電氣局	電氣局	電氣局	電氣局	炭	安藤長義	七・〇	四三	藥石日報社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
化學研究所講演集(七)	西澤勇志智	三・五	四三	京都帝國大學化學研究所	實用無線學	黑田吉郎	四・三	四三	日本出版協會
工業化學讀本	佐伯矩	六・五	四三	南江堂	外國特許要覽 電氣B(弱電)十一號	芝崎藤祿	一・五	四三	日本出版協會
調理食品成分照鑑	限部一雄	一・五	四三	日本評論社	鑛物及顯微鏡の觀察法 岩石用	帷子二郎	一・五	四三	中興會館
流線形	芝崎藤祿	一・三	四三	日本學術會	最新電氣磁氣學	山本勇	三・〇	四三	電氣之友社
外國特許要覽 電氣B一〇號	淺田彌平	六・〇	四三	化學工業時報社	新編鑛床地質學	加藤武夫	六・〇	四三	富山房
化學機器圖集(六)	中野義雄	五・〇	四三	專賣協會	阿片アルカロイド化學	高木隆二譯	六・五	四三	南江堂
送風機と其應用	後藤一雄	五・〇	四三	岩波書店	動物新報告	竹内時男	二・五	四三	内田老鶴園
續測候瑣談	岡田武松	一・七	四三	同	動物記	内山賢次譯	一・五	四三	白揚社
宇宙線	竹内時男	三・〇	四三	三省堂	酸アルカリ及肥料下	庄司務	三・三	四三	工業圖書株式會社
日本動物分類(一八)	三輪勇四郎	二・〇	四三	同	高山と高山植物	大阪營林局	四・七	四三	大阪毎日
同	中條道夫	二・〇	四三	同	外國特許要覽 電氣A(強電)二二	河原孝	六・〇	四三	日本學術會
電氣電磁界理論及 物理 び空中線	岩井秀雄	四・六	四三	修教社書院	大麻の研究	長谷川榮一	二・〇	四三	長谷川唯一郎
醫學化學	永山武美	六・八	四三	明文館書店	天氣圖の見方	中村正照	一・五	四三	鐵道技術社
油脂化學及試驗法	喜多源逸	二・〇	四三	文堂	液體燃料の基礎智識	福間成草	一・八	四三	液體燃料 同盟科

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
測候瑣談	岡田武松	二・〇〇	四三三	岩波書店
有機藥品製造化學摘要	石田米藏	五・五〇	四二五	文堂
十一月				
植物學綜説一	佐藤正義	一・五〇	四一五	内田老鶴圃
植物の受精	湯淺明	一・八〇	四二七	同
同	中村浩	二・五〇	四三三	同
同	守屋馨村	三・八〇	四四五	同
同	渡邊敏夫	三・三〇	四九八	恒星社
同	野村七録	二・八〇	四三六	内田老鶴圃
同	渡邊慧	一・四〇	四三六	岩波書店
同	中條道夫	二・〇〇	四二二	三省堂
同	河野廣道	二・〇〇	四二二	同
同	片山徳次	一・五〇	四二五	電氣新報社
同	古屋芳雄		四二六	金澤醫大衛生學部
同				
十二月				
植物學	楠正貫	三・五〇	四二七	裳華房
電波に聴く	成澤玲川	一・八〇	四三六	日本放送出版協會
物理學通論	本多光太郎	五・〇〇	四四六	内田老鶴圃
膠質學(下)	鮫島實三郎	五・八〇	四四四	裳華房
戰時體制下に於ける電力國策の確立に就いて	永田耀	三・〇〇	四三三	世界經濟情報社
樺太植物圖誌(一)	菅原繁藏	一・八〇	四四五	樺太植物圖誌發行會
アジアの生産様式論	森谷克巳	二・八〇	四三三	培風館
横觀無機化學	岩永源作	三・〇〇	四三三	工業雜誌社
野鳥禮讚	内田清之助	一・八〇	四二九	工業雜誌社
シニール工業熱力學(一)	川下研介	三・五〇	四三三	工業雜誌社
物理地下探査法	渡邊貫	三・〇〇	四三三	工業雜誌社
花原色日本岩石圖譜	石川光春	四・五〇	四三三	内田老鶴圃
嶺野鳥禮讚	和田八重造	三・五〇	四三三	松邑三松堂
	栗津秀幸	三・五〇	四三三	工業雜誌社
	内田清之助	三・三〇	四二二	工業雜誌社

(110) 醫學・衛生

〇〇醫學 〇〇診斷 〇治療

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
一月				
阿部定の精神分析的診斷	大槻憲二	一・五〇	四一三	東京精分析學研究所出版部
微生物及び免疫學	熊本醫科大學微生物學會	三・〇〇	四三三	大同印刷株式會社
臨牀醫學 昭和十一年第二十四卷	山谷徳治郎	七・五〇	四八三	日新醫學社
四十からの無病生活法	式場隆三郎	二・五〇	四三六	實業之日本社
優生學とは何か	レナード・ダーウイン 齋藤及三郎譯	一・六〇	四二四	雄山閣
レ線検査法と患者の取扱方	入江英雄	一・五〇	四二九	金原商店
日本耳鼻咽喉科學全書(二七)	久保猪之吉	一・六〇	四二七	克誠堂書店
明治大正日本藥學史	安東長義	三・〇〇	四四八	藥石新報社
衛生學講義(後編)	横手千代之助	五・五〇	四三三	南江堂
二月				
骨疾患のレ線診斷	横倉誠次郎	三・五〇	四一三	南江堂
日新醫學(二五)	山谷徳次郎	二・〇〇	四三三	日新醫學社
恐るべき喫煙と健康	岡田道一	一・四〇	四一六	株式會社
小生理學	大塚藤吉	五・五〇	四三三	金原商店
和・漢・歐賣藥製劑篇	赤木勘三郎	四・五〇	四九〇	下田文榮堂
解剖學 粹(上)	佐野幹	一・五〇	四二二	南山堂書店
大衆化學藥劑製造法	赤木勘三郎	三・〇〇	四四五	同濟號書房
應用 骨折と其診療法 附説	前田友助	一・〇〇	四三七	南山堂書店
打診と聴診	八田善之進	二・五〇	四一七	金原商店
産科・婦人科診療の實際	岩男督	三・三〇	四三三	同
精神病の境界線	金子準二	三・八五	四二〇	南光社
三月				
人體解剖學實習	谷口善之	三・三〇	四一八	金原商店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
簡明臨牀細菌學	小林六造	八・五〇	一〇七	金原商店
家畜疾病豫防學	能美季一	三・八〇	一〇三	明文堂
藥制	高野一夫	三・五〇	一〇三	江堂
三訂新產婆學	原田隆	三・四〇	一〇三	博文館
衛生學	鯉沼荊吾	四・〇〇	一〇七	金原商店
木下産科前置胎盤	久慈直太郎	二・〇〇	一〇七	南山堂書店
婦人科叢書(一八) 診斷と治療	竹村猛壽	二・〇〇	一〇七	診療社出版部
診療簿から拾つた話	艸樂園主人	九・〇〇	一〇六	桃源莊
通俗夫婦道心得帖	海輪利光	四・〇〇	一〇四	南山堂書店
最新兒科治療	益井翁	三・八〇	一〇九	學藝社
家庭に於ける診斷と治療	久保猪之吉	二・四〇	一〇九	克誠堂書店
日本耳鼻咽喉科學全書(四ノ四)	遠藤至六郎	一〇・〇〇	七三	齒科學報社
口腔外科通論及手術學	宗像逸郎	一・五〇	一〇六	中央公輪社
健全生活の道	東方壽	三・〇〇	一〇四	金雞學院
治病保健の靈草				
靈草の詳解				
產語卷上・中・下	後藤長志	三・〇〇	一〇三	金雞學園
產妙藥いろはうた新解	栗原廣三	三・〇〇	一〇三	同
外科手術後療法	有光藤三郎	六・五〇	一〇九	江堂
膀胱鏡圖譜	高橋明	一・八〇	一〇一	南山堂書店
病理解學上	木村哲二		一〇三	同
新產婆學下	上肥衛	四・〇〇	一〇三	日新醫學社
對照解剖學名集覽	渡邊範介	四・〇〇	一〇三	同
實用法醫學講義	高木耕三	二・五〇	一〇六	南山堂書店
結核の細菌及免疫學	尾持昌次	二・五〇	一〇六	江堂
細菌學實習教程	小南又一郎	二・五〇	一〇六	同
近世病理組織學	渡邊義政	二・五〇	一〇六	醫海時報社
檢查術式	額田年	二・〇〇	一〇九	金原商店
鳥蜂齒學全書第十一卷	佐藤清	三・五〇	一〇三	南山堂書店
小	藤田恒太郎	八・〇〇	一〇九	金原商店
森	於菟	七・〇〇	一〇三	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
看護教程草案(一)	十日本	二・八〇	一〇三	博愛發行所
同(二)	同	一・九三	一〇三	同
法醫學講義	淺田一	二・七〇	一〇七	克誠堂書店
發疹	永井幸一郎	三・五〇	一〇七	鳳鳴堂書店
助産學	木下正中	四・元	一〇三	同
木下産科産科領域に於けるレン	長谷川敏雄	二・三〇	一〇六	南山堂書店
婦人科叢書(一九) トゲン診斷	北川正惇	四・元	一〇三	同仁會
泌尿科學	馬揚和光	二・八〇	一〇九	學藝社
理論と漢方治療法講話	山崎佐	一・五〇	一〇三	克誠堂書店
醫師齒科診療所解説	安井修平	三・五〇	一〇三	金原商店
補習産婆學下	淺田一	四・八〇	一〇三	中央公論社
最新法醫學	梅垣麟三	四・〇〇	一〇三	金原商店
鳥蜂齒學全書(二五ノ三)	河村正吉	一・六〇	一〇六	邦進社書店
性病家庭療法	上野一晴	五・〇〇	一〇三	南山堂書店
生理學下	伊澤勝麻呂	三・五〇	一〇三	誠文堂新光社
吃音矯正法				
皮膚科泌尿器科學大系	堀泰二	三・七〇	一〇七	金原書店
動物寄生性皮膚疾患	太田正雄	四・五〇	一〇三	江堂
馬之部骨及靱帶	大澤竹次郎	一・五〇	一〇三	中央獸醫會
皮膚科泌尿器科學大系	堀泰二	三・七〇	一〇七	金原書店
動物寄生性皮膚疾患	太田正雄	四・五〇	一〇三	江堂
馬之部骨及靱帶	大澤竹次郎	一・五〇	一〇三	中央獸醫會
皮膚科泌尿器科學大系	堀泰二	三・七〇	一〇七	金原書店
動物寄生性皮膚疾患	太田正雄	四・五〇	一〇三	江堂
馬之部骨及靱帶	大澤竹次郎	一・五〇	一〇三	中央獸醫會

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
家畜解剖圖	大澤竹次郎	一・五〇	圖一〇	中央獸醫會
筋馬之部	同	一・五〇	圖一〇	同
內馬之部	同	一・五〇	圖一〇	同
馬之部	同	一・五〇	圖一〇	同
野鼠及ビ野鼠チフス菌ニ關スル研究	茨城縣立農事試驗場	一・五〇	圖一〇	茨城縣立農事試驗場
短波療法	大久保シヅク	二・〇〇	圖一五	コロナ社
細胞學 文獻抄	メンデル會	六・〇〇	圖三四	メンデル會
遺傳學 錄集	同	六・〇〇	圖三四	同
幼兒の健康 (幼兒教育全集二)	霜田靜志	一・五〇	圖三三	刀江書院
精神及身體發達の研究	日本女子大學校兒童研究所	二・〇〇	圖三三	同
講習用レントゲン學的解剖生理	齋藤大雅	一・五〇	圖一〇三	南江堂
病理細菌學總論	佐々木秀一	四・五〇	圖三〇	同
解明鍼灸醫學教科書上	坂本貢	五・五〇	圖四三	東京高等鍼灸大學校出版部
認菴醫方集解	久米崑	六・〇〇	圖六三	漢方醫道研究所
汪昂醫方集解	水原豐	一・八〇	圖一〇	同
產科小手術	柴田信三	三・五〇	圖一〇	同
臨牀齒牙形態圖解	黑河內敏三	三・五〇	圖一〇	同
刺戟療法	大谷彬亮	五・五〇	圖一〇	同
醫獸實驗細菌學	陸軍學校	四・一〇	圖一〇	同
內科診療ノ實際	西川義方	六・五〇	圖二七	同
現代保健・醫療並救療問題檢討	中央社會事業協會	四・五〇	圖二七	同
日本科學發達史	寺島柁史	二・七〇	圖三六	同
細菌及免疫學綱要	志賀潔	三・八〇	圖三五	同
近代衛生教育の理論と實際	佐藤正	三・八〇	圖四一	同
日本小兒科中央誌(一)	北村松之助	六・〇〇	圖七〇	同
診療の實際と對症處方	向後勉	八・〇〇	圖一〇〇	同
臨牀放射線治療學	中泉正徳	四・〇〇	圖三四	同
內科レントゲン診斷學(二)	田宮知雄	一・五〇	圖七五	同

(二) 商業 ○簿記

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
新稅法の影響と其の對策	大木占城	二・八〇	圖二七	銀行信託協會
貿易政策論(第二分册)	檜崎敏雄	九・〇〇	圖一八	斐關
商業實務	水口晉三郎	四・三〇	圖四〇	東京泰文社
會計讀本	高瀬莊太郎	一・五〇	圖三六	日本評論社
三訂銀行簿記提要	吉田良三	二・〇〇	圖三七	同
二月				
動的會計學研究	杉本秋男	四・五〇	圖四六	精社
木材商業	植松健	二・八〇	圖三五	賢堂
商店經營改善の要點	渡邊玄	一・三〇	圖三五	同
三月				
銀行事務の機械化	三村信	五・五〇	圖三三	同
當座貸越事務	齋藤修一	五・五〇	圖一〇	同
擔保事務概論	味尾一雄	一・三〇	圖二二	同
滿日銀行會話	野副重藤	一・八〇	圖三三	同
銀行分課組織概論	藤城敬二	五・五〇	圖一八	同
銀行の證券事務	高木剛也	五・五〇	圖一八	同
銀行經營論	田中金司	一・五〇	圖三六	同
工業會計及原價計算	太田哲三	一・八〇	圖三〇	同
百貨店問題の研究	堀新一	四・八〇	圖五〇	同
簿記學	原口亮平	一・五〇	圖三四	同
新規得意先獲得の要訣	岩井仙吾	五・五〇	圖三三	同
內國爲替事務の特殊研究	銀行研究社	五・五〇	圖二八	同
四月				
銀行事務の機械化	三村信	五・五〇	圖三三	同
當座貸越事務	齋藤修一	五・五〇	圖一〇	同
擔保事務概論	味尾一雄	一・三〇	圖二二	同
滿日銀行會話	野副重藤	一・八〇	圖三三	同
銀行分課組織概論	藤城敬二	五・五〇	圖一八	同
銀行の證券事務	高木剛也	五・五〇	圖一八	同
銀行經營論	田中金司	一・五〇	圖三六	同
工業會計及原價計算	太田哲三	一・八〇	圖三〇	同
百貨店問題の研究	堀新一	四・八〇	圖五〇	同
簿記學	原口亮平	一・五〇	圖三四	同
新規得意先獲得の要訣	岩井仙吾	五・五〇	圖三三	同
內國爲替事務の特殊研究	銀行研究社	五・五〇	圖二八	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
外國爲替取引の法律問題	後藤篤夫	・五	一五五文	雅堂
外國證券賣買事務	岩田耕作	・五	一八三同	雅堂
銀行の検査事務	小畑美雄	・五	一五〇同	雅堂
銀行の出納事務	石巻良夫	・五	一五五同	雅堂
銀行事務・會計	角野政雄	・四	一四三同	文雅堂
利息法史論	西本 穎	・三	一〇三有	斐閣
英米英語商業學及名著 商業英語概論	山崎宗直	・三	一〇九有	朋堂
支那銀行論	吳承禧 玉木英夫譯	・二	一〇〇叢	文閣
ヘラウアー經營計算論	久保田 晋次郎	・二	一〇七同	文館
商業簿記	青山楚一	・二	一〇六文	雅堂書店
圖商品の科學	白崎享一 佐久間哲三郎	・二	一〇四同	勢社
新法會社設立案内	伊藤鐵之助	・四	一〇四同	松山房
參照會社概要	平田 央	・二	一〇二有	斐閣
會計法監査	三邊金藏	・一	一〇三同	千倉書房
商業簿記概要	伊藤正一	・二	一〇二同	嚴松堂書店
商業簿記要義	金 洵 植	・三	一〇九同	同
保險學總論	磯野正登	・四	一〇五同	保險經濟社
商業簿記	根岸正一	・三	一〇四同	文閣
取引稅の研究	安藤春夫	・二	一〇三同	文館
商業調査書	横濱市役所	非	一〇五同	横濱市役所
工業原價計算及び會計	伊藤正一	・二	一〇三同	嚴松堂書店
新商業通論	増地庸治郎	・一	一〇三同	千倉書房
文字商標集(七ノ上)	特許局	・三	一〇七同	帝國發明協會
同(七ノ下)	同	・三	一〇三同	同
商業組合簿記精説	青山金一郎	・三	一〇三同	森山書店
改訂 鑛業出願手續及經營百般	寒川俊太郎	・四	一〇五同	生閣
信用狀事務	竹原忠次	・五	一〇四同	文雅堂

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
商業簿記概要	伊藤正一	・二	一〇二同	嚴松堂書店
商業簿記要義	金 洵 植	・三	一〇九同	同
保險學總論	磯野正登	・四	一〇五同	保險經濟社
商業簿記	根岸正一	・三	一〇四同	文閣
取引稅の研究	安藤春夫	・二	一〇三同	文館
商業調査書	横濱市役所	非	一〇五同	横濱市役所
工業原價計算及び會計	伊藤正一	・二	一〇三同	嚴松堂書店
新商業通論	増地庸治郎	・一	一〇三同	千倉書房
文字商標集(七ノ上)	特許局	・三	一〇七同	帝國發明協會
同(七ノ下)	同	・三	一〇三同	同
商業組合簿記精説	青山金一郎	・三	一〇三同	森山書店
改訂 鑛業出願手續及經營百般	寒川俊太郎	・四	一〇五同	生閣
信用狀事務	竹原忠次	・五	一〇四同	文雅堂
現代商業概論	向井鹿松	・三	一〇五同	嚴松堂書店
貿易商務論	中井省三	・二	一〇八同	大阪寶文館
銀行の文書事務	田坂市松	・一	一〇四同	文雅堂
外國送金事務	高城海堂	・五	一〇一同	同
簿記精説	片野一郎	・三	一〇四同	文館
外國計算事務	烏田確也	・五	一〇一同	雅堂
稅務會計實務	香島利四郎	・二	一〇五同	文館
新海上保險約款解説	坂本 毅	・一	一〇八同	雅堂
事務能率十二講	高田琴三郎	・二	一〇三同	同
耀の研究(一)	大野 勇	・二	一〇五同	嚴松堂書店
生命保險論	末高 信	・二	一〇三同	寶文館
倉庫研究會	倉庫研究會	・一	一〇一同	千倉書房

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
統制的會計	長谷川安兵衛	二〇〇	三〇〇	東洋出版社
大阪商業史料集成三	黒羽兵治郎	三〇〇	四〇〇	大阪商科大学 經濟研究所
會計學研究	太田哲三	三〇〇	四〇〇	高陽書院
銀行簿記	根岸正一	二〇〇	三〇〇	西村豐吉
經營計理論前篇	古川榮一	二〇〇	三〇〇	東洋出版社
商業學提要	室谷賢治郎	二〇〇	三〇〇	文館
證券經營法	高田源清	三〇〇	四〇〇	大同書院
商業經營論	松井辰之助	二〇〇	三〇〇	千倉書房
株券取扱實務提要	佐藤治作	四〇〇	五〇〇	銀行信託協會
經營計理論後篇	古川榮一	二〇〇	三〇〇	東洋出版社
十一月	日本ビルマ 協和會	一〇〇	一〇〇	日本ビル 協和會
日本縮句新通商條約及 棉布議定書と最近の縮 句事情	小池金之助	一〇〇	一〇〇	株和會社
會計學基礎原理	西村勝太郎	三〇〇	四〇〇	大同書院
商業政策概論(上)	平野常治	二〇〇	三〇〇	巖松堂書店
會計精義(理論と 實務)	岩垂至	二〇〇	三〇〇	文館
取引所論	末高信	二〇〇	三〇〇	明善社
十二月				
宣傳技術論	小山榮三	二〇〇	三〇〇	高陽書院
外國爲替の常識	内野一太郎	一〇〇	二〇〇	文館
宣傳は勝つ	倉本長治	一〇〇	二〇〇	誠光堂
日本倉庫史	松本清	二〇〇	三〇〇	大日本出版社 峯文社

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
最新組織學總論	金子丑之助	三〇〇	四〇〇	克誠堂書店
小兒病學	清水茂松	六〇〇	七〇〇	南山堂書店
ホルモン療法	永井幸一郎	五〇〇	六〇〇	鳳鳴堂書店
ヒスタミン療法	湯本求真	四〇〇	五〇〇	湯本四郎 門衛
醫學と人生	林春雄	三〇〇	四〇〇	啓明會事務所
六月				
老若男女の生化學	田所哲太郎	一〇〇	二〇〇	西ヶ原刑行會
若き男女のための 性知識	性及知 普及會	八〇	一〇〇	高千穂堂
夫婦のための性知識	同	八〇	一〇〇	同
避妊及び避妊器の 説明書	垂水角藏	四〇	五〇	ホーム商會
産兒調節の知識	岩片喜久男	三〇	四〇	岩井合名會社
不老支那養生訓	上條壽美造	一〇〇	二〇〇	興風書院
吾が輩の歐米の工場衛 出張報告	吉永萌	一〇〇	二〇〇	東京醫事 局
近世衛生學	井上善十郎	八〇	一〇〇	南山堂書店
內科學	入澤達吉	七〇〇	八〇〇	南山堂書店
性慾生活の變態と正體	性及知 普及會	八〇	一〇〇	高千穂堂
大日本小兒科全書上	泉仙助	七〇〇	八〇〇	三金原商店
小解剖學圖譜	西成甫	六〇〇	七〇〇	同
歐米の內分泌學界を 覗いて	伊藤正雄	四〇〇	五〇〇	帝國社藥器藥 研究所
白木産科學前編	白水正博	三〇〇	四〇〇	南山堂書店
內科書中	坂本恒雄	一〇〇	二〇〇	同
マラリヤの話	松岡冬樹	五〇	六〇	佐藤卯兵衛
拓人鬮病法	同	五〇	六〇	同
齒牙形態學	柴田信	九〇	一〇〇	金原商店
齒科金屬學	加瀬勉	三〇	四〇	共立社
日本耳鼻咽喉科學全書 (一ノ六)	久保猪之吉	二〇〇	三〇〇	克誠堂書店
神經質療法への道(三)	森田正馬	二〇〇	三〇〇	神經質研究會
婦人と經濟的醫學常識	小鷹利三郎	三〇〇	四〇〇	帝國保險 思想普及社

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
內科書(上)	吳本恒建	10.00	四六二	南山堂書店	痛の豫防と治療法	大浦孝秋	2.00	四八三	大阪時事新報社保健部
臨醫藥處方全集	日本藥學會	4.50	四三〇	明星堂	傳染病の知識	内田次郎	1.70	四三九	富山房
助産婦學(上)	緒方祐將	4.50	四三〇	緒方祐將	科學より學問へ 日本保健學提唱	多田政一	2.80	四六八	日本綜統學術院出版部
胸痛	梅室純三	4.50	四三〇	醫學展望社	八 月				
皮膚病微毒學	皆見省吾	3.00	四三〇	南山堂書店	中 耳 炎	鳥井惠二	3.30	四二二	金原商店
國民保健論	三宅正一	3.00	四一六	日新閣書店	小兒傳染病診療の實際	遠城寺宗徳	5.50	四三三	同
皮膚科泌尿器科學大系 泌尿器科學 三ノ四	並木重郎	3.00	四一八	南 江 堂	醫 心 方(卷二二)	荻野伸三郎	5.50	四三三	同
乳 操 眞 髓	加藤裕康	2.00	四〇六	加藤裕康	日本鍼灸學教科書(後編)	山本新梧	6.50	四九四	關西鍼灸學院出版部
新耳鼻咽喉科學	香宗我部壽	2.00	四〇六	南山堂書店	內 科 學(四)	入澤達吉	8.00	四六六	南山堂書店
日本鍼灸學教科書(前編)	山本新梧	6.00	四〇六	關西鍼灸學院出版部	藥學獨逸語解釋研究	黑塚壽一	2.80	四四三	太陽堂書店
內 出 血	松井權平	1.50	四〇九	金原商店	圖說血液學之基礎	佐藤清	6.00	四一四	南 江 堂
防疫保健の常識	井口乘海	1.70	四〇六	春 湖 社	大阪帝國大學醫學部 小澤内科教室論文集一 大日本内科全書(二ノ一)	岩鶴龍三	非	四〇〇	大阪帝國大學醫學部 小澤内科教室
新撰日本食品成分總覽	佐伯 矩	5.80	四三三	江 堂	日本病理學會會誌(二七)	宮川米次	8.00	四三七	金原商店
經 穴 學	富永 勇	5.00	四七五	富永 勇		緒方知三郎	3.00	四六一	日本病理學會

平田式心療法	平田内藏吉	1.80	四三七	春陽堂書店	產科手術學 手技	小牧久夫	2.80	四一七	富倉書店
新しい腦の衛生	椋田十次郎	1.50	四三三	實業之日本社	人體奇生蟲病診療ノ實際	田邊 操	3.00	四二二	南山堂書店
看護婦産婆用 人體解剖及生理學	川村清一	2.50	四二五	南 江 堂	要説注射藥調製法	眞保紀一	5.00	四四七	科學書院
病的材料検査指針	里見三男	2.50	四一六	同	齒科材料學	岡田 正	3.00	四一四	南 江 堂
家畜内科診斷學	陸軍學校 獸醫學部	非	四〇三	陸軍獸醫學校 將校集會所	精神鑑定例	三宅鏡一	5.50	四六三	南 江 堂
健康増進の書	保國生命延長 協會日本衛生 保衛協會譯	1.30	四三三	泰 山 房	小病理學總論(下ノ上)	木村男也	5.80	四三四	金原商店
十二指腸ソンの 臨牀的應用	井上 硬	2.50	四二二	南 江 堂	肺患國策とサナト リアム療法の實際	中山三郎	2.00	四二八	沙 那 舍
老人病の話	入澤達吉	2.50	四二五	啓明會事務所	眼科臨牀の爲に	山本守部	4.00	四三九	金原商店
婦人の冷感症	高橋毅一郎	4.00	四二六	最新治療 發行所	臨床漢方醫學總論	矢數有道	3.00	四三三	春陽堂書店
九 月					新撰レントゲン 診斷學入門	田宮知耻夫	8.00	四四四	南山堂書店
電氣療法學	眞鍋嘉一郎	1.00	四一九	ア ル ス	遺 傳 學	田中義磨	3.00	四九三	華 房
日本耳鼻咽喉科學 全書三〇	久保猪之吉	2.00	四一六	克誠堂書店	健康保險醫診療寶典	健康保險 醫報社	2.50	四三三	健康保險 醫報社
日本耳鼻咽喉科學 全書三一	同	1.00	四一七	同	十 月				
病理學總論	佐藤 清	6.00	四三五	南山堂書店	氣管枝喘息	辻 寛治	3.00	四九五	金原商店
病理解剖各論(上)	同	4.50	四三〇	同	體質匡正法初步	渡邊祐五郎 渡邊正夫	5.00	四一五	體質匡正會 出版部

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
新醫化學提綱	市原 硬	四・〇〇	二九四	金原商店
實驗的壞血症並ニビタ ミンCニ關スル研究	友井敏男	非	七五	東京慈惠會醫 科大學醫學會
日本人體解剖圖譜上	伊澤好爲	一五・〇〇	四〇四	同窓會 南山堂書店
子供の體質と榮養	上村哲彌	一・八〇	三三	日本兩親 再教育協會
貧血の診斷及治療	小宮悅造	八・〇〇	三七	金原商店
最近のビタミン療法	三友義雄	一・六〇	一七四	治療學雜誌社
日新產婆學 上	土肥 衛	四・〇〇	四四	日新醫學社
圖說臨牀齒牙病理學	渡邊範介	一〇・〇〇	七一	小桐書店
日本內科 中央雜誌 小兒科 二ノ上	北村松之助	七・五〇	九二	日本內科小兒 科中央雜誌社
簡明法醫學	古畑種基	三・〇〇	二四	金原商店
圖解皮膚性病學 一	橋本 喬	八・五〇	一四〇	同
醫用生理學 中	正路倫之助	三・三〇	二九	南 江 堂
子供精神衛生講話	上村哲彌	一・八〇	四九	日本兩親 再教育協會
大日本小兒科全集二一	稻葉逸好	一・五〇	二九	金原商店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
集成內科學(一)	馬場辰二	六・五〇	三六	集成社
同(二)	同	六・五〇	三六	同
同(三)	同	六・五〇	三六	同
同(四)	同	六・五〇	三六	同
常用藥劑の副作用及 中毒と其處置	金原作輔	七・五〇	四七	金原商店
不老長生の秘訣	後藤朝太郎	一・三〇	三七	大東出版社
藥物的無痛分娩法	白木正博	五・〇〇	三	南山堂書店
理科藥品精義	太田清一	三・〇〇	三九	東洋圖書株式 合資會社
性的神經衰弱の根治法	杉本清治	四・〇〇	一〇五	中央之醫界社
新產科學(上)	塚原伊勢松	七・五〇	七〇	金原商店
軍陣齒科	山崎 清	七・〇〇	五五	同
淋疾及尿道鏡	佐藤恒祐	一五・〇〇	一〇四	南 江 堂
結核人の信念と 其の生活	青木 茂	三・〇〇	四四	童心房
寄生原蟲研究の栞	宮入慶之助	三・〇〇	一四	南山堂書店
全體醫學	高田鄰德	一・〇〇	四三	平凡社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
十一月	茂木外科總論	八・〇〇	六四	南山堂書店
圖解皮膚性病學(二)	橋本 喬	八・五〇	一三	金原商店
實驗齒牙拔去術	加藤清治	六・〇〇	三九	吐 鳳 堂
不妊症ノ診斷及療法	木下正中	二・五〇	三六	南山堂書店
乳兒の 下痢	石橋長英	一・七〇	一	金原商店
作業環境の衛生	大西清治	四・五〇	四四	保險衛生協會
細菌學血清學實習	猪方規雄	二・七〇	二五	南 江 堂
新撰內科治療法集成	岩井勝三郎	七・五〇	一〇七	同
婦人科解剖學	秋葉 隆	二・八〇	一七	南山堂書店
妊 娠 惡 阻	谷口彌三郎	二・五〇	三三	診斷と治療社 出版部
合併症ト其處置(上)	醫學業績 研究会	五・〇〇	四六	敬文社出版部
絕對安眠法	式場隆三郎	一・六〇	四四	中央公論社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
現場と法醫學	國仲寬長	六・〇〇	二八	松 華 堂
精撰解剖學(上)	西 成甫	九元	五三	同
同(下)	同	七元	四〇	同
衛生讀本	高野六郎	一・三〇	三七	日本評論社

讀難き淨瑠璃外題 (二)

敵討	武烈	本朝	丹州	詩近	女舞	裾重	容競	玉藻	雄結	菖蒲	薩摩	芽源	萬屋	記錄
檻縷錦	天皇	斑女	爺打栗	江八景	劍紅楓	紅梅服	出入湊	前磯杖	勘助島	前操弦	歌妓鑑	氏鷺塚	助六代	會我玉斧
(文耕堂)	(爲永太郎兵衛)	(同)	(小出雲)	(爲永太郎兵衛)	(春草堂)	(淺田一鳥)	(並木丈輔)	(淺田一鳥)	(同)	(三好松洛)	(小出雲)	(淺田一鳥)	(並木宗輔)	(中川不倫)

太平	本卦	艶容	競伊	蓋壽	驪山	博多	警報	花魁	伽羅	御羅	五大	袈裟	聖德	角瓶
頭飾	復昔	女舞	勢物	永軍	比翼	織戀	春住	茗八	先代	勸進	力戀	重血	利生	妖妬
(北脇素人)	(竹本三郎兵衛)	(奈河龜助)	(菅專助)	(菅專助)	(源平藤橋)	(菅專助)	(奈川友之助)	(山田案山子)	(松貫之)	(櫻田治助)	(並木五瓶)	(達田辨二等)	(竹本三郎兵衛)	

(一三) 工 學 ○機械

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
最近無線工學名著翻譯 三一年三指向受信 と方向探知三 最新發變電所工學(二) 同期發電機上	平賀大一 海野謙四郎		圖二三 圖一六	コロナ社 同
外國特許要覽 金屬材料(一〇)	吉澤英雄 鈴木德藏 他二名	一五 一五	圖一五 圖三册	日本學術 振興會
高等機械設計(三)	鈴木德藏 他二名	一五	圖三册	共立社
濕田暗渠排水法要論 改良	小野實義	三六	圖三五	小野實義
伊東忠太建築文獻 論叢・隨想・漫筆	伊東忠太		圖七三	龍吟社
JES 境界ゲージ方式 應用機械工作及製圖法	井上善吉	三五	圖四七	竹原文泉社
新選電氣工學海外名著 集一 ブライアン及ジ ヨンスン交流機	松本正則		圖一六	コロナ社
新航用測器(附圖)	井關貢		圖	海文堂出版部
外國特許要覽 航空機(一六)	岡本哲史	一三	圖三	日本學術 振興會
實用金屬材料講座四 小池橋梁工學(三)	石澤命知 他三名 小池啓吉	非 三七	圖四册 圖四	共立社 日本文化協會
新興基礎電氣工學講座 特殊電氣回路 (理論と其設計實例)	丹羽保次郎 仲野雄介	三五 五〇	圖三五 圖三〇	オーム社 仲野雄介
自動車及航空 瑛瑛工業	島田孝一	二六	圖四九	春秋社
機械工場實習講座 平削盤・形削盤と其作業	赤沼惇一 中村肇	一五 一五	圖三二 圖三二	太陽 陽閣
航空計器	佐々木 達治郎	二六	圖二八	工業圖書 株式會社
初級圖案法	金子清次	三〇	圖三六	同
二 月 上田電氣機械工學四 電氣機械應用	上田輝雄 村山茂	六五 六五	圖五二 圖五二	太陽堂書店
建築設計製圖法	森永達男	三五	圖三三	金龍堂出版部
外國特許要覽 電氣A(強電)一八	阿部謙一	一五	圖五	日本學術 振興會

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
電氣工事詳論	伊藤奎二	非	園二九	誠文堂新光社
外國特許要覽 電氣A(強電)十七	河原孝	・七	園七	日本學術振興會
高等機械設計四	南條初五郎		園三册入	共立社
日本職業大系五 工業編(二)	豐原又男	一・〇〇	園三六	職業紹介事業協會
最新電氣製鋼法	谷山巖	四・五〇	園四三	修教社書院
最新機械工業材料	諸中文一	二・五〇	園二九	工業圖書株式會社
新選電氣工業海外名著 集(一)工業方面に於ける電子管の應用	カイス・ヘンニ 大河内友二共譯		園三七	コロナ社
探礦學三採礦用品	永積純次郎	二・八〇	園二七	丸善株式會社
構造強弱學(下)	大藤高彦	六・五〇	園五八	同
アルス土木工學 大講座 二ノ上水理學	伊藤剛	二・五〇	園四四	アルス
實用鑄造法	澤田政勝	二・三〇	園四三	工業圖書株式會社
砂防工學	浦孚	二・三〇	園一六	同
荒川電氣工學(三) 交流流機	荒川文六	三・〇〇	園四七	丸善株式會社
動力用汽機構造	石谷清一	二・五〇	園三九	共立社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
現代機械工學要義	松村光雄	二・六〇	園二九	出版屋書店
建築工學海外名著集 コンクリート總覽四	クライン・ローゲル 他三名譯		園一九	コロナ社
日本農民建築(八)	石原憲治	三・五〇	園三六	聚樂社
電氣材料	幸林良作 津田吉文	三・七〇	園三六	工業圖書株式會社
ヂーゼル機關の 燃料噴射及燃燒	長尾不二夫	二・九〇	園一八	養賢堂
最新日本工學總覽	工業調查會	一・〇〇	園四四	工業圖書株式會社
保線作業精義	升山甚太郎	四・〇〇	園五四	鐵道保險會
同	同		園四四	同
最新機械工作法	竹内順三郎	一・八〇	園一七	東學社
同	同	一・八〇	園一八	同
工藝百科大圖鑑(六)	國府田範造	非	園一三	工藝百科大圖鑑刊行會
實用精密機械講座 航空發動機並計器	内藤邦策		園三四	誠文堂新光社
新航用測器	井關貢	六・〇〇	園一七	海文堂出版部
新撰電氣工學海外名著集 五 スチール・紡績電化	山本廣三郎		園一七	コロナ社
同 カイス・ヘンニ 工業方面に於ける電子管の應用	大河内友二 村上俊男		園三三	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
開水路の水利	淺野好	四・五〇	園三〇	常磐書房
數寄屋聚成(一一) 近代數寄屋名席聚	北尾春道	三・五〇	園	洪洋社
最新機關車綱要	東洋書籍出版協會	一・五〇	園三三	東洋書籍出版協會
現行法規 適用木造船構造術	桑原周雄	三・〇〇	園二六	海文堂出版部
最新衛生工學 下水道編	岡村雅夫	一・四〇	園四二	鐵道圖書局
最新衛生工學 上水道編	同	一・六〇	園一七	同
新鐵骨構造計算法	山口儀三郎	一・八〇	園一八	同
實地測量學解説	菊地嘉美	三・三〇	園四三	同
金屬電氣材料と 其の製造法	向山幹夫	二・五〇	園一八	養賢堂
高等機械設計(五)	南條初五郎		園箱入	共立社
實用機械採炭法	エム・デー・ウイリアム 日野神兒譯	二・五〇	園二六	北海道石炭工業株式會社
橋臺と橋脚の設計施工 最近無線工學名著續譯 三二二方向探知	上野英治	二・八〇	園三九	工業圖書株式會社
最新發變電所工學(一) 火力發變電所設計 新撰電氣工學海外名著集 三 固體誘電體の破壊(一)	弘田龜之助 ホワイト・ヘッド 横山正次		園一四	コロナ社
改訂無線工學 增補無線工學	關山英男	一・八〇	園一九	電氣之友社
外國特許要覽 纖維加工(一七)	加藤鏡郎	・七〇	園五	日本學術振興會
制御方式及び配電盤 高等機械設計一四 往復機械の主要部分	飯田歌吉 中野清二	二・六〇	園六三	修教社書院
電燈照明學及設計法	松本容吉 他四名		園一七	共立社
圖解最新自動車精解	不破一氣	三・八〇	園四三	養賢堂
近世便所考	赤坂正喜	三・三〇	園一八	藤谷崇文館
織物仕上法	田中一	一・三〇	園三〇	建築知識社
日本重工業讀本	池田伊介	四・三〇	園六六	博文館
織物整カレンダート 理機械 マングル	小島精一	一・五〇	園三三	千倉書房
住居同附圖	瀧清	二・三〇	園一八	丸善株式會社
工事事務の取扱方	中村與資平	四・五〇	園二册	櫻文書院
	鳥居秀夫	二・五〇	園三七	工業雜誌社

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
航空の智識	北尾龜男	非	四二八	帝國飛行協會	工藝百科大圖鑑(七)	國府田範造	一〇〇	四	工藝百科大圖鑑刊行會
納屋と物置	和田傳	一〇六	四七〇	沙羅書店	外國特許要覽 織維加工(一八)	加藤鉞郎	五	四	日本學術會
アンテナ	加藤安太郎	二五	四三三	共立社	同 電氣A(一九)	河原孝	五	四	同
坑氣調整學	吉川岩喜	二八〇	四三三	修教社書院	同 電氣A(強電)(二〇)	同	六	四	同
航空發動機	國民工業學院	二五	四二四	國民工業學院	電氣機器 設計原論磁路の計算法	中島友正	一〇〇	四	電氣之友社
伊藤忠太 日本建築 建築文獻の研究上	伊東忠太	同	四三〇	龍吟社	新選電氣工學 海外名著集六 サイン	山田正三	一〇〇	四	コロナ社
同 東洋建築の研究下	同	同	四三〇	同	外國特許要覽 精密機械(十一號)	阿部謙一	三三	四	日本學術會
建築設計製圖法	森永達男	三五	四三三	金龍堂出版部	最新空氣制動機の 構造理論	早稻田順作	三三	四	交友社
特殊分歧器別冊圖集附 人絹工場の 設計と機械設備	軌道研究會	五八〇	四三九	工業雜誌社	機械工作實習指導	大日本 工業學會	二五	四	大日本 工業會
現場測量法上	宇野米吉	三〇〇	四一三	紡織雜誌社	初級水力發電所	深尾保	二〇	四	工業會
同 醉素利用工業概論	有元岩鶴	二五	四二七	シビル 出版部	機械材料	山之内弘	一〇〇	四	誠文堂新光社
機械工場實習講座 工場機械設備	田所哲太郎	一五〇	四二九	丸善株式會社	大阪の罐詰工業	横田清義	一〇〇	四	大阪市役所 産業部貿易課
	五十嵐修藏	一五〇	四二九	丸善株式會社	蒸氣及瓦斯タービン	大賀惠二	一三〇	四	大阪市役所 産業部貿易課
			四二九	丸善株式會社	一般剛節構の實用解法	鷹部屋福平	四〇〇	四	同

五月

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
港灣講演集(四)	港灣協會	二八〇	四三四	港灣協會	外國特許要覽 精密機械(一二)	青木保	二八〇	四	日本學術會
河海工學(六)	君島八郎	五五	四四三	丸善株式會社	圖解旋盤工作	相澤次郎	二五〇	四	修教社書院
標準機械工作法	田中重芳 他二名	四三〇	四五一	工業會社	框構式鐵筋 コンクリート道路橋	小林廣二	一八〇	四	鐵道圖書局
實用測量學 附錄測量計算表	中山實	五五	四四六	大觀堂書店	電子工學 高眞空工學	杉浦義勝	二〇〇	四	共立社
地中海線路	杉山清	五〇	四三三	修教社書院	圖解神社建築雛形	須賀太郎	二〇〇	四	共立社
工業酒造之確立	鹿又親	三八〇	四九六	日本釀友會	續機械設計	森永達男	二五	四	金龍堂
鐵道分歧器類詳説上	芹澤茂作	三三〇	四二五	常磐書房	金屬材料第一編總論	坪井道三	三六〇	四	丸善株式會社
機械設計圖表 輸送機篇(一)	原口進	四八〇	四三四	工業會社	新選電氣工學 海外名著集七 マルチ水銀整流器一	西村秀雄	五〇〇	四	工業會社
外國特許要覽 織維加工(二〇)	加藤鉞郎	七〇	四四四	日本學術會	モグラムに依る鐵筋 コンクリートの計算	合志一夫	一四〇	四	コロナ社
保護繼電器	和島藤助	二六〇	四三三	修教社書院	汽罐修繕及強度計算 實例	柴田直光	三五	四	シビル社
ソ聯邦の製鐵業に就て	直井武夫	同	四三三	修教社書院	化學工業概論	石谷清一	三〇〇	四	共立社
實用機械製圖	服部延春	二五	四三三	工業會社	電氣工學工業大系(一)	龜山直人	五〇〇	四	日本評論社
外國特許要覽 織維加工(一六)	加藤鉞郎	五	四三三	日本學術會	最新發變電所工學 調相機下	武井他三名	同	四	共立社
同 織維加工(一九)	同	同	四三三	日本學術會	各種拱橋の實地設計法	櫻井盛男	一七〇	四	鐵道圖書局

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
河川講演集	土木協會	非	三三	土木協會	交流回路學	安宅彦三郎	二・八	三三	叢文閣
漁船用ディーゼル機關	齋藤善一	三・五	四〇	杉山書店	警察署建築の研究	岡本三良助	一・五	一五	警務協會
最新建築施工法	堀紫朗	四・五	四三	丸善株式會社	高等機械設計(七)	福原達三 他二名	三・〇	八	共立社
數寄屋聚成二〇	北尾春道	三・五	三〇	洪洋社	時計の歴史	玉城肇	一・五	一五	扶桑閣
數寄屋建築構造聚	龜田晴二	一・五	一七	鐵道圖書局	回轉變流機	前田七之進	二・六	三三	修教社書院
トランプ一測量	島中士郎	一・五	一六	建築土木資料集覽刊行會	建築金物	山本貞吉	三・五	三三	城南書院
建築資料集覽	土木 昭和十二年版	一・五	一六	機械學會	七月				
改訂國產機械圖集	坂元左馬太	四・〇	四三	鐵道圖書局	新興工業の吟味	中村幸之助	一・五	一五	叢文閣
圖解 鐵筋コンクリー	柴田直光	四・〇	四三	鐵道圖書局	外國特許要覽	岡本哲史	一・〇	一〇	日本學術會
計算 ト設計及施工	南保賀	一・五	一四	シビル社	航空機	田中邦次郎	三・五	一三	山海堂出版部
整數の計算表と其應用	有元岩鶴	二・五	三〇	同	外國特許要覽	加藤鏡郎	一・〇	一〇	日本學術會
現場活用測量法上卷	東京府土木部 橋梁課	二・五	三〇	同	織維加工	渡部寅次郎	一・〇	一〇	岩波書店
東京府橋梁設計圖表	岸田林太郎	三・〇	三三	工業圖書社	岩波全書八三	平野井雷治	四・〇	四八	修教社書院
最新建築法規	春日井晋吾	三・〇	三三	工業圖書社	ディーゼル機關	有澤廣巳	非	四七	經濟研究會
最近の軍需工業に就て	有澤廣巳	非	四七	經濟研究會	土木工事施工用機械				

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
醋酸化法人造絹絲製造法	李升政 基勝	一・〇	一〇	紡織雜誌社	有線通信工學大系二	藤原登	一・八	一八	コロナ社
最新高速ディーゼル機關	門馬孝吉	二・八	三三	德文堂書店	有線電波傳送學上	關壯夫	一・四	一四	同
最近にソ聯邦輕工業	大塚博人	三・〇	三六	土木研究會	罐詰の二重卷縮機械	橋本常隆	三・五	三三	大日本水産會
をんづ 曲線表と設計資料	阿部 巽	一・九	二二	工業圖書社	齒調整裝置	藤野篤之	一・九	一九	共立社
指導旋盤工作法	齊藤鐵郎	三・五	三三	太陽閣	齒調整裝置	野口尙一	一・〇	一〇	同
工場災害防止の研究と實例	勝目英	五・〇	四六	日本釀造協會	熱機關試驗法	岸田日出刀	一・三	一三	相模書房
釀造機械學	井上均	一・四	一四	コロナ社	金屬及合金加工法	石川政吉	三・五	三三	共立社
新選電氣工學海外名著集九	小林廣二	二・四	二五	鐵道圖書局	日本建築史講話	堀口貞雄	一・五	一三	同
フント高周波現象一	堀謙作	二・三	二九	共立社	工業經營比較	關野貞	一・三	一三	岩波書店
計算例 木桁及鐵筋コンクリート道	李宮安太郎	四・〇	四九	工業圖書社	滿洲の資源と化學工業	黑澤清	一・八	一八	千倉書房
詳解 路橋設計施工	四宮安太郎	四・〇	四九	工業圖書社	鐵道分岐器類詳説(中)	工業化學會	四・〇	四三	丸善株式會社
木型製作法	堀謙作	二・三	二九	共立社	有線通信工學大系一	滿洲支部	四・〇	四三	常磐書房
建築施工	四宮安太郎	四・〇	四九	工業圖書社	搬送電信及電信機械	石川武二	一・六	一六	コロナ社
八月	日本標準規格	一・六	一六	工業調查協會	日本の發電所(中部日本編)	日本協會	八・〇	八〇	工業調查協會
溫度測定法	大石二郎	二・八	二八	工業圖書社	材料強弱學	大久保正夫	二・〇	二〇	工業圖書社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
大衆化學藥劑製造法	赤木勘三郎	三・〇〇	四四五	金龍堂出版部
工業簿記の研究	山邊六郎	二・八〇	三四三	三省堂
航 究 資 料	森川康郎		四三三	星 空 會
香料の配合	西澤勇志智	四・五〇	四三三	内田老鶴圃
飢饉下の鐵鋼政策	經 綸 會	三・〇〇	三〇〇	經綸會出版部
蒸氣及水力タービン潤滑法	工場能率増進研究會	二・〇〇	一六〇	明光堂書店
電氣工學原理	細谷資忠	三・三〇	三三八	工業圖書株式會社
最新發變電所工學一三同期發電機下	海野謙四郎		二五〇	工業圖書株式會社
實踐紡績學	廣川治雄	三・三〇	三三〇	工業圖書株式會社
羊毛工業論	深澤甲子男	四・〇〇	三三九	武藤忠作
水工學(下)	森慶三郎	八・〇〇	七三三	森慶三郎
和英對譯電氣用語解説集	小野寺長	四・五〇	四七五	太陽堂書店
外國特許要覽	吉澤英雄	一・一五	一〇七	日本興學會
外國特許要覽	和 田 重 暢	三・八〇	三三九	尚 賢 堂
最新電氣機械器具構造及絶縁	向井寛三郎	四・〇〇	三四五	工業圖書株式會社
電氣化學工業大系(三)	平社敬之助		二册	共 立 社
船用機關工學	古丸藤太		二册	共 立 社
日本鑄造讀本(一)	小林俊次郎	三・五〇	三三九	誠文堂新光社
アルス工學全書一工場用特殊タービン	西村秀雄	二・〇〇	二二五	日本鑄造工業新聞社
同航空發動機理論(一)	大賀惠二	一・〇〇	三三三	アルス
地質工學	森山義一	一・〇〇	一八九	同
外國特許要覽精密機械(一三)	渡邊 貫	四・五〇	三六八	古今書院
靛 製 學	青木保	二・五〇	一五五	日本學術會
新興化學工業大系加硫促進劑	澤山智	六・八〇	五八八	共 立 社
同人造絹絲とステール	河野武		一四〇	同
鐵道分岐器類詳説下	谷崎隆嘉		一四〇	同
最新飛行機工作法	芹澤茂作	三・三〇	二八〇	常磐書房
胸林榮太郎	二・八〇	三〇二	東 學 社	

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
外國特許要覽精密機械(一六)	擁壁橋臺橋脚及各種基礎工の設計施工		一〇〇	日本興學會
最新燃料の知識	阿部 謙	一・〇〇	一八二	アルス
航空隨想	飯沼正明	一・五〇	一〇七	同
特殊鋼材ノ製造ニ關スル研究(二)	依 國 一	三・〇〇	二〇七	日本興學會
工場事務管理論	金子利八郎	一・八〇	三三三	千倉書房
人造液體燃料工業	伊木貞雄	二・七〇	三三三	工業圖書株式會社
化學工學最近の進歩(上)	倉橋藤治郎	一・八〇	三三六	同
染色體の構造	桑田義備	二・五〇	一八九	養 賢 堂
真空管工學(上)	濱田成徳		一四〇	コロナ社
琉球建築	田邊 泰	三・五〇	一〇九	座右寶刊行會
鐵筋コンクリート平面と曲面の構造	坂 靜 雄	二・三〇	一九一	工業圖書株式會社
日本紡績業と原棉問題研究	名和統一	三・八〇	五五五	大同書院
化學醬油製造法	深井冬史	四・五〇	四〇四	東京調味會
基本及續工業分析法	河村文一	二・六〇	七三九	昭 晃 堂
炭坑に於ける地脈問題	福田政記	一・〇〇	六	筑 豐 石 炭 會
寺院建築構造法	横山好治	二・五〇	一〇	信友堂書店
鐵道線路と建造物	川 越 温	二・二〇	一四四	鐵道圖書局
有線通信工學大系四搬送電話上	小林宏治		一五〇	同
纖維工業	中原虎男	五・八〇	五二	修教社書院
岩波全書八四無線通信工學一	楠瀬雄次郎	一・八〇	一六九	岩 波 書 店
綜合工業概論	松岡久雄	一・八〇	三三三	同
日本自動車發達史明治篇	尾崎正久	三・五〇	三三三	オ ー ト モ ー ー 社
輕金屬及輕合金最近の進歩	倉橋藤治郎	二・三〇	三三三	工業圖書株式會社
實用船舶用發動機講義	大谷春次郎	五・五〇	六三三	小野イネ
誰にも最新保全装置	小川利一	一・六〇	三三三	鐵道圖書局
同	同	一・七〇	三三三	同

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
世界纖維工業	大日本紡績聯合會	三〇〇	圖四三	千倉書房	最新發電水力	岡村雅夫	一・三〇	圖一三	橫濱市産業課
船舶修理	清水秀夫	一・八〇	圖一五	工業圖書株式會社	有線電話	二道田貞治	〇・九〇	圖二九	オーム社
工業用材料一	淺川勇吉 外三名譯	三・五〇	圖三〇	コロナ社	鋼橋設計法	上 牧野 喬七九	〇・四八	圖四八	修教社書院
自動車工業大百科五	竹内順三郎	三・五〇	圖四七	東學社	十一月				
外國特許要覽	加藤鉞郎	六・〇〇	圖四三	日本學術振興會	最新土木構造物強度計算解説上	岡村雅夫	四・三〇	圖四五	鐵道圖書局
最新化學工業大系六	小川菊松		圖六五	誠文堂新光社	同	同	三・七〇	圖三五	同
機械設計圖表	原口進	五・六〇	圖三九	工業圖書株式會社	アルス工業全書七	吉原英夫	一・〇〇	圖二九	アルス
輸送機篇二	山本嶽記	二・七〇	圖一九	信友堂書店	同	同	三・七〇	圖三五	同
近代技術史	稻田隆	三・八〇	圖四七	三笠書房	飛行機構造	鷹部屋福平	一・〇〇	圖三四	同
鐵道工學上	磯田清藏	三・八〇	圖四九	誠文堂新光社	鐵鋼讀本一	山下仙之助	二・五〇	圖三〇	同
抄紙機械解説	岡島奈良藏	五・〇〇	圖三四	岡島鑄物研究所	鋼の狀態圖	野口尙一	一・七五	圖四〇	山海堂出版部
鑄鐵の熔解配合	和田保	三・〇〇	圖二八	西ヶ原刊行會	原綿性能論	大島亮治	三・五〇	圖一七	日本紡績所
工業調查書	振興會	〇・〇〇	圖九六	岩波書店	鐵道人に聽く	笠松慎太郎	一・六〇	圖四六	春秋社

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
金屬材料(四)金屬各論	日本學術振興會	〇・〇〇	圖九六	岩波書店	水島齊	非	四	圖四〇	研國院思想
電氣化學工業最近の進步	倉橋藤治郎	二・五〇	圖二八	工業圖書株式會社	內外資	一・六〇	圖三一	高山書院	
實用電話學前編	道田貞治	二・三〇	圖三四	同	燃料協會	二・五〇	圖四〇	丸善株式會社	
外線工事	渡邊久夫	二・四〇	圖三六	オーム社	高橋本枝	五・八〇	圖六二	工業圖書株式會社	
最新綿絲紡績	中島猛治	一・九〇	圖二七	工業圖書株式會社	豐崎稔	七・〇〇	圖一七	大同書院	
ソヴィエトの重工業	小島精一	一・七〇	圖三元	千倉書房	岩崎重三	四・〇〇	圖三七	内田老鶴圃	
無線工學公式並圖表集	千葉茂太郎 他二名	四・五〇	圖五四	共立社	別役萬愛	三・八〇	圖五九	文政社	
飛行機の理論と設計	甲斐茂吉	九・〇〇	圖七三	内田老鶴圃	仁科存		圖九〇	コロナ社	
機械工業規格	商工省	二・三〇	圖五五	工業調査協會	森田重彦	二・八〇	圖五四	春秋社	
冷凍及び冷凍機械	長野梯介	六・四〇	圖六三	修教社書院	飛永甚治	一・七〇	圖一三	工業圖書株式會社	
高電壓發生裝置	鳥山四男 篠原卯吉	二・五〇	圖一六	同	石野俊夫	三・五〇	圖二八	コロナ社	
新興化學工業大系(二)	下山吉郎 間宮保三		圖二分	共立社	竹内順三郎	三・五〇	圖三五	東學社	
化學工業讀本(三)	柳富之祐	一・〇〇	圖二九	大阪工研協會	佐藤芝夫	二・五〇	圖三八	共同館	
工場設備	大槻喬	二・八〇	圖三三	千倉書房	耐震梁及柱の新理論				

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
鐵・銅・鋼材	兒玉晋匡	四・八〇	四〇四	モダニヤ社
工作考案と製圖の仕方	中川英一郎	三・五〇	四〇七	修教社書院
工藝百科大圖鑑(十一)	國府田範造	一・〇〇	四〇七	修教社書院
電壓調整器	谷合清一	二・六〇	三〇〇	修教社書院
和英機械用語解説集	菊地常武	三・五〇	四五五	太陽堂書店
工業材料便覧(金屬)	材料研究會	八・五〇	六〇八	常磐書房
外國特許要覽	河原孝	三・五〇	三〇〇	日本學術振興會
電氣Δ(強電)(二・四)	佐貫亦男	二・八〇	三〇〇	東學社
建築工學 ポケットブック(一)	建築學會	一〇・〇〇	二〇三	丸善株式會社
同	同	同	同	同
送風機及壓縮機	内丸最一郎	五・〇〇	三〇八	同
印刷産業綜覽	鈴木丑藏	五・〇〇	四〇〇	印刷往來社
アメリカ航航空界	ロペルギナル ギナル 神谷六郎	非	五二	送日本航空株式會社

大好评の著名紹介

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
德川家藏版大日本史	史記	五・〇〇	一〇〇〇	廣文堂
千葉風明著 明治天皇御製講話	千葉風明	三・八〇	三〇〇	廣文堂
大日本雄辯會 昭和天皇試合	大日本雄辯會	四・〇〇	三〇〇	雄辯會
藤本尚則著 頭山滿翁寫真傳	藤本尚則	二・〇〇	三〇〇	雄辯會
武者小路實篤著 楠木正成	武者小路實篤	一・五〇	三〇〇	雄辯會
武者小路實篤著 一休・曾呂利・良寛	武者小路實篤	一・五〇	三〇〇	雄辯會
武者小路實篤著 大石良雄	武者小路實篤	一・五〇	三〇〇	雄辯會
武者小路實篤著 二宮尊徳	武者小路實篤	一・五〇	三〇〇	雄辯會
武者小路實篤著 釋迦	武者小路實篤	一・五〇	三〇〇	雄辯會
鶴見祐輔著 チューストイ	鶴見祐輔	一・五〇	三〇〇	雄辯會
鶴見祐輔著 バイロン	鶴見祐輔	一・五〇	三〇〇	雄辯會
鶴見祐輔著 ビスマルク	鶴見祐輔	一・五〇	三〇〇	雄辯會
鶴見祐輔著 ナポレオン	鶴見祐輔	一・五〇	三〇〇	雄辯會
鶴見祐輔著 膨脹の日本	鶴見祐輔	一・五〇	三〇〇	雄辯會
鶴見祐輔著 英雄の日本	鶴見祐輔	一・五〇	三〇〇	雄辯會
澤田謙著 世界十傑傳	澤田謙	一・五〇	三〇〇	雄辯會
澤田謙著 エヂソン傳	澤田謙	一・五〇	三〇〇	雄辯會
澤田謙著 ヒットラー傳	澤田謙	一・五〇	三〇〇	雄辯會
澤田謙著 ムツソリニ傳	澤田謙	一・五〇	三〇〇	雄辯會
大江專一著 ルーズベルト	大江專一	一・五〇	三〇〇	雄辯會

發行所 東京市東區大日本雄辯會講談社 振替九三〇

大好评の著名紹介

Table of book titles and authors on the right page, including titles like '木村 毅編 國際スパイ實話' and '高橋定敬著 怪奇探偵實話'.

發行所 東京 東小 市川 振三 替九 京三

大好评の著名紹介

Table of book titles and authors on the left page, including titles like '佐藤紅緑著 黒將軍快々譚' and '吉川英治著 神州天馬俠'.

發行所 東京 東小 市川 振三 替九 京三

地形社發行之地圖目錄

地名	分數	内容	概要	要	寸法	横	縦	定價	送料
日滿支・展開地圖	四六全判大 精密美術印刷	▲東亞の理想・三位一體の日滿支を中心とする邊境外蒙・新疆・西藏の難讀地名カナ付なり。▲蘇聯を配し、	▲新表現法に依る市民地圖▲内容は最新にして正確無比	▲全地域の人家	3.60尺 2.60	3.60尺 2.60	3.60尺 2.60	・五 ・三	・五 ・三
大東京・表現地圖	四萬分ノ一 精密五色刷	▲官廳公用・公益企業用・地理研究用・事業計畫用の白	▲正確無比なる實地踏査と用意周到なる編纂の一區一枚	▲新舊町名一覽表▲大東京擴張區域一般圖▲都市計畫	3.60尺 2.60	3.60尺 2.60	3.60尺 2.60	・三 ・三	・三 ・三
大東京・白地圖	四萬分ノ一 墨一色刷	▲正確無比なる實地踏査と用意周到なる編纂の一區一枚	▲新舊町名一覽表▲大東京擴張區域一般圖▲都市計畫	▲全地域の人家	3.60尺 2.60	3.60尺 2.60	3.60尺 2.60	・三 ・三	・三 ・三
大東京區分地圖	一區一枚 全三十五圖 精密四色刷	▲現代人・快適のポケット地圖▲携帯至便のコンサイ	▲新舊町名一覽表▲大東京擴張區域一般圖▲都市計畫	▲全地域の人家	2.60尺 1.80	2.60尺 1.80	2.60尺 1.80	各圖一枚 ・五 ・三	各圖一枚 ・五 ・三
コンサイス大東京地圖	略本圖三十四圖 附録八十四圖 四六倍判洋裝 寫眞記事百八頁	▲現代人・快適のポケット地圖▲携帯至便のコンサイ	▲新舊町名一覽表▲大東京擴張區域一般圖▲都市計畫	▲全地域の人家	.60尺 .30	.60尺 .30	.60尺 .30	・八 ・六	・八 ・六
大東京觀光アルバム	四六倍判洋裝 寫眞記事百八頁	▲現代人・快適のポケット地圖▲携帯至便のコンサイ	▲新舊町名一覽表▲大東京擴張區域一般圖▲都市計畫	▲全地域の人家	.86尺 .32	.86尺 .32	.86尺 .32	一・〇 一・〇	一・〇 一・〇

東京日本橋町電話五七六一〇
東京日本橋町電話五七六一〇
東京日本橋町電話五七六一〇

少年國史物語

坪内逍遙博士指導・前田晁著

全六卷

小學校で、學問に對する眼を見開いた少年少女諸君にとつて、卒業後、折角得た知識の骨組に肉を附けるに足る良書のなかつた事は一大不幸である。そして、現代教育の最大缺陷を、青少年間に於る正しい國史知識の缺乏に歸する聲が喧しい際、少年期に最も必要なる學習と興味を二つを盛つて、祖國三千年の輝かしい成迹をたどりつゝ、説く本「國史物語」全六卷は、しらすくゝの内に諸君の知識と情操を高め、良き日本人をつくり上げずにはをかない。本書こそ少年子女のみならず、普く一般讀書人に捧げらるべき名著である。

1	神代・大和・奈良	平安時代後期	鎌倉時代後期	室町・安土	江戸時代	東京時代
2	平安時代後期	鎌倉時代後期	室町・安土	江戸時代	東京時代	東京時代
3	鎌倉時代後期	室町・安土	江戸時代	東京時代	東京時代	東京時代
4	室町・安土	江戸時代	東京時代	東京時代	東京時代	東京時代
5	江戸時代	東京時代	東京時代	東京時代	東京時代	東京時代
6	東京時代	東京時代	東京時代	東京時代	東京時代	東京時代

新菊判・各四百頁餘
絢爛裝幀挿畫豐富
定價各一圓二十錢
郵稅各十四錢

東京日本橋町電話五七六一〇
東京日本橋町電話五七六一〇

英數國漢

健文社

來れ受験生諸君！
受験必勝の偉力と自信を與ふ！！

謹白

健文社長 鮎貝秀三郎

適者生存、この鐵則が受験生諸君の前には最も深刻に働く。ために諸君が刻苦精進の日夜を送りつゝある事實は、まことに感激なくしては考へられぬものである。然るに世に所謂通信添削會なるものを見るに及んで、眞に學生諸君の味方たるに足るものゝ必要を痛感し、二十餘年來學生參考書出版者肆として諸君と共に歩むを得た知遇の恩に報いるの秋に、健文社通信添削會を開き、諸君の實力試験の機關をたらしめんとする次第であります。奮つて御参加を希ふと共に諸君の御成功を祈つてやみません。
昭和十二年秋

本會の主旨

▼ 出題及び指導に權威ある諸先生を仰ぎ、諸先生も亦本會を通して受験生諸君に助力するを快とせられ居るは、本會の光榮にして強味である。
▼ 本會の採點は上級學校の方針に準據して行ふが故に、本會の成績によりて入試實戦にての合格率は確實に豫想せられ、従つて志望校の決定その他入試に關して本會は諸君のよき相談相手たらん。
▼ 本會の會費は低廉である。しかも奉仕願る努む。受験生諸君の利益を計るは本會の使命とするところである。
▼ 本會は永年健文社が築きたる鞏固なる基礎の上に立ちたるものなれば、事務の正確迅速はもとより、諸般の準備において完全である。
▼ 受験に關する萬般の質疑に應答調査報告をなすは勿論、學科の質問に對しては指導諸先生に乞ひ直接の御解答をわづらはさんとす。
▼ 刻苦精進を常とする諸君の受験生生活にいさゝかなりとも慰安光明を多からしめてオメガである。

會員募集

添削會

突破好機 即刻入會せよ！

内容紹介贈呈

新刊圖書目錄進呈

太田行藏著 國文法指針	價・七五 送三	磯野貞二郎著 十八史略精解	價・一〇〇 送六	澤田龍澤共著 論語詳解	價・一〇〇 送五	澤田龍澤共著 孟子詳解	價・一〇〇 送五	澤田龍澤共著 韓非子鈔詳解	價・一〇〇 送六	澤田龍澤共著 常山紀談詳解	價・一〇〇 送三	澤田龍澤共著 春秋左氏傳鈔詳解	價・一〇〇 送三	澤田龍澤共著 徒然草詳解	價・一〇〇 送三	澤田龍澤共著 神皇正統記詳解	價・一〇〇 送三	澤田龍澤共著 枕草紙詳解	價・一〇〇 送三
----------------	---------	------------------	----------	----------------	----------	----------------	----------	------------------	----------	------------------	----------	--------------------	----------	-----------------	----------	-------------------	----------	-----------------	----------

八二九

東美 京土 神代 田町 健文社通信添削會 振替 東京 四九八〇 電話 一六六一

八二八

健文社編 最新數學公式	價・五五 送三	渡部金次郎著 最新化學講義	價・五五 送三	宮田峯一著 分類重要單語	價・五五 送三	長谷川乙二著 最新英作文の鍵	價・一〇〇 送六	長澤英一郎著 最新英文法講義	價・一〇〇 送三	濱林生之助監修 エスニックス・フ・オア	價・一〇〇 送三	ヤング・ビーブル講義	價・一〇〇 送六	山本供平譯註 インテレクチュアル	價・一〇〇 送六	ライフ講義	價・一〇〇 送五	足立重譯註 ユース・オブライフ講義	價・一〇〇 送五
----------------	---------	------------------	---------	-----------------	---------	-------------------	----------	-------------------	----------	------------------------	----------	------------	----------	---------------------	----------	-------	----------	----------------------	----------

東美 京土 神代 田町 健文社通信添削會 振替 東京 四九八〇 電話 一六六一

書考參學中の社版出本日

宮本邦磨著	福理學士正人著	田草學士川春重著	新理學士池保著	中川逢吉著	八文學士木延身著	田文學士中興哉著	塔本源一著	廣文學士瀨淨慧著	如中顯三著	山辻正文著
學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗	學受習驗
徵明	徵明	徵明	徵明	徵明	徵明	徵明	徵明	徵明	徵明	徵明
新々々々	新々々々	新々々々	新々々々	新々々々	新々々々	新々々々	新々々々	新々々々	新々々々	新々々々
化學	物理	植物	動物	理科	西洋史	東洋史	日本史	地理概說	外國地理	日本地理

携帶に便利で
しかも見易い
受験参考書

刊新最

綴スーロク總型六四新

錢十二圓一金價定册各

錢二十册一各料送

最も新しい
最も優れた
受験参考書

一町保神區田神京東 社版出本日 通南堀長西區西阪大
八六五五二京東替振 二三一四三阪大替振

書考參學小の社版出本日

刊社版出本日 りな良優に故がるな				るれたもの生等優 書叢生學小					
各東京・廣島・奈良 各高師訓導分擔	奈良女高師訓導 池内房吉著	同	同	各東京・廣島・奈良 各高師訓導分擔	奈良女高師訓導 池内房吉著	小學教育研究會主事 栗山芳雄著	廣島高師訓導 關原吉雄著	奈良女高師訓導 鶴居滋一著	奈良女高師訓導 鶴居滋一著
受驗生の大全科	優良新算術	優良大全科	優良大全科	優良大全科	小學生の算術	小學生の讀方	小學生の理科	小學生の國史	小學生の地理
尋尋 六五	尋尋 六五	高尋 二五 マカ デラ	尋尋 四三	尋尋 二一	尋尋 六三 マヨ デリ	尋尋 六四 マヨ デリ	高尋 二四 マヨ デリ	高尋 二五 マヨ デリ	尋尋 六五 年
送料各 十四錢	送料各 七十二 錢	送料各 六十 錢	送料各 九十 錢	送料各 六十 錢	送料各 五十 錢	送料各 五十 錢	送料各 五十 錢	送料各 五十 錢	送料各 五十 錢

一町保神區田神京東 社版出本日 通南堀長西區西阪大
八六五五二京東替振 二三一四三阪大替振

全國中等學校選定參考書虎の巻

書名	定價	送	書名	定價	送
學習と受験急所を掴む 日本地理	1.00	9	教科書準據急所を掴む 立幾何正解	1.00	9
學習と受験急所を掴む 外國地理	1.00	9	教科書準據急所を掴む 三角正解	1.00	9
學習と受験急所を掴む 地理通論	1.00	9	一二年生の急所を掴む 國文法	1.00	9
學習と受験急所を掴む 日本歴史	1.00	9	一二年生の急所を掴む 新作文	1.00	9
學習と受験急所を掴む 上級日本史	1.00	9	一二年生の急所を掴む 漢文入門	1.00	9
學習と受験急所を掴む 東洋史	1.00	9	一二年生の急所を掴む 英語	1.00	9
學習と受験急所を掴む 西洋史	1.00	9	一二年生の急所を掴む 英作文	1.00	9
學習と受験急所を掴む 動物學	1.00	9	一二年生の急所を掴む 英文法	1.00	9
學習と受験急所を掴む 植物學	1.00	9	一二年生の急所を掴む 女學生の漢文	1.20	12
學習と受験急所を掴む 鑛物學	1.00	9	教科書準據急所を掴む 女學生上級漢文	1.20	12
一二年生の急所を掴む 一般理科	1.00	9	教科書準據急所を掴む 女學生の作文	1.00	9
學習と受験急所を掴む 生理衛生學	1.00	9	教科書準據急所を掴む 家事科	1.00	9
學習と受験急所を掴む 物理學	1.00	9	樂訓・東西遊記の解釋	1.00	9
學習と受験急所を掴む 化學	1.00	9	大鏡・常山紀談の解釋	1.00	9
教科書準據急所を掴む 算術正解	1.00	9	論語・孟子の解釋	1.00	9
教科書準據急所を掴む 代數正解	1.00	9	十八史略・日本外史・近古史錄の解釋	1.00	9
教科書準據急所を掴む 幾何正解	1.00	9	受験學習 西洋歴史詳解	1.50	10

發行所 大阪市南區東清水町 駿々堂書店
振替大阪一〇三五番

八三三

全國中等學校選定參考書虎の巻

書名	定價	送	書名	定價	送
新日本學術協會編纂 エキス式參考書			東京女高 富士徳治郎著		
エキス式受験學習 日本地理 上下	各.35	3	分り易く覚え易い 日本歴史精解	1.50	9
エキス式受験學習 外國地理 上下	各.35	3	分り易く覚え易い 東洋歴史精解	1.20	9
エキス式受験學習 日本歴史 上下	各.35	3	分り易く覚え易い 西洋歴史精解	1.70	12
エキス式受験學習 東洋歴史	.35	3	新日本學術協會々員著		
エキス式受験學習 西洋歴史 上下	各.35	3	學習受験の粹 日本地理精義	1.50	12
エキス式受験學習 動物學	.35	3	學習受験の粹 外國地理精義	1.50	12
エキス式受験學習 植物學	.35	3	學習受験の粹 日本歴史精義	1.50	12
エキス式受験學習 物理學	.35	3	學習受験の粹 東洋歴史精義	1.50	12
エキス式受験學習 化學	.35	3	學習受験の粹 西洋歴史精義	1.50	12
エキス式受験學習 一般理科	.35	3	學習受験の粹 動物學精義	1.50	12
第三高校教授藤田元春先生著 大阪高校			學習受験の粹 植物學精義	1.50	12
受験學習 日本地理の準備	1.40	9	學習受験の粹 鑛物學精義	1.50	12
受験學習 外國地理の準備	1.70	12	學習受験の粹 衛生學精義	1.50	12
受験學習 地理概説の準備	1.40	9	學習受験の粹 一般理科精義	1.00	9
受験學習 日本歴史の準備	1.70	12	學習受験の粹 物理學精義	1.50	12
受験學習 東洋歴史の準備	1.40	9	學習受験の粹 化學精義	1.50	12
受験學習 西洋歴史の準備	1.60	12	學習受験の粹 公民科精義	1.50	12

發行所 大阪市東區東清水町 駿々堂書店
振替大阪一〇三五番

八三二

モタン日本社出版書

菊池 寛著 **日本文學案内** 定價壹圓六拾錢 送料拾貳錢
 世界に誇る日本文學の全財産全價値を検討し日本の認識を大にせる最高指針書

菊池 寛著 **文章讀本** 定價一圓五十錢 送料十二錢
 誤れる美文體を排し簡潔明截なる昭和の文章規範を確立した名著

菊池 寛著 **戀愛と結婚の書** 定價一圓五十錢 送料十二錢
 昭和の聖書として本書の光輝ある眞價は、あまねく天下を風靡しつゝした

武藤貞一著 **日本革新の書** 定價一圓二十錢 送料十二錢
 憂國の熱誠より迷り來る日本革新の書は銃後國民必讀の大文字！

菊池 寛著 **新道** 定價一圓五十錢 送料十二錢
 戀愛と結婚の新道徳に、全く新生面を開拓した必讀の小説

菊池 寛著 **日本競馬讀本** 定價一圓五十錢 送料十二錢
 得難き競馬哲學であり菊池ファンにとっては明快無比の隨筆である

菊池寛主宰 **脚本研究會戲曲集** 定價一圓 送料十二錢
 堂々劇壇の沈滞を破る野心満々の處女作集を見よ！

本社出版
 書籍は、すべて書店へ委託配本を致して居りませぬので店頭には陳列してありませぬから最寄りの書店へ御注文次第迅速お届けします

東京市麴町區 内幸町大阪ビル **モタン日本社** 振替東京 七五一六二

最新刊

出雲風土記註解

鳥根縣教育會編纂

四六版 定價金壹圓八拾錢
 布装箱入 送料拾貳錢

風土記は今から千二百年前天平時代に各國から貢進したものであるが、今完全に残つて居るのは唯出雲風土記ばかりである。是は我が國の重要な古典であつて各種研究上の根本資料であり、殊に神國出雲の郷土研究には缺くべからざるものがある。
 然るに此の風土記についての從來の刊行本や註釋書には誤謬が多くて其の眞實を把握し難いのを遺憾とし、著者は多年此の研究に専念し先に「出雲風土記考證」を著はしたが、今又之を通俗的にしかも考證の要點を漏さず何人にも解し易き様に註釋をなし、且讀下し文としたものである。

最新刊

青年學校宿泊訓練の實際

四六版 定價金六拾錢
 送料拾貳錢

著者多年の經驗を基礎とし、青年學校に於ける宿泊訓練を如何にすべきかを説いたものである。未だ之が訓練を行はぬ學校にとつては絶好な指導者たることは勿論、現に之を實施しつゝある學校にとつても極めて有益なる助言者たり得ることを確信する。

横濱高等工業學校 教授 理學博士 安川數太郎 著

増訂版

百分順位表

定價一圓九錢 送料九錢
 本書は各種學校の入學試験や官廳諸會社等に於て多數の受験者につき各出身學校の席次に順位を比較する場合に一目にして其の優劣が判るやうに百分順位の原理により算出した數値を表示したものである。

東京市橋本區 會社 資合 六盟館 發行所
 東京市橋本區 會社 資合 六盟館 發行所
 電話 茅場町(66) 三八四番
 振替 東京 座口 二一五番

書威權的史歴の年六刊創

年鑑兒童

昭和三十三年版 ¥.68

野ばら社

八三六

昭和十三年版

兒童年鑑
學友年鑑
昭和年鑑

昭和十三年一月現在による最新の年鑑。高級彩色圖繪多數、本誌四百餘頁に最新知識を網羅、總クロス特製堅牢。附録東亞情勢地圖と世界現狀繪圖の二枚添付豪華函入。昭和十三年版に限り内容は三年鑑とも同一。定價何れも六十八錢。送料十二錢

今村大佐畫・辻軍樂大尉序

標準軍歌集

(定價三十八錢) (送料六錢)

昭和行進名曲集 最新版

(定價八十五錢) (送料九錢)

軍歌 集行軍用

(定價三十錢) (送料三錢)

圖畫辭典

(定價三十八錢) (送料六錢)

圖畫辭典 (すぐ役立つ) (定價二十錢) (送料三錢)

略畫と圖案 (定價二十錢) (送料三錢)

學友エホン (定價十五錢) (送料一錢)

五十音、單語、いろは1234の四冊

時局の知識と學習資料の雜誌

一番安くてためになる 充實した面白い内容

定價十五錢 (送料一錢)

學友第一線

購 四ヶ月 六十錢
料 六ヶ月 九十錢
一ケ年 一圓七十五錢
各送料共

八三七

東京市東區川野 野ばら社
東京市東區川野 野ばら社
東京市東區川野 野ばら社

發行所 東京市東區川野 野ばら社
東京市東區川野 野ばら社
東京市東區川野 野ばら社



發行所

東京市浅草区浅草橋二ノ八
電話浅草八三一〇番
振替東京一六一六番

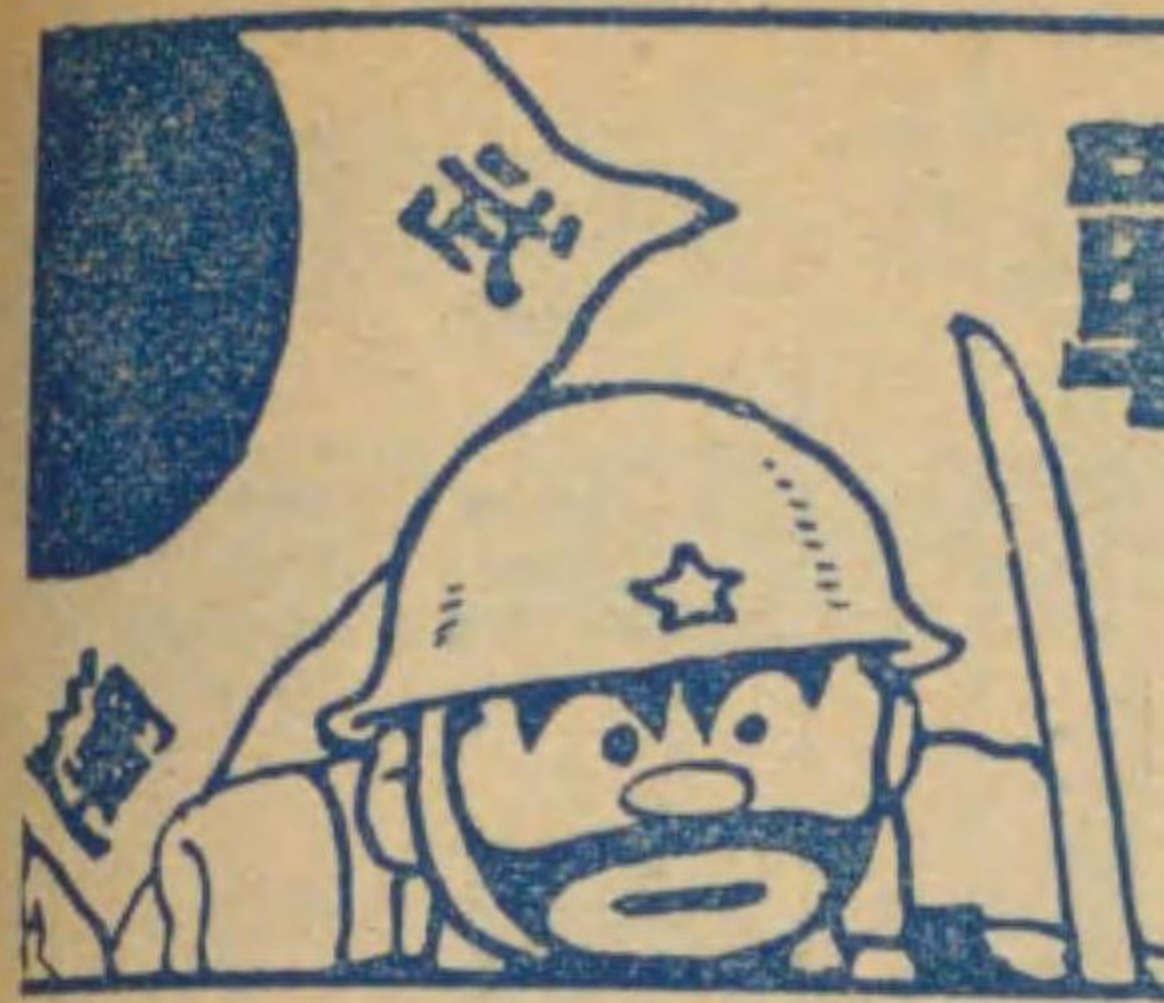
中村書店

八二九

四六判布表紙函入美装全部色刷

各冊定價金七十五錢 送料拾錢

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
無敵トンちゃん	コロコロ軍隊	タンタラ漫画隊	勇敢ボンがちゃん	しろちび漫画艦	漫画のバクダン	チビ聯隊長	ヒョッコリ珍助	ミツキーの活躍	トツカン水兵	チン太上等兵	兵隊ドンちゃん	魔法の昭ちゃん
42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30
まんが水戸黄門	まんが大閤記	大久保チヨコ左衛門	小狸ちゃん十二ヶ月	まんが忠臣藏	忍術テク助漫遊記	とんまひん助	ハヤブサ探偵長	チヨン太郎武勇傳	仙術王、五九	漫畫の星座	探偵タンちゃん	彈丸キンちゃん
62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	
日の丸軍事探偵	上海漫畫線千里とつば部隊	愛國漫畫線トツチン部隊	そろり珍右衛門	北支線快速兵ちゃん部隊	まんが堀部安兵衛	まんが近藤勇	まんが發明探偵團	まんが清水次郎長	まんが猿飛佐助	まんが猿飛佐助	士丹馬太衛門	まんが牛若丸



鬼童まんがの戦勝國

評判の

ナカムラ・マンガ・ライブラリー!

▼賣れる! 賣れる! 代表的極彩色マンガ▲
▼學校でも御家庭でも大評判▲

8	7	6	5	4	3	2	1
サカス豆ちゃん	猛獸國そこぬけ騒動	冒險ターちゃん	びつくり突進隊	忍術健ちゃん	しろちび水兵	チン太二等兵	愉快な探險隊
29	28	27	26	25	24	23	22
天晴れカッチャん	魔術の剛ちゃん	マンガ遊撃隊	大カバ凸凹聯隊	魔のうでベツちゃん	蛸の六ちゃん	不思議な英雄	海底王マーちゃん
50	49	48	47	46	45	44	43
まんが荒木又右衛門	まんが宮本無茶四	まんが大江山	まんが眞田十勇士	まんが川中島	一休和尚さん	まんが彌次喜多	



八三八

岡村書店出版圖書略抄

Table listing books such as '少年の空陸突撃戦' (War in the Air and Land of the Youth), '新式珠算教本' (New Arithmetic Textbook), and '和歌の歌集' (Waka Song Collection). Includes author names, titles, and prices.

八四一

東京市浅草区柳橋一丁目 岡村書店 電話浅草(84)二四〇二番 振替東京一〇九六〇五番

岡村書店出版圖書略抄

Table listing books such as '幾何學の獨力解決' (Independent Solution of Geometry), '新式英語單語一萬五阡' (New English Vocabulary of 15,000 Words), and '和歌俳句の解釋と鑑賞' (Explanation and Appreciation of Waka and Haikai). Includes author names, titles, and prices.

八四〇

東京市浅草区柳橋一丁目 岡村書店 電話浅草(84)二四〇二番 振替東京一〇九六〇五番

!!に書本は鍵の冠榮解註の快明切懇!!

修監生先也敏木鈴 授教學大理文島廣

著 信 博 井 松

書叢釋解文國等中

也錢拾四圓壹價定新 頁餘〇〇四各版六四

- (第一編) 徒然草
- (第二編) 方丈、東關、十六夜日
- (第三編) 記 玉かつま、鈴屋集抄
- (第四編) 平家物語、太平記
- (第五編) 保元、平治、源平盛衰
- (第六編) 記、義經記、曾我物語
- (第七編) 花月草紙、泊酒文藻
- (第八編) 樞園文集、閑田文草
- (第九編) うけらが花、琴後集
- (第十編) 藤篋册子、年々隨筆
- (第十一編) 大鏡、増鏡、神皇正統記
- (第十二編) 枕の草紙、竹取、伊勢、土佐、源氏物語、和歌選擇、俳文、俳句選擇、古事記、祝詞、宣命

— ずか傾に註新ずま泥に義古 —

— 書義解の眞よ見す味吟に横縦て以潔簡 —

著 生 先 信 博 井 松

解全語論

也錢拾八圓壹價定

リアニ店書名著國全

最新刊

東京市神田區 株式會社 立川文明堂 大坂市南區安堂寺橋 通リ三ノ四 電話 一〇一五(田神) 振替(東京) 一三〇七三

譯名著名の社元創るた々噴評好

岡倉天心著 淺野 晃譯 定價一圓五十錢 送料十四錢

東洋の理想

詩人哲學者であつた著者が、我等民族の過去を赫かせ未來を照らした、雄勁無比な大文章

川端康成著 定價一圓七十錢 送料十四錢

雪國

昭和十二年度 文藝懇話會賞 受賞作品

美女をみたければ「雪國」を見よ。現代文學の到達した最高水準を示す、文字通りの名作

北條民雄著 定價一圓三十錢 送料十四錢

いのちの初夜

逝ける天才の遺した血と涙によつて綴られた傑作集。癡者の記録としても永遠に價値あり

谷崎潤一郎著 定價一圓八十錢 送料十四錢

春琴抄

アラン著 水野成夫、淺野晃譯

アラン著 小林秀雄譯

政治と文化

文化と人間性の立場から嚴肅に政治を批判した世界的な名著 定價二圓 送料十四錢

アラン著 小林秀雄譯

精神と情熱とに關する八十一章

哲學界の巨人が日常平易な言葉を、用ひて書いた哲學概論。この書を譯者はアラン入門書として推す。 定價一圓八十錢 送料十四錢

東京市神田區 株式會社 立川文明堂 大坂市南區安堂寺橋 通リ三ノ四 電話 一〇一五(田神) 振替(東京) 一三〇七三

好評に於ける代表的参考書

★ 全國中等學校七百餘校御指定 ★

米本新次先生著 訂改 英語の第一歩 定價一圓五十錢 紙數五二〇頁 挿圖五〇幅	米本新次先生著 訂改 英文法の第一歩 定價一圓五十錢 紙數四〇〇頁 挿圖四〇幅	米本新次先生著 訂改 英作文の第一歩 定價一圓五十錢 紙數四〇〇頁 挿圖四〇幅	藤村與市先生著 學習 物理學の第一歩 定價一圓四十錢 紙數三〇〇頁 挿圖三〇幅	藤村與市先生著 學習 化學の第一歩 定價一圓四十錢 紙數三〇〇頁 挿圖三〇幅	藤村與市先生著 新制 化學問題解釋法 定價一圓三十五錢 紙數二〇〇頁 挿圖二〇幅	藤村與市先生著 學習 力の化學 定價一圓五十錢 紙數三〇〇頁 挿圖三〇幅	田所正躬先生著 學習 力の英語 定價一圓六十錢 紙數三〇〇頁 挿圖三〇幅	佐野一郎先生著 學習 力の英作文 定價一圓八十錢 紙數三〇〇頁 挿圖三〇幅	佐野一郎先生著 參考 英語便覽 定價一圓十錢 紙數一〇〇頁 挿圖一〇幅	小林幹雄先生著 補受 代數學學習の軌道 定價一圓二十錢 紙數一〇〇頁 挿圖一〇幅
---	--	--	--	---	---	---	---	--	--	---

發行所 東京市神田區 文修堂 電話 東京市神田區 振替 五八七二番 東京市神田區 電話 三九三(25)番

受驗生の之の丈は座右のき新刊

受驗 國漢文の重要單語熟語の讀方と解釋

★ やさしくくわしい國漢文重要單語熟語故事學習辭典 ★
 ★ 國語漢文學習受驗者の悩みは本書一冊で解消される ★
 檢定試驗・入學試驗・就職試驗等々、現在施行されてゐるどの試験でも、國語と漢文の課せられぬことは絶対にない。國語漢文に好成绩を得る事は試験必勝の鍵である。本書は、國語漢文の根柢をなす、「單語・熟語・難語・故事」の正しい讀方と懇切な解釋を施したものであつて、過去に施行された各種試験に表はれた總べての單語・熟語・難語・故事を蒐集し巧みに配列してある。解釋の解らぬ場合は勿論、讀方の不明な場合でも直ちに了解し得るやうに「讀方の索引」を附してあるが、之は類書に見られぬ一大特長と云ひ得る。速刻一本を座右されよ。

警視廳巡査・消防手・自動車最近試驗問題集

修身科講座

大明堂編輯部編
 四六判函入二百餘頁
 定價金一圓・送料金十錢
 草場弘先生著
 菊判洋裝美本三百餘頁
 定價金一圓・送料金十錢

東京市神田區小町三丁目 大田明堂書店
 振替口座東京四七七八番

日本評論社讀本シリーズ

法學博士 上杉 慎吉著	法學博士 穂積 重遠著	經濟學博士 太田 正孝著	尾崎 行雄著	東大助教授 小川太一郎著	步兵中佐 大久保弘一著	海軍中佐 阿部 信夫著	工學博士 青木 保著	土田 杏村著	法學博士 山崎憲次郎著	關口 泰著	法學博士 松井 茂著	經濟學博士 渡邊高次郎著	經濟學博士 土方 成美著	
憲法讀本	新民法讀本	訂改再經濟讀本	訂改政治讀本	新航空讀本	新陸軍讀本	新海軍讀本	兵器讀本	思想讀本	貨幣讀本	選舉讀本	警察讀本	金融讀本	國民經濟讀本	
送價菊上二七四	送價菊上二二五	送價菊上二二八	送價菊上二〇四	送價菊上五〇〇	送價菊上四〇〇	送價菊上四〇〇	送價菊上四九〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上三三四	送價菊上二〇六	送價菊上二八〇	送價菊上二五〇	
友松 圓壽著	小山 松吉著	醫學博士 入澤 達吉著	醫學博士 木下 正中著	山田 耕祥著	東大助教授 橋爪 明男著	安田銀行 高山藤次郎著	高濱 虛子著	文學博士 佐々木信綱著	鈴木梅太郎著	井上 兼雄著	安岡 正篤著	高學博士 高瀬 莊太郎著	經濟學博士 土方 成美著	醫學博士 高野 六郎著
宗教讀本	日本精神讀本	內科讀本	產科婦人科讀本	音樂讀本	銀行讀本	銀行讀本	俳句讀本	萬葉讀本	榮養讀本	漢詩讀本	會計讀本	財政讀本	衛生讀本	日本評論社
送價菊上三二〇	送價菊上二八〇	送價菊上四〇〇	送價菊上三一五	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇	送價菊上二〇〇

馬賊の旗

今や世界の興味と關心は、滿洲國境に集められてゐる。時たままた此の新著なる。即ち本書は日本人馬賊清風洋物語や小説滿洲國境などを集めた滿洲國建國の裏面史といふべき書である。支那は第二の故郷たる著者自身巻頭に云はれてゐるが、その熱情と個性によつて語られた本書こそ、正に今日の話題を提供する興味ある讀物である。

平山 蘆 江著 定價二圓

春帶記

女史は叙事に於て老手である。文章は如何にも洗練せられて全く、垢抜がしてゐる。咀嚼して響きざる滋味は、この平平淡淡なる文章の中に溢れてゐる。——徳富蘇峰
本書は、東西の朝日新聞に連載されて、讀者人から渴仰の標となつた作品である。

長谷川 時雨著 定價二・三〇

頭山滿翁一代記

獅子の口へ拳を突つ込むやうなことをする人、出来ない相談にも乗つてくれる人、これが立雲頭山滿翁の本領である。翁こそは無位無官、日本人の總帥として、歴代の政府を監視し、またこれを運用して来た人である。大西郷以來第一の偉人と云つても過言ではあるまい。本書出版にあたり望月圭介、徳富蘇峰氏等の推薦激賞も、蓋し故なきにあらず。

薄田 斬雲著 定價二・三〇

歐米の動きと支那事變

支那こそは誰も知る東洋平和の禍である。いま支那事變に直面して、この病原體の眞因を探究するは、吾ら日下の最大任務である。祖國を憂慮する同胞よ先づ本書を讀め！

鶴見 三三著 定價一圓

岡倉書店

東京・神田區・神保町二丁目
電話 二五二二
東京・神田區・神保町二丁目
電話 二五二二

月刊 毎月定価十三銭
▲▲全圖書店にあり

音 學 校 樂

毎月主要記事

●「教材解説」小學校尋一より高二及幼稚園・青年學校
●「新作唱歌遊戯」レコード鑑賞指導の實際「唱歌劇」
●「子供に音楽家物語」「オールド音楽東西樂信」「作曲作歌懸賞募集」
●「新作の巻頭樂曲」其他 實際的研究記事 滿載
●實物見本進呈 ▲半ヶ月分一圓八十錢・一ヶ年分三圓四十五錢

八五一

電話三〇四番
電話三〇四番
電話三〇四番
電話三〇四番

共益商社書店

好評 忽ち 1版重

東京高等師範學校
井上武士
澤隆朝

小學校唱歌教授資料集成

本書は小學校唱歌指導の百科辭典として毎日の唱歌時間の必要なるものをすべて包含するばかりでなく、教師の爲の音楽修養を目的とせる諸講座を添へてゐるから、如何なる辟地にあつても本書あれば唱歌科は容易にその精華を發揮し得られる。著者は我初等音楽教育界の權威にして本書の編纂には文字通り畢世の努力を盡された。弊社また本書の出版には犠牲的廉價を以つて提供す。幸ひに御清鑑を乞ふ。

各學年 四六倍判
第一學年用 第一冊
第二學年用 第二冊
第三學年用 第三冊
第四學年用 第四冊
第五學年用 第五冊
第六學年用 第六冊

抄覽一録日書圖版出堂文崇

池部 鈞	太田 三郎	太田 三郎	太田 三郎	南 薫造	中本村 貞三	國府田 鏡造	橋本 春陵	西澤 笛畝	伊東 深水	小川 芋錢	松林 桂月	瀨良 倭喜太	菊地 慎三	野村 佐一郎
自來漫畫の描き方	水彩畫の描き方	油繪の描き方	水彩畫の描き方	水彩畫の描き方	兼ねた挿繪の描き方	應用圖案の描き方	日本畫の新しい描き方	美人畫の描き方	俳畫の描き方	南畫の描き方	改正商法による株主の心得	都市計畫と道路行政	都市行政と地方自治	世界各國史
一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
瀨良倭喜太	本山桂川	本山桂川	加藤 滋	サンマース	内藤三雄	金澤一郎	石山福治	篠窪貢亮	川原次吉郎	丸山順太郎	三浦吉兵衛	野村佐一郎	八幡義生	太田三郎
知つておかし印刷と紙の話	應用速記術の秘訣	應用速記術の秘訣	最新速記術の學び方	新式日英會話	露西亞語獨修	西班牙語研究	支那語研究	英語研究	佛蘭西語研究	獨逸語研究	印度語研究	印度語研究	印度語研究	印度語研究
一・八〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

八五〇

振替東京 〇三九七
崇文堂出版部
東京市神田區 一ノ四

好評!新分野を劃す

藥學研精會編輯學粹叢書

各册四六判型假綴紙表紙裝幀滿洒

最新刊 無機化學粹

總紙數 170頁
正價金 1圓50錢
郵税内地9錢領土9錢

本書は藥學專門學校生徒の學習に資するため答案式に無機化學を編述したものである。この見地から説明は可及的妥約して簡明を期しその凡てが直に答案として活用し得られるやう努力した。又學說に徒らに奇を衒はざるも較近的定説を收め陳舊に墮せざらんことを期した。尙個々の化合物の記載の如きは、重要なるもの以外は要領を記すに止めたるも同型式の化合物の一般性状或はその理論的考察は力めて之を詳述し以て應用能力の涵養に留意した。

最新刊 有機藥品製造學粹

總紙數 184頁
正價金 1圓50錢
郵税内地9錢領土9錢

本書は有機藥品製造學を學ばんとする學生諸君のノート代用並に要略參考書に資する目的で編纂したものである。即ちかかる科目の一般書籍は多數あるも内容廣汎にわたりその眞髓をとらへるには勞多く効少なき憾なしとせざるを以て、この科目の主要點を把握せしめ學習にテストに遺憾なからしめんとする趣意に鑑み編纂は最も主要なる醫藥品、工業藥品及合成化學試藥を選択し、その原理、行程、精製、性状及應用等を簡潔平易に記載し、讀者の理解を助長し勉學の補足に充分と思はる、様に勉めた。されば教室に於ける講義と共に併用すれば十二分の効果を擧げられることと思ふ。

近刊 無機藥品製造學粹 近刊 有機化學粹
近刊 生藥學粹 近刊 藥用植物學粹

大歡迎を博せる既刊書

落合 英二 共著	有機微量定量分析法	菊判本綴 220頁 價3圓50錢郵21錢
津田 恭三 共著	實驗有機化學提要	菊判本綴 390頁 價4圓30錢郵22錢
未次 又三 共著	實際製劑	菊判本綴 166頁 價2圓郵12錢
横田 敬三 著	藥局經營及商品學	菊判本綴 135頁 價1圓70錢郵12錢
清水 藤太郎 著	模範藥種商全書	四六判本綴 550頁 價3圓50錢郵18錢
辰濃 尙次郎 著	藥事法令要義附實務要綱	菊判本綴 550頁 價4圓50錢郵22錢
柿沼 三郎 共編	藥用植物圖譜並有毒植物圖譜	大形表3表說明120 價1圓35錢郵21錢
竹内 甲子二 共編	植物成分研究法	菊判本綴 678頁 價9圓郵22錢
橋本 亮 著	食用植物學	菊判本綴 783頁 價9圓郵22錢
宮道 悅男 著	要注射藥調製法	菊判本綴 455頁 價5圓郵22錢
服部 健三 共著	動物と人生	菊判本綴 320頁 價3圓50錢郵15錢
近藤 保紀 一著		
眞保 紀 一著		
宮島 幹之助 著		

八五三

科學書院
發售元
東京市本郷區龍岡町
電話小石川 4771番

南山堂書店

東京市本郷區龍岡町
電話小石川 423. 4757番

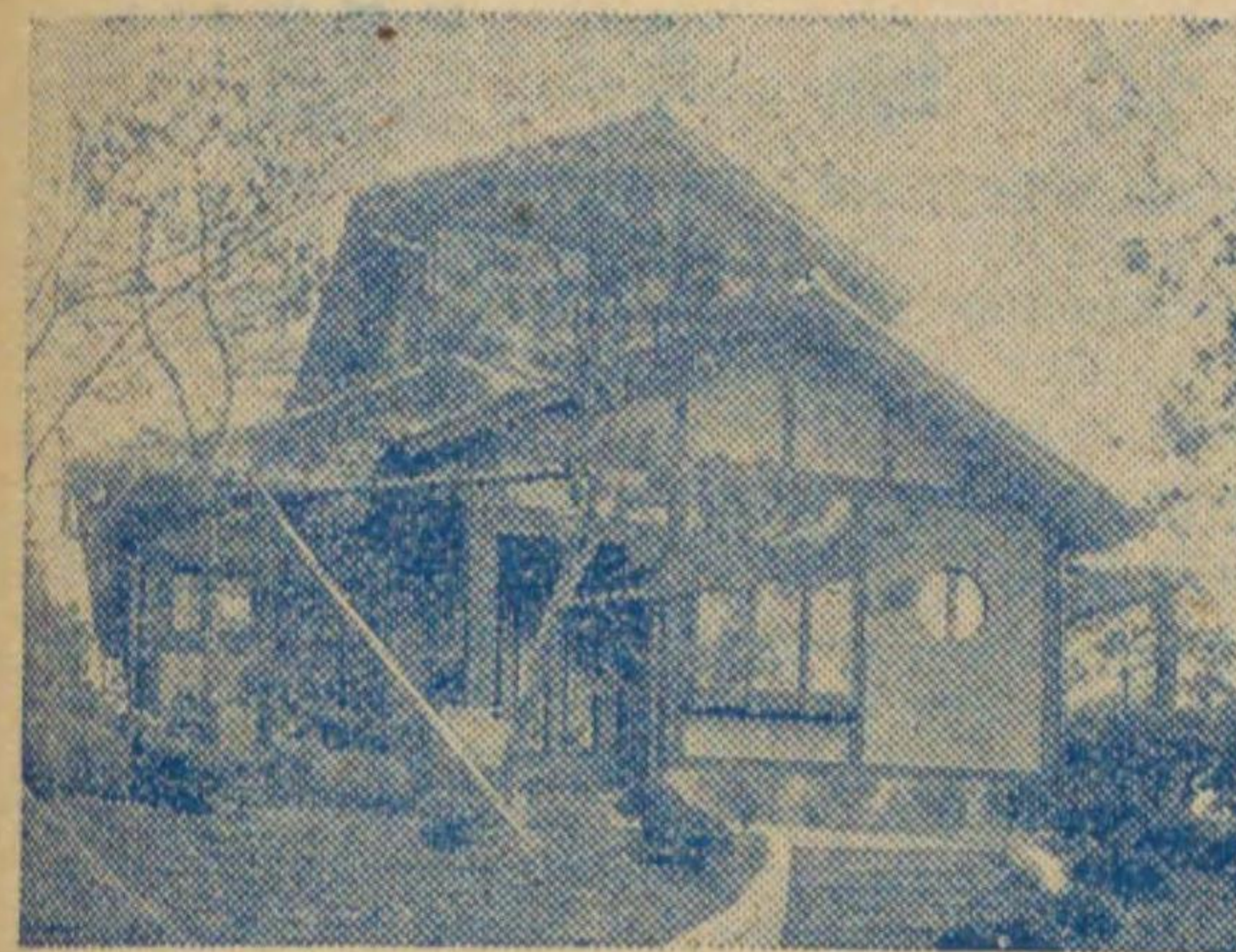
萬物流轉
建武中興の本義
國史學の骨髓
武士道の復活
エドモンド・パーク研究
秩序の爲に
西歐に於ける日本文學
日本文學評論史
近世文學の研究
國文學と日本精神

藤村 博士功績記念會編	藤村 博士功績記念會編	東京帝大教授 久松 潜一 著	東京帝大教授 久松 潜一 著	森下 辰夫 譯著	上田 又次 著	東京帝大教授 平泉 澄著	東京帝大教授 平泉 澄著	東京帝大教授 平泉 澄著	東京帝大教授 平泉 澄著	東京帝大教授 平泉 澄著
送料價 四・二〇	送料價 五・二〇	送料價 一・三〇	送料價 一・二〇	送料價 一・一五	送料價 一・一七	送料價 一・二八	送料價 一・一八	送料價 一・一〇	送料價 一・一〇	送料價 一・一〇

八五二

至文堂 發行所
東京市本郷區龍岡町
電話小石川 423. 4757番

主婦之友社の評家庭書



安産のしるべ

(版七十)
醫學博士 竹野芳次郎 著
小兒科の權威竹野博士が子供を丈夫にする育て方一切を發表。病氣の豫防と手當も併せて詳述の評判育児書。(特價二圓)

新育兒法

(版四十)
前宮内省御用掛 岩崎直子 著
長くも高貴の御方の御出産に幾度か奉仕しまるらせた著者がその秀れた手腕をツクリ公開の評判書。(特價二圓卅錢)

便利な家の新築集(版六)
住宅の建て方(版二十)
家庭料理千種(版二十)
家庭西洋料理の作方(版二十)
お菓子の作方五百種(版二十)
新しい生花の上達法(版七)
盛花と投入の生け方(版九)
池坊生花の生け方(版八)

東京駿河台 主婦之友社

(二三) 交通・通信

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
實用船舶便覽 昭和十二年版	能勢行藏	三〇〇	四七七	モータリ雑誌社
小運送之發達	野口亮	二〇〇	四三三	洛東書房
航空五年	片岡直道	一五〇	四九一	逓信學館
鐵道信號	澤文三郎	一五〇	四一六	春秋社
大阪都市計畫第一期 第二期下水道事業誌	水大 道阪 部市		三三八	大阪市水道部
北水洋航路開拓の意義	黒田乙吉	七〇	七〇	道月會
道路職員必携	小島效	二二五	二二五	道路改良會
開拓鐵道論上	伊澤道雄	二八〇	二八〇	春秋社
最近の海洋政策	梅崎卯之助	四〇	四〇	京防協會
印度洋南部水路誌	水路部	五〇〇	三三三	水路部
距離表	同	二五〇	二五〇	同
省營自動車運送施設綱要	淺野泰助	二八〇	三三三	鐵道時報局
特殊貨物の運送	西川正治	五〇〇	五〇〇	檢車界刊行會
村田春海詩集	黒田辰男	五〇〇	三三三	文閣
古信濃の交通	牛山清四郎	一五〇	三三三	古信濃の交通刊行會
分岐器敷設と保守作業 省營自動車運送施設綱要	土井巖	一三〇	三三三	鐵道時報局
	淺野泰助	二八〇	三三三	同

交通

八五五

八五四

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
海運政策論	堀川武夫	一・三〇	一〇九	清風閣出版部	國際海上運輸	村田省藏	二・八〇	一〇三	春秋社
濠洲沿岸水路誌(五)	水路部	五・〇〇	一〇四	水路部	十月				
歐洲大戰時代のロシヤ鐵道に就いて	梅村元之助		七三	草月會	タクシー統制の諸問題	タクシー問題研究會	一・〇〇	九二	タクシー問題研究會
旅客事務の研究	川西實夫	二・〇〇	一〇四	鐵道教育會	滿鮮北支の自動車運輸	菊池洋四郎	五・〇〇	一〇四	新聞事業部
危險性貨物要覽	神戶包裝協會	三・八〇	一〇六	神戶包裝協會	十一月				
昭和十三年潮汐表(上)	水路部	一・三〇	一〇三	水路部	ニユギネア水路誌(一)	水路部	五・〇〇	一〇三	水路部
同(下)	同	一・三〇	一〇三	同	日本交通史話	樋畑雪湖	二・〇〇	一〇三	雄山閣
地方鐵道軌道一覽	鐵道省監督局	三・〇〇	一〇二	鐵道同志會	十二月				
貨物運送の理論と實際	渡邊茂	二・三〇	一〇三	東洋書籍	交通論	島田孝一	二・〇〇	一〇三	千倉書房
鐵道車輛	根本仙太郎	一・五〇	一〇六	鐵道時報局	內海水路誌	水路部	二・五〇	一〇三	同
紅海アデン海灣水路誌	今野政富	一・五〇	一〇六	鐵道時報局	交通文化物語	三井高陽	二・五〇	一〇三	同
九月	水路部	五・〇〇	一〇三	水路部	東洋燈臺表(下)	水路部	二・五〇	一〇三	同

(二四) 産業

〇〇農業 〇〇園藝 〇〇林業 〇〇畜産 〇〇蠶業 〇〇水産

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
新聞經濟面の讀み方(産業篇)	水村孫八郎	一・八〇	一〇二	栗田書店	如何にして農村は更生するか	横尾惣三郎	一・八〇	一〇四	農民講演會
租國を顧みて	小島稔生	一・三〇	一〇三	農村振興會	産業組合革新論	水野武夫	一・〇〇	一〇三	高陽書院
煉乳及粉乳	神田八郎	三・三〇	一〇三	育生社	躍進日本の産業	土方成美	九・〇〇	一〇三	日本青年館
印度糖業論	日本糖業聯合會	一・〇〇	一〇六	日本糖業聯合會	最新實利養蜂の經營	渡邊寛	四・五〇	一〇七	渡邊養蜂場
帝國軍用犬大籍簿	帝國軍用犬協會	一・二〇	一〇三	帝國軍用犬協會	國有林(上)	農林省	二・五〇	一〇三	大日本山林會
シエパード大種	同	一・二〇	一〇三	同	同(下)	同	二・五〇	同	同
實験花卉園奮精説	關慎之介	八・五〇	一〇九	賢文館	人から見た産業組合	式守公平	一・八〇	一〇三	高陽書院
農村指導者は語る	産業組合新聞社	四・〇〇	一〇二	産業組合新聞社	三月				
代表的花卉とその研究	五十嵐梧棲	四・五〇	一〇四	西ヶ原刊行會	戰時産業施設考	小濱重雄	三・〇〇	一〇三	小濱資源
					農作物病害講義	逸見武雄	二・五〇	一〇三	日本農村
					家畜の榮養と石灰	高橋榮治	二・〇〇	一〇四	科學書院
					園藝學研究集録(二)	菊池秋雄	三・三〇	一〇三	養賢堂
					果樹栽培汎論 結實篇	並河功	三・三〇	一〇三	同
					産業組合經營要論	淺見與七	二・五〇	一〇三	同
						青木一己	一・五〇	一〇三	高陽書院

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
産業組合經營下	佐藤寛次	一・五〇	四四五	高陽書院
日本茶業史續篇	加藤徳三郎	非	四二六	茶業組合中央會議所
産業組合倒れるか 中小商工業者の没落か	石川惇三	三・三〇	四一〇	共同館
農事實行組合の運営	森正男	一・〇〇	四三四	高陽書院
家畜文化史	加茂儀一	九・〇〇	四九三	改進社
米價に關する研究	後藤幸雄	一・〇〇	四〇九	日本勸業銀行調査課
組合製絲講話	碓氷茂	三・三〇	四四三	鈴木樹會
海外漁業事情	南洋水産協會 會外二會	三・〇〇	四六三	南洋水産協會
四月				
自治産業理想郷	吉岡榮	一・三〇	四三三	帝國聯合通信社
産業組合再組織論	水野武夫	一・三〇	四三三	高陽書院
米國煙草耕作法	塚田秀男	二・〇〇	四三三	專賣協會
米の榮養と貯藏	秋元稔	一・八〇	四一五	養賢堂
觀賞園藝	山本正英	二・五〇	四八八	明文堂
日本産業勞働論	高橋龜吉	二・五〇	四四六	千倉書房
實用花壇	西村賢治	二・八〇	四三四	明文堂
有畜農業精説	相原言三郎	五・三〇	四三一	賢文館
肥要説	角田英二	三・〇〇	四六五	西ヶ原刊行會
既益蔬菜園藝精説	安藤安孝	六・三〇	四六三	賢文館
第七十議會産業組合問題	森徳久	非	四一八	農村經濟調查局
實用果實蔬菜罐詰製造法	光保正信	三・〇〇	四三〇	明文堂
國策産業パンフレット	安部博	三・〇〇	四三〇	明文堂
米穀專賣制の研究	犬飼時男	五・五〇	四二册	國策産業協會
滿蒙農業移民機關の組織及監督	高岡熊雄	三・三〇	四〇〇	同
農産物販賣事情に關する調査	千石興太郎	非	四五七	産業組合會
綜合的農村更生指導の實際	折目六右衛門	一・五〇	四三一	泰文館
畜産製造學牛乳編	佐々木林治郎	二・五〇	四三三	西ヶ原刊行會
農業昆蟲學	神谷一男	二・五〇	四三三	同

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
山・原野・牧場	坂本直行	一・三〇	四三三	竹村書房
米穀政策論	荷見安	四・〇〇	四四八	日本評論社
五月				
新農村の基調	那須皓	九・〇〇	四三五	日本青年館
ソ聯邦農業政策に就いて	松村四郎	八・〇〇	四八	月刊會
農村產馬要説	伊藤小一郎	二・八〇	四三三	賢文館
福岡縣自治産業史	吉田祝重	非	四六八	門司新報社
農村産業機構史	我妻東策	三・五〇	四四四	叢文閣
生産増加の合理策	宇野信三	五・〇〇	四一五	日本能率協會
工業日本精神	藤原銀次郎	一・三〇	四一三	技術師協會
東京都下の商業組合	松浦誠之	三・〇〇	四四四	新陽社
日本産業組合史講	辻誠一	一・五〇	四三〇	高陽書院
滿洲國阿片制度と阿片の概念	酒葉要	一・九〇	四二二	帝國在郷軍人會本部
英國の新農業政策と産業組合	産業組合中央會	九・〇〇	四二二	産業組合會
日本新興産業讀本	岩井良太郎	一・五〇	四三三	千倉書房
茶とその文化	諸岡存	二・三〇	四三三	大東出版社
水産肥料製造論	淺井鎌吉	五・五〇	四一六	杉山書店
六月				
鹿兒島高等農林學校開校廿五周年記念論文集前編	鹿兒島高等農林學校	非	四九三	鹿兒島高等農林學校
酒造製麴論	同	非	四七六	同
農道雜誌	杉山晋朔	二・五〇	四六三	醸友社
酵母の科學及利用	小林謙一	一・八〇	四一七	瑞穂精舍
後編産業組合の獨裁王千石を裸にする	大町芳文	四・五〇	四四四	成美堂書店
唯物論全書協同組合論	山野三吉	三・三〇	四一五	經濟更生社
生産管理	奥谷松治	一・八〇	四二八	三笠書房
最近支那事情	村木福松	一・八〇	四三八	千倉書房
最新清酒釀造法	三宅芳助	三・〇〇	四一〇	麻船具
農産製造實習書	日本醸造協會近畿支部	一・五〇	四一〇	新開社
農村の經營	吉田守夫	三・三〇	四三六	近畿支部
	山崎延吉	一・〇〇	四一〇	泰文館

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
信濃蠶絲業史上	江口善次	三五〇	二〇七	大日本蠶絲會
同 中	同	同	二三四	信濃支會
同 下	同	同	四九三	同
魚 油	大谷武夫	一・五〇	四二	日産水産研究所
準戰時體制確立の生産力擴充政策の矛盾	和田半一郎	九	九	日本政治經濟研究所
北振興兩會社と産業組合との抗争の暗示するもの	同	同	同	同
農業電 化上	蘭村光雄	二・八〇	三三	工業圖書株式會社
麥類耕種要綱	大日本農會	同	二七〇	大日本農會
雜穀類甘藷 馬鈴薯耕種要綱	同	同	九八	同
農會法釋義	藤原正治	一・〇〇	二二	帝國農會
山村生活の研究	柳田國男	一・九〇	五三	民間傳承の會
七月				
最新農用藥劑	岡崎慶郎	四・三〇	四二	修教社書院
學說産業組合法解説 例	矢後正俊	二・〇〇	三三	高陽書院
歌米諸國に於ける ソ聯邦の石油事業 に就いて	土岐章	三・〇〇	九〇	啓明會事務所
農年青讀本 日本農民魂	大橋清藏	一・五〇	一三〇	同
篤農家の研究	山路虎吉	三・〇〇	一三〇	同
日本産業組合論	立田信夫	二・八〇	五三	叢文閣
農村協同資本の展開	木村靖二	三・九〇	四〇	同
畜産學講義	芝田清吾	二・五〇	二二	明文堂
農村滴語	菅原兵治	一・六〇	一四	篤農協會
實驗果實加工法	庄司謙次郎	三・八〇	三〇	興文社
青果物の生産・販賣統 制狀況ニ關スル調査	帝國農會	同	五五	帝國農會
豆州内浦漁民史料上	澁澤敬三	三・八〇	五五	アチツク・ミ ユーゼアム
九十九里舊地曳網漁業	山口和雄	三・〇〇	三五	同
近江國野州川築 漁業史資料	祝宮 靜	二・五〇	三八	同
産業日本の全貌	長澤小輔	二・五〇	四〇	東邦經濟社
農産加工相談	高橋武雄	二・〇〇	四〇	賢文館

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
本邦綿絲紡績史(一)	絹川太一	三・五〇	四七	日本綿業部
新農用藥劑學	内田郁三	五・五〇	六六	明文堂
訂農村更生策	野口徳三	一・〇〇	二二	教材社
實際農村更生策	眞木傳五郎	一・〇〇	三三	同
岐阜縣耕地事業沿革史	丹羽道胤	同	八三	岐阜縣耕地協會
趣味と蔬菜の研究	喜田茂一郎	八・〇〇	七二	西ヶ原刊行會
耕地利用に關する調査	帝國農會	一・八〇	二九	帝國農會
一九三三年チャドボーン協 定より倫敦砂糖 協約まで	中村誠司	非	二五	日本糖業聯合會
自治・産業・教化・ 躍進日本	岡部富雄	同	同	帝國聯合會
日本發明發見物語	豐澤豐雄	一・五〇	三九	高山書院
農村經濟圖說	栗原藤七郎	二・〇〇	六八	明文堂
農業經營	土屋春樹	三・五〇	三〇	岡田溫撰集 刊行會
初生雞雌雄鑑別の研究	増井 清	二・〇〇	一三	富山房
生産力擴充産業讀本	都新聞 經濟部	一・五〇	四〇	同
理論 綿羊飼育精説	岡本正行	七・〇〇	七四	賢文館
實際 病蟲防除相談	鐫方末彦	二・〇〇	三八	賢文館
土壤肥料相談	松木五樓	二・〇〇	五五	同
第七十一特別議會 農村問題	森 徳久	二・〇〇	二四	農村經濟 調查局
石油の問題	外務省 調査部	一・八〇	二八	日本國際協會
佛獨白諸國農村の考察	笠森傳繁	二・〇〇	九三	農村經濟 研究會
日本産業經濟全書九 林産・畜産・水産	大西俊夫	一・三〇	三〇	白揚社
朝鮮の農業機構分析	印 貞植	二・〇〇	四九	同
食用作物相談	岩槻信治	二・〇〇	三三	賢文館
花卉園藝相談	關愼之介	二・〇〇	三九	同
有畜農業相談	參木晋七郎	二・〇〇	三五	同
米價改策論	澤村 康	二・五〇	三六	南 郊社
臺灣の農業	奥田 或	一・九〇	九	臺灣農友會
日本樹木害蟲總目錄	渡邊福壽	同	三五	波邊福壽

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
岡田溫撰集二 農業政策	土屋春樹	二・五〇	三〇	岡田溫撰集刊行會
畜産學原論	芝田清吾	六・〇〇	三〇	明文堂
鯛	梶山英二	二・〇〇	二〇	杉山書房
十月				
農産物加工論 第七十回第七十二回 帝國議會農村問題 農村の工業と副業	西田孝太郎 森 徳久 大河内正敏	五・〇〇 二・〇〇 九・〇〇	六六 四六 四三	農文閣 調査局 工業社
養蠶栽桑相談 蔬菜園藝相談	野中幸兵衛 小田鬼八	二・〇〇 二・〇〇	三六 三六	賢文館
犂と犂耕法 實用農藝全書 一二 農業土木上	森 周六 千種虎正 近坂百一	三・八〇 一・一〇 一・一〇	二六 二六 二六	日本評論社 明文堂 高山書院
國防大學 シリース 羊 毛	内協會 竹村浩吉	一・三〇 非	二四 九五	高山書院 草月會
ソ聯邦極東漁業の現況 東京競馬會及 東京競馬俱樂部史二	長森卓夫 非	非 非	六八 六八	東京競馬會 馬房
十一月				
畜産學集成二 飼料學	岩田久敬	三・五〇	三四	養賢堂
原料と植民地 産業統制論	前田稔靖 赤松 要	八・〇〇 二・〇〇	二九 四八	巖倉書房 千倉書房
歐洲大戰下の參戰 列國の農業政策 支那事變下に於ける中 央官廳並農業團體の農 業對策	帝國農會	非	六	帝國農會
農業時論岡田溫撰集三 自治と産業 附人名鑑	岡田溫撰集 刊行會 小野寺 勇	二・五〇 非	二一 二一	岡田溫撰集 刊行會 通東信産社

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
日支事變と反共聖戰に 對する産業労働者の 任務	矢ヶ崎靜馬	・三〇	四	愛國労働組合 全國懇話會
昭和農業發達史	西村健吉	二・八〇	六六	富民協會
自治産業教化躍進日本 農村産業ライファ 組合の文 イゼン	岡部富雄 原 三郎	非 一・三〇	四 一八	帝國聯合 通信社
實用水産寶典 日本農村更生 運動の展望	日暮 忠 他二名 秦 滿	四・八〇 二・五〇	九七 二五	養賢堂 朝日書房
ケネー・商業と農業 原色果樹害蟲圖説	堀 新一 岡崎慶郎 矢後正俊	三・三〇 三・〇〇	三九 三〇	有斐閣 修教社書院
十二月				
植民地農業 産業と觀光	伊藤兆司 光永星郎	三・〇〇 八・〇〇	二五 三八	農文閣 日本電信 社報
滿洲農業と農業機械化 北支農民政策の重要性 農村産業組合の研究	農業機械社 梨本祐平 八木芳之助 和 田 傳	・五〇 二・〇〇 三・八〇 一・五〇	一三〇 四二 四二 五八	農業と機械社 動く日本社 有斐閣 砂子屋書房
沃 土				
北支農業政策大綱 (研究案) 擇捉島漁業誌 實用農藝全書 一三 農業土木下 北海道十勝開發史 晚成社	石井實雄 水産會 千種虎正 萩原 實 麻生慶次郎 製糖研究會	非 非 一・三〇 三・五〇 八・〇〇 六・五〇	五 三 三三 三三 一七 四九	又新俱樂部 同上函館 明文堂 萩原 實 岩波書店 製糖研究會
乳と乳製品の榮養學 農業經營論集 時局産業對策に關する 意見並參考資料 本邦原野に關する研究	神田八郎 土屋春樹 石川彌吉 大迫元雄	三・五〇 二・五〇 四・〇〇 非	二〇 三三 四九 三二	育生社 岡田溫撰集 刊行會 全國産業團體 聯合會事務局 興林會

讀難き淨瑠璃外題 (三)

當秋八幡祭 (鶴屋南北)
 狭夜衣鴛鴦劍翹 (並木宗輔)
 入鹿大臣皇都諱 (竹田出雲)
 替唱歌絲の時雨 (近松半二)
 大内裏大鳥眞鳥 (竹田出雲)
 荊荳桑門筑紫櫻 (並木宗輔)
 天竺德兵衛郷鏡 (近松半二)
 東海道七里艇梁 (同)
 往古會根崎村噲 (同)
 甲陽軍鑑時世粧 (紀海音)
 安倍宗任松浦登 (並木宗輔)
 秀伶人吾妻雛形 (同)
 嫩案相生源氏 (福内鬼外)
 鎌倉山綠翠勝閑 (千品龜井)

敵討未刻の大鼓 (長谷川千四)
 三浦大輔紅梅豹 (同)
 前内裏島玉城遷 (豊田新助)
 歌枕棗棠花合戦 (春草堂)
 鎮西八郎射往來 (同)
 栗島譜嫁入雛形 (竹田出雲)
 愛護若名歌勝岡 (中村閑助)
 相馬太郎孝文談 (並木永輔)
 日高川入相花玉 (小出雲)
 須磨内裏務弓勢 (寺田兵藏)
 いろは歌義臣整 (黒藏主)
 四天王寺稚木櫻 (近松半二)
 加賀見山舊錦繪 (容楊黛)
 道成寺現在蛇鱗 (一鳥、宗輔)

(二五) 軍事

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
軍陣秘笑錄	大谷清磨	一・三〇	四三六	新日本社
太平洋無條約時代と帝國海軍の將來	永井洋三	二・〇〇	四四	東京パンツ社
帝國及列國の陸軍	陸軍省		四一六	陸軍省
スパイ戰術秘録	寶來正芳	一・三〇	四三三	榮堂
軍司法部軍を誤る	安藤守義	三・〇〇	四九	小林書房
二月				
戰備既に整へり各國空軍!!	南都參次	非	三	播州國防研
軍事講話	橋本均	吾	四一八	究會本部
イタリヤのエチオピア征服	下位春吉	三・〇〇	四三〇	村下印刷所
軍部と國民	緋田工	一・〇〇	三	統一書房
世界大戰(一)	ウインストン・チャーチル著 廣瀬將・他二名	一・五〇	四五四	非凡開
軍備の充實とその精神	陸軍省	二・〇〇	四	軍人會館
帝國及列國の陸軍	陸軍省		四一六	内閣印刷局
駐滿皇軍を訪ねて	國防會		四二八	國防會
肅軍を糺す	宮脇長吉	二・〇〇	四	森田書房
科學戰機の暴威	加藤弘一	二・〇〇	四	東亞書房
世界の動きと我國防	常田力	六・〇〇	四三三	國防研究協會
雲雲世界の展望	軍事出版部	三・五〇	四四	軍事出版社
來るべき戦争の豫言	林銑十郎	二・〇〇	四三	東京パンツ社
宇垣と軍部關係	上村文三	二・〇〇	四	東亞書房
砲火の裏に踊る	牧山允	二・〇〇	四	東亞書房
三月				
陸軍下士官志願者案内ト採用試験問題	齋藤市平	一・五〇	四一五	尙兵館

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
憲兵志願者案内ト採用試験問答國語ノ部	同	・六	四〇	同
滿洲國軍日系軍官(軍需)志願案内	同	・三	四〇	同
軍人勅諭の全解	同	・一〇	四三	同
新歩兵操典草案ノ研究(一)	戰術研究會	・八	四一	兵書出版社
同	同	・八	四一	兵書出版社
空中國防の趨勢	陸軍省新聞班	・四	三	陸軍省新聞班
第三十三回陸軍日露戦争記念日に當り	同	・六	同	同
怖るべき化學戰と防護	湯淺敬一	・非	一〇	湯淺敬一
軍部イデオロギー	東浩史	・八	四	大和俱樂部
世界大戰(二)	W.チャイナル 廣瀬、將譯 他二名	・一五	四三	非凡閣
昭和動員令	山中峯太郎	・一七	四三	新日本社
露西亞帝國擊滅の筆彈	永田新之允	・非	三	永田新之允
次の極東大戰の覺悟	鈴木一馬	・五	四	東邦事情會
滿蒙血の先驅者	松岡勝彦	・六	一〇	熊本海外協會
近代戰トプロバガンダ	小松孝彰	・一五	四三	春秋社
軍部と財界	野田豊	・八	四二	今日の問題社
四月	同	・一〇	四三	同
世界大戰(三)	ウィンストン・チャーチル 他二名	・一五	四九	非凡閣
肅軍の完了と軍部の靜謐(前冊)	長尾挑郎	・非	四	三時事展望社
日本は強し	大久保弘一	・一五	四三	川流堂
次回戦争の發火點	中野俊治	・二	四	恒社
新歩兵操典草案ノ研究	戰術研究會	・一〇	四一	兵書出版社
最新射撃大觀	兒島富雄	・六	四一	誠文堂新光社
國家の觀念と國防	大串兎代夫	・四	充	京防協會
列國航空事情と防空	高橋常吉	・四	三	同
赤軍兵語集	入村松一	・三	五	偕行社
三十二年海軍記念日を迎へて無條約時代と我海軍	海軍省海軍各事普及部	・四	三	海軍省海軍各事普及部
極東は戦争か平和か	鳥山銀次郎	・二	五	森田書房

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
軍部寸橋橋開天	齋藤市平	・一〇	四三	官界往來社
軍人勅諭の全解	同	・一〇	四三	同
所謂軍の推進力	大平進一	・二〇	四	森田書店
日露戰役を回顧して	古海嚴湖	・四	毛	京防協會
軍民航空擴充の緊要に就て	古屋健三	・四	毛	同
クラウツ戦争要論	荒木武正	・六	四	平書院
從軍史錄	帝國在郷軍人會田原村分會	・非	四	帝國在郷軍人會田原村分會
最新陸軍模範兵教典	帝國軍人教育會	・三	五	帝國軍人教育會
歐洲大戰史の研究二	石田保政	・三	五	陸軍大學校將校集會所
次に來るもの戦争か平和か?	伊達龍城	・二	五	文瑞社出版部
海軍要覽(昭和十二年版)	小山與四郎	・三	五	海軍有終會
無條約時代と我海軍	南都參次	・非	四	播州國防研究會本部
滿洲國巡查(警士)志願者案内ト採用試験問答	齋藤市平	・五	四	兵館
憲兵志願案内ト採用試験問答(常識之部)	同	・七	四	同
兵器保存要領(一)	同	・三	七	川流堂
兵器保存要領(二)	同	・三	七	同
兵器保存要領(三)	同	・三	七	同
空は危し我等の飛行隊	竹崎武泰	・三	四	國民義勇飛行隊編成部
極東戰線異狀あり	山下麒一郎	・二	四	東京パンフ社
步兵操典草案	小島棟吉	・八	五	武揚堂書店
世界の日本の陸海軍	國際情勢研究會	・一	〇	太陽閣
見た日本の陸海軍	齊藤市平	・四	四	太兵館
步兵操典草案問答	今問題社	・二	〇	今日の問題社
最近の軍部を語る	海軍省海軍各事普及部	・二	〇	海軍省海軍各事普及部
聯合艦隊の全貌	神田孝一	・一	〇	海軍省海軍各事普及部
思想戰と宣傳	山上昶	・非	四	東洋協會
西安事變後の中國共產軍の動勢	カラムイシ	・非	四	東洋協會
白襪隊	町田等譯	・非	四	俱樂部

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
忠孝田邊少尉の戦死	井上文成	二〇〇	四二五	愛國心之華盟	皇軍血戰秘話	胸井軍治	二〇〇	四二五	皇軍文社
血染の日章旗	同	二〇〇	四二五	同	借行露國陸軍の研究	澤邊哲彦	一〇〇	四二五	借行社
松井部隊決死の活躍	同	二〇〇	四二五	同	振假名附步兵操典	陸軍壯丁教育會	一〇〇	四二五	陸軍壯丁教育會
楠公の戦術上及精神上の教訓	林彌三吉	七〇〇	四二五	兵書出版社	機關銃射擊教育之參考	陸軍學校	一〇〇	四二五	陸軍學校
ソ 獨 S・O・S	青江達夫	二〇〇	四二五	青春出版社	日清日露戦争史話	渡邊幾治郎	一〇〇	四二五	千倉書房
エムデン陸戦隊	波樓主人譯	八〇〇	四二五	明隣堂書店	猛る空中艦隊	中野晴介譯	一〇〇	四二五	中野作治郎
全支那軍の實力検討	稻葉四郎	二〇〇	四二五	大文字書院	支那の對日作戰計畫	中山正男	二〇〇	四二五	中山正男
赤軍は果して戦ひ得るか	小松孝彰	二〇〇	四二五	森田書房	北支に躍るスパイ戦	仲木貞一	二〇〇	四二五	東京朝野新聞出版部
工場の上襲防備	小倉尙	三〇〇	四二五	日本工業協會	陸軍少年航空兵	星野辰男	六〇〇	四二五	朝日新聞社
國際秘密力の研究(三)	柳沼七郎	非	四二五	國際政經學會	北支事變の話	森田良幸	四〇〇	四二五	十八書店
北支事變の概要(一)	陸軍省新聞班	非	四二五	陸軍省新聞班	今次事變と帝國海軍の行動	海軍省海軍軍事普及部	四〇〇	四二五	海軍省海軍軍事普及部
戦争は引合ふか? 何故戦争は不可避か?	荒木貞夫	二〇〇	四二五	皇文社書店	時局の焦點・廿九軍の組織編成概況	和田半一郎	四〇〇	四二五	日本政治經濟研究所

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
戦争はいつ始まるか	青田均	一〇〇	四二五	昭和書房	北支海線美談	大道弘雄	一〇〇	四二五	朝日新聞社
爆弾北支を語る	小林知治	一〇〇	四二五	太陽閣	極東大戦の考察	鈴木一馬	五〇〇	四二五	東邦事情會
北支派兵の絶對暴戻なる支那軍撃つべし	石河英介	二〇〇	四二五	文藝社	防空	小松孝彰	二〇〇	四二五	森田書房
支那の軍備と其の性質	南都参次	非	四二五	播州國防研究会本部	防空讀本	大場彌平	一〇〇	四二五	借成社
永久國防の原理	荻田胸喜	二〇〇	四二五	原理日本社	人物現代日本軍事史	渡邊幾治郎	一七〇	四二五	千倉書房
大陸作戦論	小林知治	一〇〇	四二五	高山書院	日支事變と次に来るもの	武藤貞一	一〇〇	四二五	新潮社
支那當面の國防作戦計畫	東洋協會調査部	非	四二五	東洋協會	抗日政權崩潰の前夜	宮本善隆	二〇〇	四二五	極東事情研究所
空襲	片岡稔	一五〇	四二五	ダイヤモンド社	北支事變經過の概要(特輯號)	陸軍省新聞班	四〇〇	四二五	陸軍省新聞班
國家總動員に就て	林銑十郎	非	四二五	日本パンフレット協會	近代戦と國防	原嘉章	一〇〇	四二五	第二國民會出版部
支那は日本と何處まで戦ふつもりか	池村新一郎	二〇〇	四二五	大文字書院	列強兵隊かたぎ	大内俊	一〇〇	四二五	同
陸軍に於ける工員の取扱に就いて	石川彌吉	非	四二五	關東産業團體聯合會事務所	戦時體制と日本	田中辰志	二〇〇	四二五	聯合情報社
九 月					怖るべし日本空軍	ジェファリン・小澤覺輔譯	一〇〇	四二五	春秋社
遂に空が陸となる	K.A. フラット	二〇〇	四二五	毛教社	戦慄! 空軍	東京日日新聞社	一〇〇	四二五	東京日日新聞社
空軍はどう戦ふか	上村文三譯	二〇〇	四二五	同	精神總動員の根底	上杉慎吉	二〇〇	四二五	日本學術會
戦争か平和か	恩田重信	一〇〇	四二五	恩田重信	支那戦線より歸りて	星野辰男	一〇〇	四二五	東京朝日新聞發行所
時局知識の知識	清澤高信	一〇〇	四二五	青年書房	支那戦線より歸りて	星野辰男	一〇〇	四二五	東京朝日新聞發行所

軍國美談(一)	櫻井昌夫	・二〇	三〇	東京パンフ社	軍國此の精神	池澤由藏	一〇〇	三〇	自立社
輝く海軍少年航空兵	萩原四郎	・三〇	三〇	東京パンフ社	十月	山下三郎	・二〇	三〇	東京パンフ社
何故支那と戦ふか	宗形金風	・三〇	三〇	東京パンフ社	ゲリラ戦術	武藤夜舟	・一〇	三〇	第二國民會出版部
戦争と戦費	齋藤直幹	・一〇	三〇	東京パンフ社	北支陣中手記	三井甲之	・一〇	三〇	原理日本社
支那の軍備と抗日作戦	成田篤	・二〇	三〇	東京パンフ社	戦線と戦争	阿部信夫	・一〇	三〇	日本評論社
日支事變と銃後の海	池田隆美	・二〇	三〇	東京パンフ社	眞理と戦争	齋藤市平	・一〇	三〇	齋藤市平
滿洲及第一銃後の回顧	三島章道	・一〇	三〇	東京パンフ社	海軍讀本	岸本眞喜太	・一〇	三〇	時事經濟社
次上海事變	駒井軍治	・一〇	三〇	東京パンフ社	擲彈筒下ノ詳解	長島隆二	・一〇	三〇	中央教育文化聯合會
猛ける荒鷲	山田文吾	・一〇	三〇	東京パンフ社	支那事變と世界戦争の危機	神田計造	・一〇	三〇	中央教育文化聯合會
壯絶凄絶空中戦實話	姫野徳一	・一〇	三〇	東京パンフ社	支那事變と世界戦争の危機	海軍省軍事普及部	・一〇	三〇	軍事普及部
戰場に猛る支那女	島田秀人	・一〇	三〇	東京パンフ社	支那事變と世界戦争の危機	田中豊	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部
支那事變と列國の論調	千田理示造	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部	支那事變と世界戦争の危機	鳥山景三	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部
忠烈皇軍戦士の手記	謝國城	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部	支那事變と世界戦争の危機				
無比皇軍戦士の手記	謝國城	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部	支那事變と世界戦争の危機				
支那出征將兵の手紙	謝國城	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部	支那事變と世界戦争の危機				
支那の長期国防計畫	謝國城	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部	支那事變と世界戦争の危機				
支那事變と世界戦争の危機	謝國城	・一〇	三〇	東京朝野新聞出版部	支那事變と世界戦争の危機				

ソ蘇の廣義國防	水島齋	非	三〇	研究思想	世界大戦九	水野甚次郎	・一〇	三〇	凡關
兵器讀本	青木保	・一〇	三〇	研究思想	航空日本の建設へ	清水東川	・一〇	三〇	吳港新報社
北支事變誌	久志本喜代士	・三〇	三〇	研究思想	聖戦の後に	山本實彦	・一〇	三〇	興教書院
支那事變現地(銃後の護り)	李禮章	・二〇	三〇	研究思想	支那事變北支の巻	小西武夫	・一〇	三〇	文祥社
支那事變現地(銃後の護り)	李禮章	・二〇	三〇	研究思想	支那事變北支の巻	尾關岩二	・一〇	三〇	文祥社
北支全線に従軍して	志村卯三郎	非	三〇	研究思想	陸海空進軍の旗風	尾關岩二	・一〇	三〇	文祥社
銃後に告ぐ	難波恭一	非	三〇	研究思想	軍國少年の爲に	尾關岩二	・一〇	三〇	文祥社
化学兵器の理論と實際	中村隆壽	・二〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
支那忠勇美談集	川村新次郎	・二〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
支那忠勇美談集	川村新次郎	・二〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
支那戰場美談	陸軍省つはもの編輯部	・二〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
大空軍の建設へ	水野甚次郎	・二〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
皇國の生成	卯本菊之助	非	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
明治天皇と軍事一班	弘田臥石	・三〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
世界戦争の火蓋を切るもの	杉山捷三	・二〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
國民戦線の強化	柴尾親弘	・二〇	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治
支那事變美談集	平野小學校	非	三〇	研究思想	支那事變忠烈遺勳録	丸山隆治	・一〇	三〇	丸山隆治

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
一觸即發・第二次世界大戰	國際政治研究会	一・三〇	三三〇	高山書院	十一月 世界の將來と全體主義的戦争 (附)肯定的宣傳の必要 朝日時局讀本九 國防と軍備	水島齊非	一・四〇	三三〇	國際思想研究所
國民防空讀本	波多越興一	一・三〇	二二六	軍事教育社	江南敵影なし	星野辰男	一・四〇	三三〇	東京朝日新聞發行所
日支事變より	那須有雄	一・二〇	二二六	文教堂書店	知れるや最後の敵國	沖長漳彦	一・三〇	二二六	新愛知新聞社
軍國萬葉の櫻	村上寛	一・七〇	三三〇	つはもの發行所	上海戦線美談(二)	大道弘雄	一・三〇	二二六	朝日新聞社
支那の兵佳話	陸軍省つはもの編輯部	一・五〇	二〇九	亞細亞研究會	戦時常識	能勢久雄	一・三〇	二二六	海軍協會
支那の襲撃に對する國民の準備	宇山熊太郎	一・五〇	二二八	正直書林	支那事變と帝國海軍	宇佐川知義	一・三〇	二二六	群馬縣支部
日露戦争を斯く戦へり	鹿野吉廣	一・九〇	三三九	日本評論社	五軍並進の包圍戰	山中峯太郎	一・三〇	二二六	春陽堂書店
戦争と青年	室伏高信	一・五〇	三三九	播州國防研究会本部	北方塹壕線四十里	同	一・三〇	二二六	同
毒瓦斯の防ぎかた	西村一郎	非	一六	大東情報社	近代戦と國家總動員	林銑十郎	一・三〇	二二六	東京フレット社
英蘇の對支援助露骨	小野三郎	一・二〇	二二六	東京朝野新聞出版部	兵法家傳書	福井久藏	一・三〇	二二六	厚生閣
極東の陰謀戰	鳥山景三	一・二〇	二二六	健國講演會	戦後の施策と陸軍の動向 (軍部の回答書)	大岩多嘉雄	一・九〇	三三〇	高山書院
太平洋問題と帝國海軍近代國防に就て	梅崎卯之助 大久保弘一	一・四〇	二二六	パンフレット文藝社	支那報國美談(一) 事變報國美談(一) 蒙古に跳る我義勇軍	海軍省軍部 普及部 仲木貞一	一・三〇	二二六	海軍省軍部 普及部 仲木貞一
一發日ソ開戦愈々近し輝く陸軍將校生活	鷹橋聖一 陸軍將校生徒試験常置委員	一・四〇	二二六	大日本雄辯會	支那事變と無敵皇軍	柴田外吉	一・三〇	二二六	天光社本部

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
この海空軍	西澤磯次郎	一・三〇	二二六	今日の問題社	支那事變經過の概要 特輯二號	陸軍省 新聞班	一・三〇	二二六	陸軍省新聞班
上海戦	榊山潤	一・三〇	二二六	砂子屋書房	支那事變と我が海軍	梅崎卯之助	一・三〇	二二六	神國日本社
國際政治から見た日支の抗争	田中直吉	一・五〇	二二六	立命館出版部	支那事變と我が海軍	靖國神社 支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
塹壕の四週間	新田潤	一・〇〇	二二六	竹村書房	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
防空問答	寶太郎	一・〇〇	二二六	帝國在郷軍人會 函館市第二分會班	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
激化する日ソの對勢 一戰遂に避け難きか	杉山明	一・〇〇	二二六	交通展望社	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
空中國防の趨勢	陸軍省 新聞班	一・五〇	二二六	大日本國防協會	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
ナポレオン 大戰回想録(二)	難波浩譯	一・七〇	二二六	改造社	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
次の世界戦争	石丸藤太	一・二〇	二二六	春秋社	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
日英戦争論	同	一・二〇	二二六	同	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
一、鐵の軍律(他二篇)	西村一郎	一・三〇	二二六	播州國防研究会本部	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
國境第一戦の前後	山中峯太郎	一・三〇	二二六	春陽堂書店	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
列強は如何に軍備を整へつゝあるか	内閣情報部	同	同	同	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
支那に於ける コミンテルンの活動	同	同	同	同	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名
敵機來らば	高橋常吉	一・二〇	二二六	新潮社	支那事變と我が海軍	支那に支配する者	一・三〇	二二六	松本忠雄 他四名

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
近代戦と思想宣傳戰	内閣情報部	・三〇	三〇	内閣情報部	斷じて免れぬ長期作戰	山田文吾	・二〇	四〇	昭和書房
支那 忠勇報國美談	木村定次郎	・三〇	三〇	龍文會	支那 忠烈の皇軍	野崎圭介	・三〇	三〇	二松堂書店
十二月					支那 忠烈の皇軍	長谷川文人	・二〇	三〇	昭和高書房
上海戦線を語る	林房雄	・二〇	三〇	今日の問題社	極東制壓を企らむ	鳥越保太	・二〇	三〇	昭和高書房
上海より南京を衝く	杉山瑛二	・二〇	四〇	昭和書房	戦はこれからだ	編賣新聞社	・七〇	三〇	非凡閣
國際スパイ戰	伊東銳太郎	・一五	三〇	日本公論社	支那事變實記(四)	岸田菊伴	・一五	四〇	新東京社
軍機保護法要義	鷺山半之助	・一五	一〇	新光閣	防空演習史	千田哲雄	・一五	六〇	防空演習史編纂所
支那事變の次に來るもの	小林騏一郎	・一〇	一〇	大日本出版社	軍機保護法	日高己雄	・三〇	四〇	羽田書店
の日英戦はん乎	岩田恒	・一〇	一〇	大阪市教育出版部	改正軍機保護法	警察部	・一〇	一〇	奈良縣警察部
空襲と都市防空	宮居康太郎	・三〇	七〇	皇徳奉賛會	逐條解説	小林知治	・二〇	三〇	今日の問題社
各社特派員決死の筆陣	田邊宗英	・二〇	三〇	日本書房	ソ聯極東軍の向背	村田孜郎	・三〇	一五	六人社
支那事變戰史	三島康夫	・一〇	三〇	中央公論社	北支の解剖	杉山捷三	・二〇	三〇	皇文社
日英はもう戦つてゐる	武藤貞一	・一〇	一〇	清水書店	英國の機密室	山道襄一	・一〇	三〇	長谷川書房
赤軍					護國之華	長島隆二	・三〇	三〇	長谷川書房
思想戰					英國の機密室				
抗英世界戰爭					護國之華				

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
聖戰詩	史田宮憲章	・三〇	一〇	皇明會	南京の陥落	安居洛堯	・二〇	四〇	阪急新報社
支那 忠烈美談(一)	大日方すゞ	・一〇	三〇	守山書房	皇威八紘に輝く	井島政吉	・一〇	四〇	熊本市立高等女學校
支那 報國美談(二)	海軍省軍事普及部	・一〇	七〇	海軍省軍事普及部	支那事變 輝く忠誠(二)	海軍省軍事普及部	・一〇	七〇	海軍協會
戰線 輝く佛心	中川靜村	・三〇	二〇	興教書院	支那事變 輝く忠誠(一)	鈴木眞	・二〇	八〇	愛國婦人會
各社特派員決死の筆陣	宮居康太郎	・一五	七六	新開タム社					
支那事變從軍記	伊藤實	・二〇	三〇	銀座書房					
噫！ 忠烈加納部隊	大道弘雄	・三〇	一〇	朝日新聞社					
上海 戦線美談(三)	小泉信三	・三〇	六〇	慶應出版社					
支那事變と日清戰爭	森清人	・三〇	五〇	日本精神協會					
皇軍 必勝篇	田村甚藏	・三〇	三〇	皇民社本部					
北支皇軍慰問に使用して	加治木文男	・非	一〇	大日本愛國義園本部					
支那事變と皇國の使命	國防科學會	・二〇	三〇	育生社					
ナチスの戰爭論(上)	平野零兒	・三〇	一五	六人社					
近代戦の正體	石原寶	・三〇	三〇	三山情報社					
軍隊生活の實際	高木義賢	・一〇	一〇	大日本雄辯會					
海の荒鷲奮戰記									

讀難き淨瑠璃外題 (四)

鯛屋貞柳 歳旦開
 持丸長者 金竿劍
 仇討優曇華 龜山
 方言競茶番 種本
 彦山 權現誓助劍

(菅 專助)
 (近松やなぎ)
 (司馬芝叟)
 (十返舎一九)
 (梅下風、近松保藏)

沓手鳥 孤城落月
 天衣紛上野初花
 能色相圖 神田祭
 再春 菘種 蒔種 蒔三番
 筐花 乎向橋 吉原雀

(坪内逍遙)
 (脚本 河内山)
 (清 元)
 (清 元)
 (清 元)

小説本

陰陽 大和錦
 杜若 紫再咲
 開勇 八幡祭
 畫傀儡 二面鏡

(福地櫻痴)
 (岩井余三郎)
 (市川團十郎)
 (柳亭種彦)

當世傾城 氣質
 皇國文學 娘席書
 父母怨敵 現腹鼓
 照子池浮名 寫繪

(増舎大梁)
 (尾上梅幸)
 (竹塚東子)
 (曲亭馬琴)

以上は大體を揚げたので、この外讀み難い表題は多々ある。

(二六) 美術・工藝

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
一月				
傳宗尊親王筆歌合卷研究	久曾神昇	非	圖	尙古會
十竹齋書畫譜(二)	北原義雄	一・五	變形	アトリエ社
現代素描全集(二)	同	一・五	圖五枚	同
現代洋畫大全集(一五)	同	一・五	圖〇枚	同
日蓮聖人御傳木版畫	嘉喜村	同	圖三組	嘉喜村版畫店
都風俗鑑(一)	山田清作	非	圖三	米山堂
國寶綜覽(滋賀縣上篇)	中野楚溪	五	圖	國寶綜覽會
昭和十一年文部省美術展覽會圖錄第四部美術工藝	文部省	八〇〇	圖	審美書院
閉館名寶展觀圖錄	大阪市立美術館	同	圖	便利堂
二月				
全譯芥子園畫傳六關譜	小杉放	一・三	變二八	アトリエ社
官幣大社三島神社正遷座祭記念彫刻寫真帖	今井籌男	非	圖	三島神社
美術寫真大成(各二)	岡本東洋	三・八〇	圖一〇三	平凡社
工藝百科大圖鑑(五)	國府田範造	非	圖	工藝百科大圖鑑刊行會
大正名器鑑(第一編)	高橋義雄	同	圖二六	寶雲社
昭和十一年文部省美術展覽會圖錄第一部繪畫日本畫	文部省	三〇〇	圖	審美書院
刀劍金工名作集 埋忠正阿彌	小倉門惣右衛門	同	圖六	山閣
大家花鳥畫譜	内田喜一	一・八五	圖七	内田美術書肆
宋元花鳥畫撰	岡崎義郎	五・〇〇	圖三	芸艸堂
日本美術史資料(一四) 江戸時代(下)	小川晴暘	三・五	圖二六枝	飛鳥園
花岡丹心畫帖	花岡萬舟	同	圖三	和風堂
萬舟丹心畫帖	西村要亮	同	圖六枚	東洋古美術會
日本蒔繪大觀(一)	中川伊作	同	圖	研究美術會
美術寫真大成(卷一)	岡本東洋	三・八〇	圖一〇	平凡社

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
能 面(六)	野上豊一郎	非	九枚	岩波書店	演劇論叢	小宮豊隆	三・八〇	六枚	聖文閣
支那南畫大成續集(六)	石川寅吉	非	三六	興文社	古典舞踊を描く(一)	渡邊泰次	六・〇〇	一冊	古今堂
音聲の研究(六)	神保 格	三・三〇	三六	文學社	三月				
ヴァイオリン協奏曲集(二)	門馬直衛	一・五〇	三〇	春秋社	十竹齋書畫譜(九)	北原義雄	一・五〇	一冊	アトリエ同
舞踊藝術教程	木村駒子	四・三〇	三五	建設社	現代素描全集(四)	同	一・五〇	一冊	同
ヴァイオリン協奏曲集(一)	門馬直衛	一・五〇	三〇	同	現代洋畫大全集(一七)	同	一・五〇	一冊	同
現代日本童謡曲集	神田龍一	一・五〇	三五	春秋社	能裝束名品集續六	松野奏風	一・五〇	一冊	同
樂器圖鑑	近衛秀磨	一・五〇	三六	教社	能裝束名品集續(一)	原田悟郎	五・〇〇	一冊	同
フランス組曲	管原明朗	一・〇〇	三三	寶文書院	草書	野上豊一郎	一・三〇	一冊	同
音樂讀本	太田黒元雄	一・五〇	四六	第一書房	面(七)	小杉放庵	一・三〇	一冊	同
歌劇名曲集(二)	伊庭 孝	一・五〇	三五	春秋社	全譯芥子園畫傳(二)	公田連太郎	四・〇〇	一冊	同
映畫藝術と映畫作家	上野一郎	一・五〇	三六	映畫評論社	雨亭遺墨記	入江相政	非	一冊	同
演劇外題要覽	送日本協會	四・八〇	五四	日本協放會	佐伯祐三畫集	國田彌之輔	三・五〇	一冊	同
新劇と舊劇	飯塚友一郎	二・三〇	三八	同會書房	現代哲學全集(二〇)	外山卯三郎	一・五〇	一冊	同

洛陽金村古墓聚英	梅原末治	一・八〇	一冊	小林寫眞製版所出版部	栖鳳逸品集(一)	竹内栖鳳	一・〇〇	三枚	芸艸堂
慶長以前の石燈籠	天沼俊一	四・〇〇	一冊	スズカ出版部	香雪齋藏品展觀圖録	平賀精一	非	一冊	同
現代映畫論	管見恒夫	一・五〇	三五	西東書林	日本彫刻精華	松岡光夢	七・五〇	一冊	同
日本美術の概論	野島好二	一・六〇	三三	南陽堂出版部	龍谷集英	野上豊一郎	非	一冊	同
滿洲事變繪卷	武藤夜舟	五・〇〇	一冊	軍人會館出版部	龍谷集英	本願寺	非	一冊	同
大正名器鑑(七)	高橋義雄	七・〇〇	一冊	寶雲舎	龍谷集英	重森三玲	六・〇〇	一冊	同
大正名器鑑第二編	同	同	三五	同	龍谷集英	小柴錦侍	一・〇〇	一冊	同
國寶名刀劔圖譜(六)	本間順治	同	二枚	岩波書店	龍谷集英	北原義雄	一・五〇	一冊	同
四月					龍谷集英	小杉放庵	一・三〇	一冊	同
鳥類寫生圖譜(四)	小泉勝爾	二・五〇	四枚	鳥類寫生圖譜刊行會	龍谷集英	公田連太郎	一・三〇	一冊	同
現代日本の藝術	板垣鷹穂	三・五〇	四六	信正社	龍谷集英	眞田但馬	二・〇〇	一冊	同
美術寫真大成春二	岡本東洋	三・八〇	六六	平凡社	龍谷集英	黒木祥石	三・五〇	一冊	同
名物錦繡類纂(一〇)	明石染人	四・〇〇	六枚	田中平安堂	龍谷集英	萩野謙堂	三・三〇	一冊	同
宇田萩邸作畫集	土井撰美堂	三・〇〇	一冊	芸艸堂	龍谷集英	武田基一	二・三〇	一冊	同
能裝束名品集(續七)	伏原春芳堂	三・〇〇	一冊	同	龍谷集英	高橋義雄	七・〇〇	一冊	同
	松野奏風	八・〇〇	一冊	同	龍谷集英	本間順治	同	一冊	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
五月	能 野上豊一郎	園九枚	東亞の榮光	松野奏風	園二枚	芸 艸堂			
日本詩繪大觀(二)	西村要亮	園六枚	燉煌畫の研究 圖像篇	松本榮一	園四三	アトリエ社			
周秦漢三代の古紐研究	高畑彦次郎	園三五	一茶 眞蹟集	荻原非泉水	園八三	東京文化學院			
同	同	園五六	美術史上より見たる 仁科氏文化の研究	一氏茂樹	園三三	巧 藝社			
橋本平八作品集	日本美術院	園	大正名器鑑(三)	高橋義雄	園三三	信濃教育會			
現代洋畫大全集(一九)	北原義雄	園二枚	十八世紀フランス 繪畫の研究同圖録	坂崎 坦	園二册	寶 雲舍			
現代素描全集(六)	同	園五枚	岩村透と近代美術	清見陸郎	園三三	岩波書店			
木曾街道六十九次	同	園五枚	日本庭園史圖鑑 江戸時代初期三	重森三玲	園	有 光社			
同	同	園五枚	浩祐の彫刻と繪	藤井浩祐	園	昭 和書房			
溝口健二作品	同	園五枚	十竹齋書畫譜(十一)	北原義雄	園	アトリエ社			
美術寫眞大成(夏一)	岡本東洋	園六枚	板倉贊治 畫集	板倉贊治	園三八	美 術協			
ソヴェートロシアの藝術	木村利美	園四三	田中謹左右畫集	藤原正徳	園	會 出版部			
松岡映丘 畫集	猪木卓爾	園三〇〇	國寶刀劍圖譜(九)	本岡順治	園	藤原正徳			

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
支那古器圖考	原田淑人	七・五〇	園	東方文化學院	解說綜合美術史要	美育振興會	二・〇〇	園三〇	晚 成 處
工藝百科大圖鑑(八)	國府田範造	園	園	東京文化學院	日本庭園史圖譜	重森三玲	六・〇〇	園	有 光社
日本刀の研究	會田七郎	五・〇〇	園二册	借 行 社	江戸時代中期二	小林太市郎	九・〇〇	園	山 本湖 舟
刀劍金工名作集(五)	小倉 惣右衛門	園	園	雄 山 閣	紀州陶瓷聚成	松本榮一	一五・〇〇	園三四	寫眞工藝部
六月					燉煌畫の研究附圖	北原義雄	一・五〇	園〇枚	東京文化學院
十竹齋書畫譜(一二)	北原義雄	一・八〇	園	アトリエ社	現代洋畫大全集(三)	北原義雄	一・五〇	園〇枚	アトリエ社
支那墨蹟大成(二)	石川寅吉	非 園	園	興 文 社	都 風 俗 鑑(四)	山田清作	非 園	園三	米 山 堂
傳藤原公任十五番歌合	武田基一	二・三〇	園	武田墨彩堂	大正名器鑑(六)	高橋義雄	二七・〇〇	園	寶 雲 舍
ニユーギニア 土俗品圖集 上	南の會	非 園	園	南洋興發株式會社	日本美術史	加藤 泰	三〇・〇〇	園三一	栗 田 書店
藝苑聚芳(二)	藝苑聚芳會	三・五〇	園五枚	芸 艸堂	木村五郎作品集	日本美術院	園	園	日 本 美術 院
能裝束名品集續九	松野奏風	園	園	同	女の寫し方	福田勝治	三・五〇	園	ア ル ス
弘法大師筆・風信帖	武田基一	二・〇〇	園	武田墨彩堂	採果寫生畫冊	阿部悦三	非 園	園	阿 部 悦 三
藤原行成筆白樂天詩卷	同	二・〇〇	園	同	常夏莊畫選	松岡映丘	二・〇〇	園〇枚	柏 林 社 書店
橋逸勢筆	同	二・〇〇	園	同	國畫院同人作品集	國畫院	園	園	同
伊都内親王願文	同	二・〇〇	園	同	春芳堂展畫幅集	伏原春芳堂	四・五〇	園	芸 艸 堂
全譯芥子園畫傳(五)	小杉放庵	一・三〇	園	アトリエ社	百人一首圖考	飯田始晃	三・〇〇	園	同

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
壇輪	帝室博物館		園		志村鋼平	増訂 日本蒔繪大觀(三)	内田清之助	三〇〇	園	三瓦	内外書籍株式會社
國寶刀劍圖譜(一〇)	本間順治		園	〇枚	岩波書店	能裝束名品集(續二)	西村要亮		園	六枚	東洋古美術會
工藝百科大圖鑑(九)	國府田範造	一〇〇	園		工藝百科大圖鑑刊行會	第十回 記念寫真帖	清都理門		園	〇枚	芸生堂
文房至寶	後藤朝太郎	四〇〇	園	〇冊	雄山閣	講習會	富田裕子	三〇〇	園	〇冊	芸生堂
伊萬里染付大皿	陶磁器研究會	二五〇	園		陶磁器研究會	直入墨芳集	恩賜京都博物館		園		便利堂
藝術學	高沖陽進	一六〇	園	二〇	美瑛堂書店	勝田哲作品集	土井久彌		園		芸艸堂
新篆刻	休亨	一〇〇	園	六三	圭社	浮世繪はん畫 高見澤版 特摺全譯	上村益郎		園	四枚	高見澤木版社
七月						全芥子園畫傳(九)	小杉放庵	一三〇	園	〇冊	アトリエ社
現代花鳥拾芳	中野健彌	三〇〇	園		中野藝術院	能面(一〇)	野上豊一郎		園	九枚	岩波書店
支那墨蹟大成(八)	石川寅吉	非	園	二興	文社	美術寫真大成(夏二)	岡本東洋	三八〇	園		平凡社
現代素描全集(八)	北原義雄	一五〇	園	五枚	アトリエ社	日本庭園史圖鑑 室町時代一ノ上	重森三玲	六〇〇	園		有恒社
原色版 現代日本畫 大全集(二)	同	一八〇	園	〇枚	同	室町時代一ノ下	齊藤隆三	非	園		大塚巧藝社
最新寫真 引伸印畫法 肖像寫眞の戶外撮影 雙眼寫眞	中村道太郎		園	二九	文誠堂新光社	溪山人遺作集	竹内栖鳳	一〇〇	園	四枚	芸艸堂

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
辻永邦風油彩花卉畫集	美術工藝會	一七〇	園		美術工藝會	全日本觀光寫真大鑑	乙村修	三〇〇	園		知進社
陶庵公影譜	安藤徳器		園	一七	審美書院	大正名器鑑(五)	高橋義雄	一七〇	園	三瓦	寶雪會
石川寅治畫集(二)	美術工藝會	一五〇	園		美術工藝會	題烟江疊嶂圖詩	野口駿尾		園	變形	審美書院
大正名器鑑(四)	高橋義雄		園		審美書院	墨人展集(一)	俱樂部		園		墨人會俱樂部
鑑刀隨錄	小泉久雄	三〇〇	園	四七	小泉久雄	支那墨蹟大成(一)	石川寅吉	非	園		興文社
海外工藝の新傾向	山崎覺太郎	一〇〇	園	一八	日本輸出工藝聯合會	深水美人畫集	猪木卓爾	三〇〇	園		美術往來社
八月						山元櫻月畫集	美術工藝會	一〇〇	園	五	美術工藝會
釜の研究	木下桂風	二五〇	園	三三	雄山閣	支那墨蹟大成(二〇)	石川寅吉	非	園	二興	興文社
日本庭園史圖鑑 (室町時代一ノ下)	重森三玲	六〇〇	園		有光社	現代花鳥拾芳	中野健彌	三〇〇	園		中野藝術院
十竹齋書畫譜(二三)	北原義雄	一八〇	園		アトリエ社	寫眞の原理と實際	東京寫眞會	三〇〇	園	四五	東京寫眞會
現代洋畫 コレクション(一)	同	一八〇	園	三枚	同	傳藤原行成 關戸本和漢朗詠集	武田基一	二五〇	園		武田墨彩堂
栖鳳逸品集(三)	竹内栖鳳	二〇〇	園	三枚	芸艸堂	全芥子園畫傳(二)	小杉放庵	一五〇	園	三	アトリエ社
藝苑聚芳(二)	藝苑聚芳會	三五〇	園	五枚	同	蘭華譜(上)	小原榮次郎	三〇〇	園	一四	小原京華堂
謠本於裳佳介 (附冊)	三上進	非	園	一〇	審美書院	南畫讀本	小室翠雲	一五〇	園	二五	艸書房
同	同	非	園	一〇	同	獨立美術畫集一 井上長三郎畫集	美術協會	一七〇	園		美術工藝會

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
國寶刀劍圖譜(十一)	本間順治		八枚	圖	岩波書店
九月					
猪熊弦一郎作品集	猪熊弦一郎	一〇〇	八枚	圖	鳥會
中西利雄作品集	中西利雄	一〇〇	八枚	圖	同
響堂山石窟	東方文化研究所	五〇〇		圖	東京文化學院 京都研究所
支那墨蹟大成(三)	石川寅吉	非		圖	興文社
現代日本畫大全集(三)	北原義雄	一八〇	一〇枚	圖	アトリエ社
八ミリ映畫の新技术	島崎清彦	二〇〇	五三	圖	アールス
概説日本古美術史	内藤藤一郎	二〇〇	一〇	圖	スズカケ出版部
樣式世界美術全史一	柳亮	一八〇	一三	圖	アトリエ社
亞歐大飛行記錄完成 記念寫眞帖	大道弘雄	非		圖	朝日新聞社
溪山人遺作帖	佐藤梅軒	三〇〇		圖	芸艸堂
現代洋畫コレクシヨシ	北原義雄	一八〇	二枚	圖	アトリエ社
支那大事變寫眞史	山崎昌雄	一五〇		圖	日東社
十月					
大正名器鑑(九)	高橋義雄	一七〇〇		圖	寶雲舎
日本庭園史圖鑑	重森三玲	六〇〇		圖	有光社
(江戸時代初期)	比田井鴻	三〇〇		圖	書學院後援會
俯正古法帖選外編第二	日本美術院	二〇〇		圖	大塚巧藝會
第廿四回日本美術院 展覽會圖録	北原義雄	一八〇		圖	アトリエ社
十竹齋書畫譜(一四)	神原泰	二〇〇	三三	圖	同
梅譜(下)	藝苑聚芳	三〇〇	五枚	圖	同
フューチュリジスム・ダ ダイズムエクスプレツ シヨニズム	刊行會	三〇〇	三枚	圖	同
藝苑聚芳(三)	福田翠光	六〇〇	三枚	圖	同
翠光花鳥(七)	佐々木三味	二五〇	三	圖	同
骨董偽物がたり	本間順治		三枚	圖	同
國寶刀劍圖譜(一二)	國府田範造	一〇〇		圖	同
工藝百科大圖鑑(二〇)	登内微笑			圖	同
微笑個展作畫集	伊東忠太郎	二四〇〇		圖	同
南海古陶瓷	登内微笑			圖	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
牧野虎雄畫集二	重森三玲	六〇〇		圖	アトリエ社
日本庭園史圖鑑二〇	荒木十畝	一六〇	三三	圖	同
明治大正昭和時代二	外二十名	一八〇	三枚	圖	同
隨筆彩管餘錄	北原義雄	一八〇	三枚	圖	同
現代洋畫コレクシヨシ	一噌造			圖	同
二科展圖録	愛知縣會	非		圖	同
全國官幣國社寫眞帖	神職會	非		圖	同
大日本魚類畫集一	大野麥風	非		圖	同
藝苑聚芳四	藝苑聚芳	三五〇	五枚	圖	同
浮世繪風景一	刊行會	三五〇	五枚	圖	同
ヒューマニズムと藝術	上村益郎	二八〇	五枚	圖	同
藝術寫眞作品と作法	長谷川平著	九〇	三三	圖	同
日本畫會展覽會圖録	星野辰男	二五〇		圖	同
大日本魚類畫集一ノ二	青喜山義夫	非		圖	同
現代日本畫名作 展覽會圖録	大野麥風	非		圖	同
表現の問題	東京美術學校	非		圖	同
表	金原雀吾	二八〇	二六	圖	同
十一月					
樣式世界美術全史二	岩田同和會	一八〇	一五	圖	同
希羅・古羅馬	有光社			圖	同
支那墨蹟大成五	支那美術の諸問題			圖	同
推古美術の諸問題	支那古陶磁研究の字引			圖	同
支那古陶磁研究の字引	日本古陶銘款集	九州		圖	同
日本古陶銘款集	國寶刀劍圖譜一三			圖	同
國寶刀劍圖譜一三	陶器全集	二六〇	一六	圖	同
陶器全集	長坂金雄			圖	同
十一月	十一月				
明治大正昭和名作美術 展覽會圖録	大道弘雄			圖	同
日本畫會	同			圖	同
古活字版之研究同附圖	同			圖	同
第一回文部省美術展覽 會原色畫帖	同			圖	同
藝苑聚芳(五)	同			圖	同
藝苑聚芳	同			圖	同
恩賜京都博	同			圖	同
物館	同			圖	同

書名	著譯者	定價	頁形體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體	發行所
正倉院御物圖錄(一〇)	帝室博物館 三五〇	三〇〇	圖一冊	帝室博物館	歌舞伎繪 四	三宅鳳白 六〇〇	圖五枚	芸	芸
蘭華譜中	小原榮次郎 二〇〇	二〇〇	圖一冊	小原京華堂	支那墨蹟大成 四	石川寅吉 非	圖	興文社	興文社
名作能衣裳(一)	德力富五郎 八〇〇	八〇〇	圖二枚	内田美術書肆	日本美術名作集(一)	藤井利昭 八〇〇	圖二枚	壺石洞出版部	壺石洞出版部
本願寺三六人家集 貫之集下	武田基一 二〇〇	二〇〇	圖一冊	武田墨彩堂	支那と佛蘭西美術工藝	東方文化 七〇〇	圖五枚	弘文堂書房	弘文堂書房
雛形祇園林	小岩喜代親 八五〇	八五〇	圖三冊	内田美術書肆	國寶刀劍圖譜(一五)	本間順治	圖一冊	岩波書店	岩波書店
晃勢作品集	佐藤梅軒	圖	圖	芸艸堂	日本映畫書誌	山口竹美 三五〇	圖三冊	映畫評論社	映畫評論社
法輪寺大鏡	石田茂作 二〇〇	二〇〇	圖	大塚巧藝社	ソヴェートの 藝術二十年	昇曙夢 二〇〇	圖四枚	大東出版社	大東出版社
國際グラフ	西江清正 二〇〇	二〇〇	圖	國際展望社	刀劍金工名作集信家	小倉 惣右衛門 四〇〇	圖一冊	山開	山開
新支那大觀	佐藤定勝 六〇〇	六〇〇	圖七三	誠文堂新光社	寫眞修整の實技	久米福衛 四八〇	圖一冊	支那	支那
藤原美術聚英	帝室博物館	圖	圖	便利堂印刷所	支那事變寫眞帖中篇	齊藤與五郎	圖	明治天皇	明治天皇
日本庭園圖鑑 (江戸時代中期三)	重森三玲 六〇〇	六〇〇	圖	有光社	第一回文部省美術展覽會圖録第一部日本畫	文部省 三〇〇	圖	巧藝社	巧藝社
支那墨蹟大成(七)	石川寅吉	圖	圖二五	興文社	第一回文部省美術展覽會圖録第四部美術工藝	同 六〇〇	圖	同	同
國寶刀劍圖譜(一四)	本間順治	圖	圖一〇枚	岩波書店	藝苑聚芳(六)	藝苑聚芳 三五〇	圖五枚	芸	芸
十二月					原色版現代洋畫	北原義雄 一八〇	圖一冊	アトリエ社	アトリエ社

羽子板	山田徳兵衛 一〇〇〇	圖	芸	芸	山
紀伊名所圖會(下)	貴志康親	圖八三	同	有光社	山
日本庭園史圖鑑 江戸時代 初期五	重森三玲 六〇〇	圖	有	有光社	山
すぐ役に 寫生資料	・六	圖	野	野ばら社	山
すぐ役に 圖案資料	・三	圖	同	同	山
陶器圖録(七)支那篇上	長坂金雄	圖一八	雄	山閣	山

書籍五號組標準字詰

(五號全角行)

菊判四十取	行字 數詰 十三 行字
四六半	行字 數詰 十二 行字
菊判半	行字 數詰 十三 行字
四六判四十八取	行字 數詰 十三 行字
四六判四十八取	行字 數詰 十三 行字
B四列六番	行字 數詰 十三 行字
A四列五番	行字 數詰 十四 行字
菊判	行字 數詰 十四 行字
B四列五番	行字 數詰 十五 行字
四六判	行字 數詰 十五 行字
(九ボ全角行)	行字 數詰 十五 行字

幕府時代の出版に關する制裁

徳川幕府が其出版物に關し、法に觸れた場合著者又は出版者に科する刑名は種々あつたが、其の重なるものは左の如くである。

- 一、死罪——首を斬り落すことで、庶人に處する刑名である。
- 一、切腹——自刃せしむること、俗に詰腹を切らせらるゝと云ふ、これは士人に限る。
- 一、獄門——町中引廻しの後、首を斬り落し、其の首を臺に載せて梟すことを云ふ。
- 一、流罪——遠島に處すること、伊豆の七島、其の外、遠國に放つて留ませしむること。
- 一、追放——江戸、京都、大阪などにて市外に放逐することを云ふ、重追

放、輕追放の別がある、これは範圍の廣狭による。

- 一、江戸拂——追放を云ふ、江戸十里以内に居住せしめぬのである。大阪三郷拂も同じ。
- 一、闕所——動産不動産の全部を官に沒收するのである。身上半減の闕所と云ふのもある。
- 一、閉門——門戸を閉鎖し晝夜本人及び外人の出入を禁ずるを云ふ、期間は二十日以上百日。
- 一、押込——閉門に同じで、門戸を鎖さず、只閉め置かしむるの別がある。
- 一、預——罪人として大名に預け、一家に禁錮せしむるを云ふ。幽屏、蟄居と云ふも同じである。
- 一、籠舎——揚屋入とも云ふ、牢獄に

禁錮するを云ふ。永牢とは終身禁錮の事である。

- 一、武家奉公構——士分に對する刑名で、武家に奉公することを禁ずるを云ふ、即ち浪人たらしむるのである。
 - 一、過料——過怠罪として納むる料金即ち罪金の事である。金額は三貫文以上二十貫文以下。
 - 一、敲——重追放の附加刑である、答にて尻を五十度或は百度打つ事を云ふ。
 - 一、叱——單に「叱り」と云ふのと「急度叱り」との二ツあつた、譴責して放免することを云ふ。
- 著者或は出版者が以上の刑罰に處せられた時は、其の板本は悉く絶版となるのである。絶版とは板木及び印本を押し收して破毀又は燒棄するを云ふ爾後の賣買は無論禁止せらるゝのである。

(二七) 音樂・映畫・演劇

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
一月				
兒童ヴァイオリン曲集	門馬直衛	一・五圓	三四	春秋社
ラムパト 現代音樂論	太田黒元雄	一・五圓	三五	第一書房
日本新民謡曲集	町田嘉章	一・五圓	三六	春秋社
三月				
松のみどり	松本幸四郎	非	四三	法木書店
能樂史料 (四) 隣忠秘抄	坂元雪鳥	一・五圓	四三	わんや書店
ヴァイオリン協奏曲集	神田龍一	一・五圓	三七	春秋社
世界新歌曲集	門馬直衛	一・五圓	三四	同
明治の演劇	秋庭太郎	一・五圓	一六	中西書店
四月				
日本獨唱曲集(一)	山田耕梓	一・五圓	三三	春秋社
ピアノノ聯彈曲集	門馬直衛	一・五圓	一八	同
東都明治演劇史	秋庭太郎	五・〇圓	三三	中西書店
五月				
中等ピアノノ曲集	門馬直衛	一・五圓	一六	春秋社
世界合唱曲集	矢田部勁吉	一・五圓	二四	同
音樂論	守田正義	一・八圓	二六	三笠書房
松のみどり	松本幸四郎	二・三圓	四三	法木書店
八國民歌謡集(四)	河本逸童	一・三圓	三七	同
箏の譜本 鶴の巢籠り	同	一・三圓	三三	東京尺八會
箏の譜本 紀元節	同	一・三圓	三三	東京尺八會
クレシヨフ映畫監督論	馬上義太郎	一・五圓	二五	河本逸童
日本舞踊文化史	麻田滿洲野	三・〇圓	三五	新陽社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
能樂全史中卷	横井春野	三〇〇	四六六	わんや書店
歌舞伎逸話	法月歌客	一七〇	四三三	信正社
日本演劇史論叢	東京帝國大學演劇學會	四〇〇	四〇七	巧藝社
六月				
ギター奏法入門	藤原駿逸	一〇〇	一三〇	白眉出版社
日本新歌曲集	箕作秋吉	一五〇	三三六	秋社
ピアノ協奏曲集(一)	門馬直衛	同	同	同
能樂全史下	横井春野	二〇〇	四〇六	わんや書店
私の能舞臺	松野奏風	四〇〇	同	謡曲界發行所
西洋音樂史概説	飯田忠純	二二〇	四七二	音樂世界社
學藝隨筆	中村吉藏	一五〇	四三七	東宛書房
映畫俳優論	馬義太郎	一六〇	四三〇	映畫評論社
七月				
世界ギター名曲集	大國舒光	一〇〇	同	シンフォニー樂譜出版部
書名	著譯者	定價	頁數	發行所
古賀政男作曲集	古賀政男	五〇	四	シンフォニー樂譜出版部
和洋流行歌	大國舒光	一〇〇	同	同
ギター獨奏名曲集	シンフォニー編輯部	三〇	同	同
ボケツトブック	倉重瞬輔	六〇	同	同
音樂指揮法	河村直則	五〇	同	同
河村直則第三曲集	河村直則	五〇	同	同
世界ギター名曲集	大國舒光	一〇〇	同	同
第一編 第二編	山田耕筰	一五〇	同	同
和聲樂及作曲法	山田耕筰	一五〇	同	同
日本合唱曲集	若狭萬次郎	非	同	同
新男子音樂教科書	門馬直衛	一五〇	同	同
(教授用書二)	河合武雄	二五〇	同	同
ピアノ協奏曲集(二)	伊原青々園	二〇〇	同	同
續團菊以後	伊原青々園	二〇〇	同	同
八月				
時花唄(上)	山田清作	同	同	同

世界民謡曲集(二)	門馬直衛	一五〇	三〇	春秋社
ピアノ協奏曲集(三)	同	一五〇	三三	同
能	青木節一	二〇〇	同	國際文化振興會
歌舞伎通鑑	守隨憲治	五五〇	四六	山海堂出版部
九月				
ピアノ協奏曲集(四)	門馬直衛	一八〇	三三	春秋社
日本唱歌集	本居長豫	一八〇	四二	同
名曲詳解	田邊尙雄	二八〇	四九〇	人文書院
現代音樂論	久志卓眞	一五〇	四五六	高陽書院
能樂筆陣	坂元雪鳥	二二〇	四三七	謡曲界發行所
十月				
世界民謡曲集一	門馬直衛	一八〇	四二	春秋社
家庭音樂集	ジエーム・ス・ダム	一八〇	一四	同
日本映畫樣式考	岸松雄	一六〇	四三	河出書房
現代映畫十講	菅見恒夫	一八〇	四三	映畫評論社
十一月				
少年ヴァイオリン曲集	門馬直衛	一八〇	一三	春秋社
日本童謡曲集(四)	弘田龍太郎	一八〇	三六	同
レコードによる	あらえびす	二二〇	四〇	レコード音楽社
ロマン派の音樂	同	一七〇	三六	同
世界愛國唱歌集	門馬直衛	一八〇	九三	春秋社
古典舞踊を描く	山川秀峯	六〇〇	七枚	古今堂
銃後の農村青年に懇ふ	有馬頼寧	三〇	四	河出書房
標準軍歌集	同	三〇	四	野ばら社
战友軍歌集	同	三〇	三	同
軍歌集	同	二〇	六	同
四季の劇場	金杉惇郎	一三〇	四三	沙羅書房

筆禍に因る刑罰

我國で、古來筆禍の爲めに刑罰に處せられたものは、小野篁が仁明天皇の承和四年に「西道謠」を作り、忌諱を犯し官職を免ぜられ隱岐に流された、之が最初の筆禍事件で、其の後、後白河天皇の朝に藤原通憲が唐の「安祿山」の事實二卷を圖して進覽し斬首獄門にされ、藤原光親は北條義時討伐の詔書を代作して首を斬られ、僧日蓮は「立正安國論」を草して伊豆に流謫され、秀吉の朝鮮征伐の時、明使沈惟敬の奉呈した國書中「茲に特に爾を封じて日本國王と爲す」と云ふに至り、秀吉は激怒し其の國書を奪ひ地に擲ち、再び朝鮮膺懲の大軍を送り、清韓和尚の京都方廣寺大佛の鐘銘に「國家安康」の四字は家康を呪うて命を縮めんとするものなりと羅織附會し、之を辭柄として

大阪役を遊發する等。種々なる史實がある。徳川幕府時代となつて筆禍の爲めに刑罰に處せられた其の重なるものは次の如くである。

Table with columns for book names, authors, and punishments. Includes titles like '聖教餘録', '江戸繁昌記', '三國通覽圖說' and authors like '山鹿素行', '寺門靜軒', '林平子'.

Table with columns for book names, authors, and punishments. Includes titles like '仕懸文庫', '俠太平記向鉢卷', '懷中道しるべ' and authors like '山東京傳', '式亭三馬', '角丸屋甚兵衛'.

(二八) 運動

Main table listing books on sports. Columns include month, book name, author, price, page count, publisher, and a detailed section for 'テニス' (Tennis) with sub-columns for book name, author, price, page count, and publisher.

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
體位向上運動の體驗 ナンダ・コツト登攀	日比野寛	一・八〇	圖三二	成人教育會
九月	竹節作大	三・五〇	圖二〇	大阪每日新聞社
日本劍道と西洋劍技	中山博道	三・五〇	圖一九	審美書院
姿勢矯正體育	高橋律之助	三・〇〇	圖二〇	三教書院
十月	若返心身改造法	非	圖二〇	古崎通貞
十一月	山岳展	望	深田久彌	三省堂

(二九) 娛樂・趣味

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	
茶道全集卷の一二 文獻篇	矢部良策	圖七六	創元社	元社	
五月	茶道讀本	淺尾嵐翠	一・五〇	圖三三	藝社
六月	圍碁の研究 (玄覽機山夜話)	木谷實久 保松勝喜代	二・〇〇	圖三六	博文館
大斜定石上	本因坊秀哉	圖三四	誠文堂新光社	誠文堂新光社	
七月	訂改庭の造り方	龍居松之助	二・五〇	圖三六	雄山閣
圍碁三昧	高橋桂二	二・〇〇	圖三六	厚生閣	

書籍仕上寸法標準

菊四	四六	菊半	四六	四六	四六	A列	菊	B列	四六
十取	半取	半取	四取	四取	四取	五番	判	五番	倍判
橫	縱	橫	縱	橫	縱	橫	縱	橫	縱
二寸	四寸	三寸	四寸	三寸	四寸	四寸	六寸	六寸	八寸
八分	九分	三分	七分	三分	七分	二分	八分	八分	五分
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	
盆裁讀本	清水長郷	二・〇〇	圖三七	博文館	
八月	名局解説(上)	本因坊秀哉	圖三〇	誠文堂新光社	
九月	昭和北野大茶湯圖錄	八木清八	圖	北野大茶湯三百年紀念獻茶會	
十月	海釣り河釣り 其智識と技術	水上梅彦	二・八〇	圖	杉山書店
十一月	山は朗らか	村崎勝行	・八〇	圖一九	朋文堂
十二月	山岳漫歩	春日春吉	・八〇	圖三五	同
	編物基本精説	木暮田鵬 木村けい	三・八〇	圖五〇	杉山書店

雑誌の頁数が多過ぎる

日本の雑誌は頁数が一番多い國だと云はれてゐる、歐米の一流雑誌に比べると少なくとも三倍の厚さがある。増刊號のときなどは五倍以上のページである。

しかし、かゝる量の優越は必ずしも質の優越を語るものではない。雑誌の機能或は能率の點からいふならば、劣ると許せられても致し方がないやうだ。かりに、歐米の一流誌が、全讀者に對して平均七割の内容を讀ませるものとすれば、我國のそれは三割もむづかしいのではないか？ 二倍の排水量で同等の砲力しか備へない軍艦は、設計が劣つてゐるといふ外はあるまい。一言にして盡せば、日本の一流誌はバル

キーである。でん粉が多過ぎる形だ。歐米のそれが、腹八分目で十分のカロリーを撮らせるのに反し我は、柱にもたれる程の分量を食へさせてなほ残肴をなし、しかも消化しないものもあつて、滋養價はそれほどでないといへる

無論、雑誌の當事者は、この事勢を百も承知なのだ。お國柄致し方なしと考へてゐるのであらう。お國柄とはいもや大根をいふのではない。店頭の體験を指すのだ。同じ値段なら手にとつて重い方、厚い方が明かに賣行がいゝのだから文句のつけようがない。その結果、總合雑誌携行不便の厚さとなり、盛り澤山のトン數主義を採用する

ことになる。その責多く讀者にあるか。

以上は雑誌の能率から見た主觀評である。立派な原稿を小さく載せ、頁數を半減して今日の部數を維持し得るならやゝ理想であらう。しかし、讀者の「厚いもの好み」の背景以外に、日本には雑誌の分量主義を要求する客觀的事由がいくらかもあるやうだ。人口が多い。準フリー・ランサーも多い。それに糧を與へて文運をさかんならしめる作用も必要であらう。また讀者の智識層が高低區々その差が著るしく欲望また然り、雑誌の能率は別として、讀者への奉仕は再び確認されねばならない。更に、日本の新聞の方は、歐米のそれに比して三分一以下のページ數しかない。その敗北(?)を雑誌が返してゐる姿だ。正に、主力艦の不足を補助艦が補つてゐるやうなものである。

(三〇) 家政・婦人讀物

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
一月 實踐榮養と調理	有本邦太郎 進藤眞砂	二・八〇	四三	創文社
三月 婚姻習俗語彙	柳田國男 大間知篤三	一・五〇	四三	民間傳承の會
四月 母の學ぶ書	村岡花子 太田武夫	一・三〇	四三	建設社
母なれば	伊福部敬子	一・五〇	四三	教材社
裁縫學習原論	酒井のぶ子	三・五〇	四三	東洋圖書株式會社
五月 日本女性讀本	菊池寛	一・三〇	四三	東京日日新聞發行所
六月 妻のための性知識	性知識普及會 W.R.ウオルフ	一・八〇	四九	高千穂出版社
夫婦愛情讀本	永井直二譯	一・五〇	四三	偕成社
母のため子のため	帆足みゆき	一・四〇	四三	新成生堂
七月 女のこころ女から	式場隆三郎	一・五〇	四三	ユマンテ書閣
岩妻の書	黒川次郎譯	一・〇〇	四三	玄林社
アパート・ライフ	内藤一郎	一・〇〇	四三	住宅問題社
團體基本料理法	陸軍糧秣本廠	一・五〇	四九	糧友會
日本女性の道	小倉鏗爾	一・三〇	四三	錦正社
現代女性訓	徳富猪一郎	一・五〇	四三	民友社
八月 漁村衛生讀本	斯波敦 篠原孝明	一・六〇	四三	燒津漁業協同組合
新世界の建設と婦人	エミイ・フロイン 押川美香譯	一・二〇	四三	日本消費組合婦人協會

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
女諸禮集(一)	山田清作	非	四〇	米山堂
九 月				
家庭サナトリウム (前編)	中野政平	二・三〇	四六	友社
夫婦性愛讀本	鶴田愛山	・五	四二	太陽出版社
創造人生觀選集三結婚の智慧・夫婦の性生活	石丸椿平	一・八〇	四九	人生創造社
女諸禮集(二)	山田清作	非	四三	米山堂
十月				
母の書	市河源三	一・三〇	四九	大日本出版社
日本婦人の道	高島きくの		四	大阪府思想問題研究会
十一月				
自律的陶冶への家事科經營要義	山口啓市 永原マツヨ	三・八〇	四三	明文堂
十二月				
事變後の大衆生活	山田三郎	・三〇	四一	六人社
夫婦と親子	片山保斗里	一・五〇	四一	越山重定
續美味求真	木下謙次郎	三・五〇	四六	中央公論社
女諸禮集(三)	山田清作	非	四〇	米山堂

(三二) 叢書

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
一月				
日本先哲叢書(四) 土規七則他四篇	吉田寅次郎	・八〇	四一	廣文堂書店
英語教育叢書(六)	岡倉由三郎 他四名		五箱入	研究社
愛媛縣先哲偉人叢書 (四)	影浦直孝	二・〇〇	四三	松山堂書店
舞臺叢書(五) 新もぢすり石	作間 眞	・五〇	四一	舞臺社
三月				
自治行政叢書六 財務行政 六	木村清司	非	五七	常磐書房
南安曇郡郷土調査叢書 (二) 佛像寫眞集	小松 進	七・〇〇	三三	郷土研究社
賣藥叢書(一)	藤井 潔	二・〇〇	四四	新大衆衛生社
四月				
南方國策叢書(一八) 南方の生命線を視察して	武富邦茂	非	四三	南方經濟調查會
彌彥神社叢書	富岡要太郎	非	三三	彌彥神社
九州文壇叢書 卯のある風景	水浦充太郎	・三〇	四一	九州文壇社
經濟研究叢書 八三 植民地再分割問題	矢内原忠雄		四	經濟研究會
生活と精神の科學叢書 一五 經濟心理學	栗林宇一	二・五〇	三三	東宛書房
五月				
諏訪史料叢書(二六) 西哲叢書(五) アウグスティヌス 自治行政叢書(一五) 農林行政 上	諏訪史料叢書刊行會	非	三三	叢書刊行會
松村克己	一・三〇	四三	弘文堂書房	
田中長茂	非	三三	常磐書房	
六月				
實用林業叢書三 木材商業	藪部一郎	一・五〇	四三	明文堂
映畫教育叢書五 映畫藝術概論	三浦伊八郎 岩崎 昶	一・〇〇	四一	成美堂
八月				

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
肥前叢書(一)	肥前史談會		四〇〇	肥前史談會
崗部三浦實用林業叢書	三浦伊八郎	一・五〇	四三三	明文堂
自治行政叢書一八	小池善次郎		五九	常磐書房
西哲叢書一一	土井虎賀壽	一・三〇	四三三	弘文堂書房
安筑史料叢書(一)	安筑史料叢書刊行會		二五	高美書店
實驗短波工學叢書四	高瀬芳郷	一・五〇	三三	誠文堂新光社
西哲叢書七テカルト	野田又夫	一・三〇	四三三	弘文堂書房
教育科學叢書一〇	大日本學術協會	一・八〇	三六	モナス
最新訓練法提要				
農藝相談叢書	伊藤帷吉	二・〇〇	四三三	文館
養鶏家禽相談				
西哲叢書一六	木村素衛	一・三〇	四三三	弘文堂書房
フイヒテ				
南洋叢書一	佐田弘治郎	二・五〇	五〇	東亞經濟調查局
蘭領東印度篇				
實驗漢方醫學叢書	矢數有道	三・〇〇	三三	春陽堂書店
總論編				
畜産・加工叢書一	三島康七	三・五〇	三五	育生社
十月	商業研究所叢書五			
山西省の工業發展	生島廣治郎	一・三〇	八	大阪寶文館
英語教育叢書	石川林四郎		一三	研究社
英語教育の理論と問題	藤野惠		四三	常磐書房
自治行政叢書十一	持永義夫	非	四三	常磐書房
十一月	合科教育研究叢書四			
合科學習の實踐	木下竹次	一・五〇	三六	成美堂書店
教育科學叢書一二	大日本學術協會	三・〇〇	五六	モナス
最新養護體育法汎論	弓削達勝	五〇	三八	波邊翁記念文化協會
歐洲政治の現況三他篇	諏訪教育會	非	二三	鮎澤印刷所
十二月	南洋叢書二			
佛領印度支那篇	佐田弘治郎	二・〇〇	三〇	東亞經濟調查局
支那叢書(二)	入澤達吉	一・八〇	四四	三笠書房

(三三二) 講座

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
一月	巡查部長登用警部警部補考試驗綜合講座三			
淺井忠吉				
食物講座(九)	長坂金雄			
公民講座	福田悌夫	一・八〇	三九	白銀日新堂本店
巡查部長登用警部警部補考試驗綜合講座二	淺井忠吉			
師範大學講座體育改	田中寛一			
正體操教授要目解説六	寺澤嚴男			
巡查部長登用警部警部補考試驗綜合講座四	淺井忠吉			
佛教科古學講座九	長坂金雄			
日本大學藝術科講座	日本大學			
アマチュア寫眞講座(五)	佐和九郎	二・〇〇	二六	アールス
二月	改撰公民科教材及教授法講座(一〇)			
工業經營講座(九)	龜井辰雄	一・五〇	三四	中文館書店
改撰公民科教材及教授法講座(十一)	漢詩大講座(四)			
作詩資料語彙(上)	大の講座	日本大篇		
圍碁大講座(五)	鈴木爲次郎			
修正地理學講座(四)	田中館秀			
小學教育大講座(三)	佐藤末吉	一・五〇	四三	非
工業經營講座(八)	岩垂至	一・五〇	三二	同
財務・工業豫算の立て方	松山芳治			
實用金屬材料講座(五)	他五名共著	非	五册	共立社
日蓮上人遺文大講座	小林一郎			
陶器講座(一七)	長坂金雄			
三月	改撰公民科教材及教授法講座(十二)			
公民教育研究會	研究會	一・五〇	三六	中文館書店
北原義雄		一・八〇	三六	アトリエ社
高久兵四郎		一・五〇	三四	新小説社
他三名				
鈴木爲次郎				
田中館秀				
他二名				
佐藤末吉		一・五〇	四三	非
岩垂至		一・五〇	三二	同
松山芳治				
他五名共著		非	五册	共立社
小林一郎				
長坂金雄				

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
佛教考古學講座(一〇)	長坂金雄		園箱入	雄山閣	兒童と社會生活(六)	鈴木清	・九〇	園一六	同
岩波講座 國語教育(六)	岩波茂雄		園箱入	岩波書店	陶器講座(一八)	長坂金雄		園三五	雄山閣
小學教育大講座(九)	堂東傳一吾		園三七	凡閣	アマチニア寫眞講座七 最新現象法	佐和九郎	二〇〇	園二六	アールス
工業經營講座(三)	神馬新七郎	一・五〇	園三三	同	地理學講座(五)	藤本治義 他二名		園箱入	地人書館
工業の管理組織 工業の組織組織									
食物講座(一〇)	長坂金雄		園	雄山閣	四月				
實用金屬材料講座(六)	濱住松二郎 他二名	非	園箱入	共立社	商業美術講座(一)	濱田増治	二〇〇	園一九	アトリエ社
アルス土木工學大講座(一〇)	橋本敬之	二・五〇	園四三	アールス	工業經營講座(十一)	谷田美樹 松本晃二郎	一・五〇	園三六	非凡閣
教育方法學講座(一)	和田利彦	一・八〇	園	春陽堂書店	小學教育大講座 十一 手工教育	三苦正雄	一・五〇	園三九	同
日蓮上人遺文大講座(二)	小林一郎		園四〇〇	平凡社	實用金屬材料講座 七	三島徳七 外三名	非	園四冊	共立社
機械工場實習講座 實用機械學	阿部 巽	一・五〇	園一三	太陽閣	漢詩大講座(三) 古體詩作法	北原義雄	一・八〇	園三六	アトリエ社
熔接工學講座(四)	氏家竹次郎 外四名		園四冊	同	食物講座(十一)	長坂金雄		園	雄山閣
漢詩大講座(四)	北原義雄	一・八〇	園二九	アトリエ社	日本現代文章講座 技術術篇	前木一男		園四〇〇	厚生閣
作詩資料及語彙(下)	星合正治		園三五	オーム社	アルス土木工學大講座 水道	岩崎富久	二・五〇	園二五	アールス
新興基礎電氣工學講座 電子管(其一) 一 兒童教育講座(二) 兒童の智能	久保良英	・九〇	園二五七	叢文閣	日蓮上人遺文大講座(五)	小林一郎		園三七	平凡社

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
商業經營指導講座 圖說天文講座 上 星	東京商工會議所	三・八〇	園四九	森山書店	日本現代文章講座 構成篇	前木一男		園四〇三	厚生閣
園基大講座(六)	鈴木爲次郎 木谷 實		園三五	恒星閣	岩波國語教育(八)	岩波茂雄		園箱入	岩波書店
岩波講座 國語教育(七)	岩波茂雄		園五冊	岩波書店	食物講座(一二)	長坂金雄		園	雄山閣
アマチニア寫眞講座八 今日の引伸	佐和九郎	二〇〇	園二七	アールス	商業美術講座(二)	濱田正治	二〇〇	園	アトリエ社
教育方法學講座(二)	和田利彦	一・八〇	園	春陽堂書店	近代美術思潮講座(一)	相良徳三	二〇〇	園二五	同
修正地理學講座(六)	上條 勇		園箱入	地人書館	陶器講座(一九)	長坂金雄		園四七	雄山閣
五月					弓道講座(一)	同		園	同
小學教育大講座(四) 綴方教育	田中豊太郎		園三二	非凡閣	岩波講座 國語教育(九)	岩波茂雄		園九冊	岩波書店
修正地理學講座(七)	松尾俊郎 他二名		園箱入	地人書館	日本佛教講座	顯眞學苑	一・五〇	園三三	顯眞學苑
日本現代文章講座 方法篇	前木一男		園四八	原生閣	佛教考古學講座(十二)	長坂金雄		園	雄山閣
日蓮上人遺文大講座(八)	小林一郎		園四二	平凡社	實用冷凍講座下	高橋照文	七〇〇	園七五	日本冷凍協會
寫眞實技大講座 三 小型カメラの寫し方・使ひ方	木村伊兵衛	二・三〇	園二七	玄光社	實用精密機械講座 兵器器	太田成三		園三八	誠文堂新光社
教育方法學講座(三)	和田利彦	一・八〇	園	春陽堂書店	電子工學講座(二)	杉浦義勝 他二名		園箱入	共立社
實用金屬材料講座(八)	吉川晴十 他四名	非	園箱入	共立社	アマチニア寫眞講座九 小型カメラ寫眞術	佐和九郎	二〇〇	園二七	アールス

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	
文藝作り方講座(七)	日本文藝研究会	一・五〇	四二〇	櫻華社出版部	漢詩大講座(一〇)	北原義雄	二・〇〇	四三三	アトリエ社	
小學教育大講座(八)	佐藤保太郎	一・五〇	四三六	凡閣	明治大正名詩選(前編)	石井柏亭	二・〇〇	四一五	同	
近代美術思潮講座(二)	荒城季夫	二・〇〇	四二五	アトリエ社	洋畫實技講座(二)	伊原宇三郎	二・〇〇	四二二	同	
素描・洋畫實技講座(一)	石井柏亭	二・〇〇	四一七	同	近代美術思想講座(三)	岩波茂雄	二・〇〇	四二二	同	
園芸大講座(七)	鈴木爲次郎	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	岩波國語教育(一〇〇)	宮邊富次郎	一・五〇	四一八	岩波書店	
食物講座(一三)	長坂金雄	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	生物學實驗法講座(一)	前本一男	一・五〇	四一三	同	
日蓮上人遺文大講座(十三)	小林一郎	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	日本現代文章講座(一)	池松良雄	一・五〇	四一三	同	
實用金屬材料講座(九)	山田良之助	非	四一七	誠文堂新光社	算術教育	前本一男	一・五〇	四一三	同	
アルス土木工学大講座(二)	鶴岡鶴吉	二・五〇	四一七	誠文堂新光社	小學教育大講座(六)	池松良雄	一・五〇	四一三	同	
修正地理學講座(八)	飯本信之	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	アマチニア寫眞講座(二)	佐和九郎	二・〇〇	四一三	同	
工業經營講座(四)	佐藤富治	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	寫眞術の秘訣要點	眞繼不二夫	二・三〇	四一三	同	
人事管理總論・産業心理	淡路圓治郎	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	寫眞術の秘訣要點	眞繼不二夫	二・三〇	四一三	同	
熔接工学講座(五)	青木楠男	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	工業經營講座(七)	原價計算工業簿記	一・五〇	四一三	同	
寫眞科學講座(一)	宮田道弘	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	陶器講座(二〇)	圖說天文講座	銀河と宇宙	一・五〇	四一三	同
材料・小型活動寫眞	石動道弘	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	機械工場實習講座	ケガキと手仕上	實用金屬材料講座(九)	武田修三	一・五〇	四一三

八月

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
弓道講座(二)	長坂金雄	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	修正地理學講座(一〇)	川村多實二	一・五〇	四一三	同
修正地理學講座(九)	富田芳郎	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	小學教育大講座(二)	川島次郎	一・五〇	四一三	同
日蓮上人遺文大講座(三)	小林一郎	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	修身教育	高橋正一	一・五〇	四一三	同
教育方法學講座(四)	和田利彦	一・八〇	四一七	誠文堂新光社	電子工学講座(三)	石井柏亭	二・〇〇	四一三	同
寫眞科學講座(二)	宮本五郎	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	洋畫實技講座(上)	鈴木爲次郎	二・〇〇	四一三	同
アルス土木工学大講座(一)	田口湖三郎	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	工業經營講座(一)	池田壽太郎	一・五〇	四一三	同
商業美術講座(三)	濱田増治	二・〇〇	四一七	誠文堂新光社	企業形態・工業經營總論	松岡久雄	一・五〇	四一三	同
近代美術思潮講座(四)	福澤一郎	二・〇〇	四一七	誠文堂新光社	圖說天文講座(七)	山本一清	一・五〇	四一三	同
生物學實驗法講座(二)	宮邊富次郎	二・〇〇	四一七	誠文堂新光社	觀測機械と天文臺	山本一清	一・五〇	四一三	同
寫眞實技大講座(スナツ)	渡邊義雄	二・三〇	四一七	誠文堂新光社	日蓮上人遺文大講座(二)	小林一郎	一・五〇	四一三	同
寫眞の狙ひ方・寫し方	山崎壯重	二・〇〇	四一七	誠文堂新光社	日本現代文章講座(原理篇)	前本一男	一・五〇	四一三	同
外國人迎接の心得・刻	本野盛一	二・〇〇	四一七	誠文堂新光社	熔接工学講座(二)	岡本弘平	一・五〇	四一三	同
下の外交問題に就て	長坂金雄	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	電氣熔接機器	安藤弘平	一・五〇	四一三	同
食物講座(一四)	岩波茂雄	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	電弧熔接工場設備	中村林次	一・五〇	四一三	同
岩波講座	岩波茂雄	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	金屬及び合金の熔接	大西巖	一・五〇	四一三	同
國語教育(十一)	岩波茂雄	一・五〇	四一七	誠文堂新光社	寫眞科學講座(三)	長濱慶三	一・五〇	四一三	同
日本刃講座(別卷四)	桑原羊次郎	二・五〇	四一七	誠文堂新光社	寫眞科學講座(三)	淺井忠吉	一・五〇	四一三	同

九月

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
警察講習講義錄(十一)	淺井忠吉	一・五〇	一冊	日本警務學會	寫真實技大講座(六)	下島勝信	二・三〇	一冊	玄光社
新興基礎電氣工學講座	星合正治	一・五〇	二冊	オーム社	風景撮影の實際(二)	他二名	二・三〇	一冊	玄光社
電子管其ノ二	上條 勇	一・五〇	四冊	地人書館	佛敎考古學講座(一二)	長坂金雄	一・五〇	一冊	雄山閣
修正地理學講座(十一)	長坂金雄	一・五〇	箱入	最新工場經營講座大全	坂口芳夫	二・五〇	一冊	時事通信社	
陶器講座(二)	井上武士	一・五〇	箱入	電子工學講座	千葉茂太郎	一・五〇	一冊	共立社	
小學教育大講座(一)	岩波茂雄	一・五〇	箱入	眞空管 回路	長島躬行	一・五〇	一冊	共立社	
音樂教育	前本一男	一・五〇	箱入	同	長江信光	一・五〇	一冊	共立社	
岩波講座	長坂金雄	一・五〇	箱入	陰極線式テレビジョン	隈江信光	一・五〇	一冊	共立社	
國語教育(一二)	小倉康臣	一・五〇	箱入	小學教育大講座(七)	平山復二郎	一・五〇	一冊	共立社	
日本現代文章講座	宮邊富次郎	一・五〇	箱入	地理教育	磯崎傳作	一・五〇	一冊	共立社	
(指導、篇)	横山武人	一・五〇	箱入	アルス土木工學大講座	石井柏亭	一・五〇	一冊	共立社	
食物講座(一五)	沼正治	一・五〇	箱入	五土木施工法	上條 勇	一・五〇	一冊	共立社	
工業經營講座(六)	澤井寛一	一・五〇	箱入	洋畫實技講座(四)	濱田増治	一・五〇	一冊	共立社	
科學的管理法・賃銀制度	藤田文太郎	一・五〇	箱入	油 繪 下	新關庄藏	一・五〇	一冊	共立社	
生物學實驗法講座(三)	田中正道	一・五〇	箱入	修正地理學講座(一二)	伊豆公夫	一・五〇	一冊	共立社	
實修機械工學講座(一)	石井柏亭	一・五〇	箱入	商業美術講座(四)	松下芳男	一・五〇	一冊	共立社	
機械工場實習講座甲	ニ・〇〇	一・五〇	箱入	慶應義塾 經濟學一	宮邊富次郎	一・五〇	一冊	共立社	
一六 熔解爐と加熱爐		一・五〇	箱入	日本 講座 三		一・五〇	一冊	共立社	
電子工學講座(四)		一・五〇	箱入	生物學實驗法講座(四)		一・五〇	一冊	共立社	
洋畫實技講座(五)		一・五〇	箱入			一・五〇	一冊	共立社	
西洋繪畫史		一・五〇	箱入			一・五〇	一冊	共立社	

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
弓道講座(四)	長坂金雄	一・五〇	一冊	雄山閣	生物學實驗法講座(五)	他二名	二・三〇	一冊	雄山閣
圖說天文講座	山本一清	一・五〇	一冊	雄山閣	十二月	山本一清	二・三〇	一冊	雄山閣
東西天文學史	池邊賢司	一・五〇	一冊	大阪府神道	圖說天文講座	太陽・日食と月食	二・三〇	一冊	雄山閣
神道大學講座講義錄下	長谷川三郎	二・〇〇	一冊	各教聯合會	天球と星座	同	二・三〇	一冊	雄山閣
近代美術思潮講座(六)	前本一男	一・五〇	一冊	アトリエ社	軌近高等數學講座(一二)	坂井英太郎	一・五〇	一冊	共立社
アストラクトアート		一・五〇	一冊	同	微積分學(中)	同	一・五〇	一冊	共立社
日本現代文章講座		一・五〇	一冊	同	微積分學(下)	同	一・五〇	一冊	共立社
鑑賞篇		一・五〇	一冊	同	修正地理學講座(一四)	加藤武夫	一・五〇	一冊	共立社
十一月		一・五〇	一冊	同	生物學實驗法講座(六)	大槻虎男	一・五〇	一冊	共立社
食物講座(一六)	長坂金雄	一・五〇	一冊	雄山閣	戰時準戰時經濟講座(三)	東亞經濟	一・五〇	一冊	共立社
日本現代文章講座	編生 閣	一・五〇	一冊	雄山閣	支那・滿洲經濟研究	齋藤鶴兒	二・五〇	一冊	共立社
組織篇	長坂金雄	一・五〇	一冊	雄山閣	寫真實技大講座(一)	福島信之助	一・五〇	一冊	共立社
佛敎考古學講座(一三)	高橋甚也	二・八〇	一冊	雄山閣	寫真實技大講座(秘訣)	他二名	一・五〇	一冊	共立社
アルス土木工學大講座	阿部 勇	一・五〇	一冊	雄山閣	寫真科學講座(四)	福島信之助	一・五〇	一冊	共立社
戰時準戰時經濟講座(六)	吉川速男	二・五〇	一冊	雄山閣	歷史教育講座(一四)	松原郁二	一・五〇	一冊	共立社
戰時準戰時財政	他二名	二・五〇	一冊	雄山閣	小學教育大講座(一〇)	長坂金雄	一・五〇	一冊	共立社
寫真實技大講座(一)	上條 勇	一・五〇	一冊	雄山閣	陶器講座(二二)	田中重芳	一・五〇	一冊	共立社
攝影の實際	熊井甚太郎	一・五〇	一冊	雄山閣	實修機械工學講座(三)	外三名	一・五〇	一冊	共立社
修正地理學講座(一三)	他二名	一・五〇	一冊	雄山閣			一・五〇	一冊	共立社
小學教育大講座(一)	柳提重男	一・五〇	一冊	雄山閣			一・五〇	一冊	共立社
實修機械工學講座(二)	他二名	一・五〇	一冊	雄山閣			一・五〇	一冊	共立社

☆ 誌雜刊月大四の社文啓 ☆

主筆 吉田苞竹先生

月刊書道教育

定価十四錢
送料二錢

書道界の重鎮たる吉田苞竹先生主筆の書道教育に關する唯一の月刊雜誌。亂林せる書道雜誌に今日まで見られなかつた教育書道に重點を置くのが、本誌の一大特色である。

月刊理科教育

定価十四錢
送料二錢

本誌が理科教育振興の爲斯界に君臨し、七星霜、時局が科學教育の重大さを直觀せしめてゐる今日、本誌の存在は理科教育關係者は言ふに及ばず全教育界にとつての一大福音であらう。

月刊實踐國語教育

定価十四錢
送料二錢

國語の力は國民を形成する力である。本誌は讀方・綴方の基礎的な學理と精細なる實踐とを明示し、今日明日の教育實踐の活力の源泉を與へる、國語教育權威の月刊雜誌！

月刊講話揭示教育

定価十二錢
送料一錢

本誌は毎月の學校學級行事・講話及揭示資料は勿論、日常生起する幾多の社會事象より教育的に見て最も妥當なるものをピックアップした、絶好の生きた教材資料雜誌！

九〇九

社文啓

東京市本郷區元町二
振替東京三七八七六

發行所

講座

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所
佛教考古學講座(一四) 漢詩大講座一〇 明治大正名詩選 後編 佛教考古學講座(十五)	長坂金雄 北原義雄 長坂金雄	二〇〇 二〇〇	圖 圖 圖	雄山閣 アトリエ社 雄山閣

九〇八

レコードの圓盤に出版法適用

卑俗な流行歌取締に就て内務省當局に於ては例のビクター渡邊はま子の「忘れちゃいやよ」を昨年六月發賣禁止に處して以來國民に健全なる精神を養成する見地から嚴重にレコードの取締に當つてゐたが去る六月九日から十一日にかけて連日に亘てテイチクの江戸情緒端唄(美代次吹込) コロナの流行歌喫茶娘(有島道夫) P.C.L.の流行歌縁は異なもの(千代香)の三種に嚴然出版法を適用して發賣禁止處分に附し各府縣に其の旨を通牒した。今回の出版法適用で未發賣ならば其のまゝ破棄せしめ發賣中のものはビシ／＼差押へする方針でこれからは甘つたるレコードは彈壓的統制下に於て取締ることになつた。

パール・バック代表選集

九一〇

大地

第一卷「大地」第一部
 配本中 増刷出来
 魂の底まで支那の恐ろしさが溢みわたる、支那四千年の苦惱、「大地」の壯大極まりなき序曲篇だ！

第二卷「大地」第二部
 配本中 増刷出来
 映畫の終つたところから三人の息子の時代の時代となる。これは地主と軍閥と財閥の徹底的な解剖である

第三卷「大地」第三部
 配本中 増刷出来
 「大地」は更に三代目に進む。モダン支那に果して黎明が来るであらうか。分裂を辿る支那の知識人！

譯者 新澤深居 格策正

「レ・ミゼラブル」と「戦争と平和」が出てから既に七十年、現代の最高の傑作は「大地」だ！！

豫申 約込 全金 六不 卷要
 佛蘭西裝美本 各冊
 一圓三錢

卷四第

母

フランスでもまたソヴェトでも、「大地」と全く異つた意味でこの小説をバック女史の傑作としてゐるのは、この小説が支那のドン底に喘ぐ女のしかも母性本能の高い象徴を貫いてゐるからである。

卷五第

母の肖像

これはバック女史の母の苦惱の一生を描いたものである。第一革命を初め、數度の飢饉を描破した、讀む人の魂を奪ふ深刻な支那の裏面史高貴な人間史である。

卷六第

戦へる使徒

支那の奥地で一生を布教に捧げたバック女史の父。五千萬ドルを支那の布教と教育と病院に投じたアメリカ人の活動こそ、まことに支那民衆化の得がたき記録だ。

卷七第

東の風西の風

東洋と西洋とを距てる如何ともなし難い自然の大きな旋を描いたもの。支那大洪水を描ける中篇を添へて近日發賣。

「大地」は支那を舞臺として書かれてゐるが阿蘭は特別に支那の女性と見るべきでなく、全世界の女性を代表してゐるものと見てよい。或は今一層廣く云へば、男女をこめての人間といふものが此の世の中で背負はされてゐる所の苦しき運命を代表としてゐるものと云へる。それは必ずしも大聲で泣き叫ぶ所の悲劇ではない。かうして黙々として重い荷物を背負ひつつ人生を辿つて行くのが多くの人間の運命である。阿蘭の限りなき悲しみよ、そして黙つてそれを堪へて行く辛抱強さよ、そして最後に満足したらしく夫に見守られながら逝く、彼女が逝いて、人生に空虚が出来たやうだ。同時にそれは讀者の胸に大なる空虚を拵へる。繰り返へしでありし日の記録を讀めば讀むほど慰め切れない空虚はある。私はこれほど何日迄も忘れられぬ小説を讀んだことがない。(馬場恒吾先生讀後感、「文藝春秋」より)

支那の現實を隅から隅まで描破したバック女史の作品に就いては最早贅言を要しない。今や女史の作品は讀書界を席捲し、映畫演劇に於いても正にバツク時代の出現だ。

九一一

第一書房

東京 東區 市東區 麴町六段
 電話 九一三
 支那區 四一三
 番 二四三
 町 二一四
 一三五四

書考參いよの判評に君諸の學獨ち立役くす

!!書育教の心中育訓 會溪茗推

三十年の
體驗に
立脚する
小學校訓育細案

文學博士 入澤宗壽校閱・山崎力之介著

菊判布裝四五〇頁・價二圓八十錢・送料十四錢

月刊雜誌	三博士監修 武田勤治著	乙竹博士序 中島市三郎著	大博士執筆 大久保勇市編	久澤宗壽監修 久保田清著	外五氏共著	入澤宗壽監修 久保田清著	山崎力之介著	小西重直序 山崎力之介著	入澤宗壽監修 山崎力之介著
調	近世 日本	聖教 大教育家の 人及思想	教學刷新の本義と實踐	週間 尋一學級經營 自第一別冊	體験と 反省	魂の教育實踐	學校・家 庭・校外	學校・家 庭・校外	魂を 培ふ
價	價一・三〇	價一・三〇	價二・五〇	價一・八〇	價一・八〇	價一・八〇	價一・八〇	價一・八〇	價一・八〇
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送

體驗と
思索
教育者
の人生觀

小西重直、石丸梧平校閱序・高瀬越著

四六判布裝二〇八頁・價一圓五十錢・送料十四錢

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
中江藤樹	山鹿素行	貝原益軒	水戸學派	吉田松陰	本居宣長	細井平洲	石田梅巖	仁齊・徂徠	尊徳・信淵
教育說集	教育說集	教育說集	教育說集	教育說集	教育說集	教育說集	教育說集	教育說集	教育說集
價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇	價一・五〇
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送

日本教育文庫 全十卷完成!!

第一出版協會 東京市神田區 橋本二ノ九 番五〇四二段九話電 番五五九八四東京替振

陸軍 少年航空兵 志願要訣

並最近試驗問題 模範解答 定價一圓八十錢 送料九錢

海軍 少年航空兵 志願要訣

並最近試驗問題 模範解答 定價一圓七十錢 送料九錢

最新鐵道職員志願要訣

並最近試驗問題 模範解答 定價一圓六十錢 送料九錢

全渡信講習所生徒志願要訣

並最近試驗問題 模範解答 定價一圓六十錢 送料九錢

必す出る普通文官試驗重要問題 並模範解答

時間と勞力 減虎の應卷 定價一圓二十錢 送料九錢

東京市神田區 橋本二ノ九 番五〇四二段九話電 番五五九八四東京替振

典寶の家傳・料資の養教民國

支那事變

盡忠報國感激美談

戰跡地圖
二葉挿入
四六判紙裝
四百廿二頁
定價金七拾錢
送料金拾錢

木村小舟編

忠勇義烈の將兵諸氏が、身を以て國家非常の事變に當り、血肉を盡して戰へる貴重無比の物語と、銃後報國の老幼が、私情を滅して國家に捧げし赤心とを、飾らず偽らず、悉くこれを集積し、以て盡忠報國の一大金字塔を建設す。蓋し本書は名譽將士の爲には、永世不朽の碧血碑。銃後同胞の爲には、永く兒孫訓育の、生ける教化本となる。天下萬人之を讀みて更に其感激を新にし、欽仰の念を深められんことを切望す。

支那事變

忠勇報國美談

事變日誌入
四六判紙裝
三百六十八頁
定價金七拾錢
送料金拾錢

東市京東 橋本日市京東 區橋本日市京東 町四目二番 七五七 一七五 舍文龍

普及版

愈完成!!

國學の泰斗たる鈴屋翁本居宣長先生が、金匱無缺の國體を闡明し、國民思想を善導して我大日本帝國を宇内に顯彰せし力の絶大なるは今更こゝに縷説するまでもなく世の等しく知るところである。先生在世七十二年、不朽の名著古事記傳を始め其の著實に三百餘卷に及び、孰れも後世の師表、國民の經典たらざるはない。曩に弊社は學界多年の渴望に應へ、先生の全著作に加ふるに、更は其の後繼者として學識一世に卓絶せる春庭・大平・内遠三先生の遺著を併せ收めて「増補本居宣長全集」を完輯せしが爾來十有餘年其の書全く盡きて坊間に得ること難く之が再刊の要望益々高かつたが、いまその普及版完成し最も至廉なる價格を以て提供せんとす。今や國民精神總動員、肇國の本然に還れと叫ばるゝ秋敢て全日本に奨む。

東市京東 橋本日市京東 區橋本日市京東 町四目二番 七五七 一七五 館文弘川吉

文學博士

本居豐穎校訂

全十三卷

(新菊判)

各册金二圓五十錢
送料 内地二二錢・鮮滿六二錢

增補 本居宣長全集

室伏高信全集 (全十五卷)

- 第一卷 文明の没落・第二文明の没落
 - 第二卷 土に還る・農民の書
 - 第三卷 日本論・光は東より
 - 第四卷 大衆時代の解剖・中間階級の社會學
 - 第五卷 現代文明講話・日本はどうなる
 - 第六卷 アメリカ・日本の次の一歩
 - 第七卷 支那論・支那游記
 - 第八卷 論語・孔子
 - 第九卷 莊子・日蓮
 - 第十卷 結婚の書・女性の書
 - 第十一卷 社會主義批判・共產主義批判
 - 第十二卷 三澤村日記・人間記・山の小屋から
 - 第十三卷 青年の書・現代の書
 - 第十四卷 續青年の書・新英雄傳
 - 第十五卷 南進論・戰爭論
- 各册四六判五百頁乃至六百頁
各册一圓四十錢送料十二錢分賣す！

東京市神田區小川町二ノ十
振替東京七一五〇番

發行所 青年書房

池坊華道講座全八卷

執筆者
前華道家道華本 池坊元家 華坊池元 務華坊池元 課老華坊池元 長弟門者 後藤角 藤正三 正宗一 生先

卷一第 池坊華道總論	卷二第 池坊立華篇	卷三第 池坊生花基礎篇	卷四第 池坊生花行草篇	卷五第 池坊生花草木篇	卷六第 池坊生花口傳篇	卷七第 池坊應用拋入篇	卷八第 池坊應用盛花篇
---------------	--------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

菊判・每卷二百六十七頁・五號總ふり假
名付・寫眞圖版百餘頁・堅牢箱入豪華本
各卷貳圓五拾錢・送料內一地冊十錢
（呈進本見容內） 錢一廿留書

發行所 東京市神田區小川町二ノ十
振替東京一一九六五九番
池坊華道講座刊行會

★書育教良優き高評好★

龍野定一 謹定日本 聖典	今定 助著 國體精神と教育	奈定 規著 日本師道と學校訓育	靖規 吉著 勅語 鑽仰	北澤吉 治著 ナチス祖國愛の教育	新見 治著 東洋倫理概説	山崎常 口著 國體感銘の國史教育	中野八 一著 趣味の手工教材	曹一 井著 趣味の手工教材	南雲ハ ツヨ著 趣味の手工教材	滑徳市 著 新算術書指導原論	鍋島太 郎著 算術新教育	信邊雄 著 實踐低學年の全體學習	渡邊雄 著 十六年	松石子 著 綜合保	滑昌史 著 家庭經營三十七講
送價三・八〇	送價一・八〇	送價一・〇〇	送價一・五〇	送價二・三〇	送價一・八〇	送價三・五〇	送價二・〇〇	送價二・〇〇	送價二・五〇	送價二・五〇	送價二・五〇	送價二・五〇	送價二・五〇	送價二・三〇	送價二・〇〇
川恒吉 著 尋一、二體操指導要領	谷雄地 著 尋三、四體操指導要領	茂山二 著 尋五、六體操指導要領	上辰二 著 高等科體操指導要領	鹽澤幹 著 學校體操新指導	今雄村 著 唱歌遊戯の新指導	澁井夫 著 運動會催し物選集	二井夫 著 運動會新教材	彌久吉 著 遊戯及競技	彌久吉 著 小學校體操指導要領	彌久吉 著 體操の遊戯化	體研會 著 小學校體操要目の精神と實施上の注意	體研會 著 趣味の數學遊戯	體研會 著 趣味の高等數學遊戯	滑徳市 著 趣味の高等數學遊戯	滑徳市 著 趣味の高等數學遊戯
送價一・〇〇	送價一・〇〇	送價一・〇〇	送價一・〇〇	送價一・二〇	送價二・五〇	送價二・五〇	送價二・五〇	送價一・五〇	送價一・五〇	送價一・八〇	送價一・二〇	送價一・二〇	送價一・二〇	送價一・〇〇	送價一・〇〇

東京市神田區錦町一
電話神田二四〇八番
振替東京四五八〇番

三教書院

東京市神田區錦町一
電話神田二四〇八番
振替東京四五八〇番

九二一

大日本戰史

見よ不の朽の内の容
堂々たる執筆陣

我國戰史の金字塔ここに燦然と成る！

陸軍大將 序文 林銑十郎	陸軍中將 監修 井上 一次	東京帝國大學 史料編纂所長 文學博士 監修 辻善之助	史料編纂官 編輯 高柳光壽
史料編纂官 岩橋小彌太	陸軍少將 伊田常三郎	陸軍中將 井野邊茂雄	陸軍中將 井上 一次
史料編纂官 高柳光壽	陸軍少將 竹内榮喜一	陸軍中將 辻善之助	陸軍中將 中村直勝
陸軍中將 武田秀一	陸軍少將 中村孝也	陸軍中將 中村榮孝	陸軍中將 永島福太郎
陸軍中將 高柳光壽	陸軍少將 中村直勝	陸軍中將 永島福太郎	陸軍中將 村田正志
陸軍中將 高柳光壽	陸軍少將 中村直勝	陸軍中將 永島福太郎	陸軍中將 魚澄惣五郎
陸軍中將 高柳光壽	陸軍少將 中村直勝	陸軍中將 永島福太郎	陸軍中將 桑田元次
陸軍中將 高柳光壽	陸軍少將 中村直勝	陸軍中將 永島福太郎	陸軍中將 藤井甚太郎
陸軍中將 高柳光壽	陸軍少將 中村直勝	陸軍中將 永島福太郎	陸軍中將 相田二郎

昭和十四年
三月
完結の豫定

別冊附録(定價未定)
大日本戰史年表

定價各卷 金五圓

千二十二錢

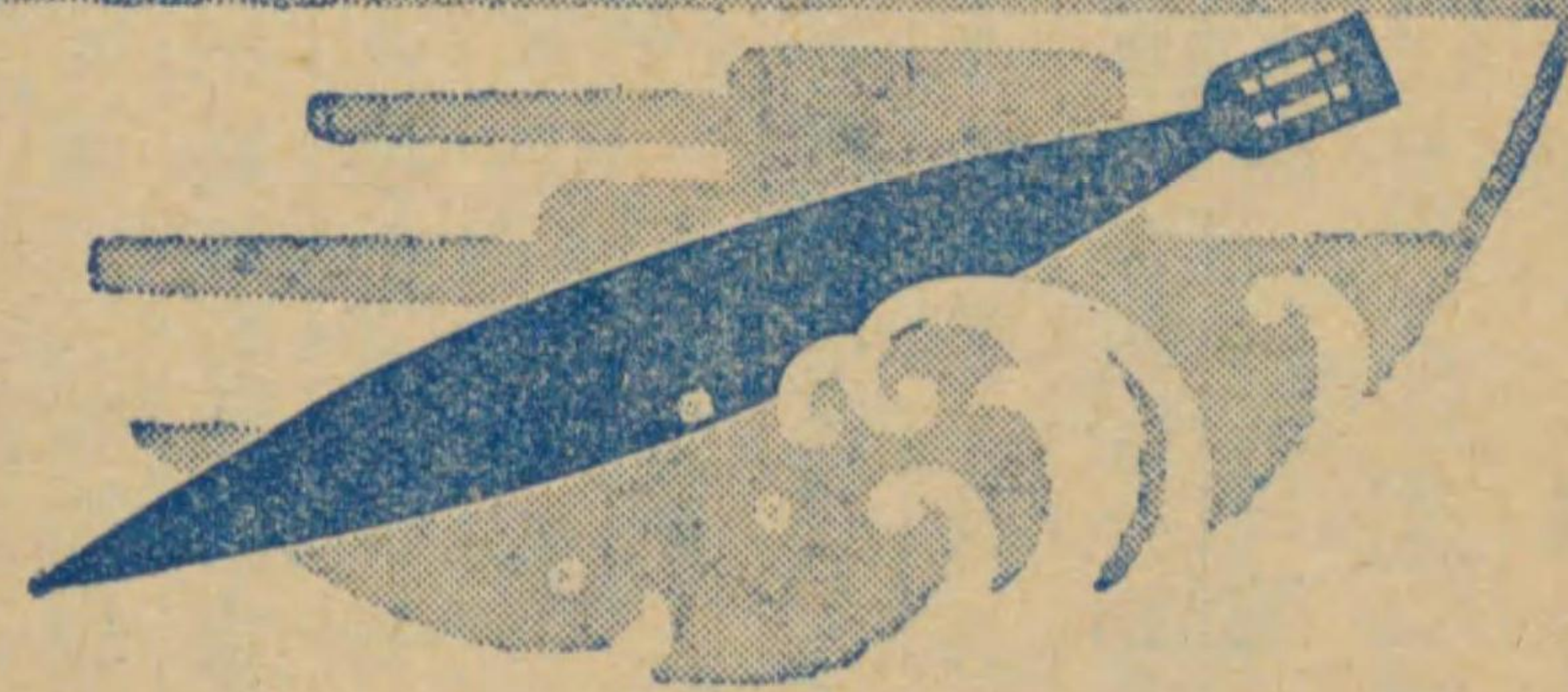
三教書院

九二〇

陸海軍用參謀本部
兵書地圖

【出版種目數千】
陸軍軍隊教科書
海軍軍隊教科書
學校教練教科書
青年學校教科書
陸海軍諸參考書
參謀本部諸地圖
海軍水路部海圖
教授用外諸地圖
在鄉軍人會圖書

全國賣捌元



川流堂 小林又七出版部

兵用圖書株式會社

東京市麴町永區田一丁目三番地
電話九二九一・九一四・一八〇八

青年學校必需教材
威あ 權る
青年學校學年教科書
陸軍省徵募課編纂
目錄贈呈 用書詳細

青年學校教練科教科書

青年學校の教練は
本書に據り全國統
一的に教育すべき
ものと制定された
る準國定教科書

生徒用 青年學校教練科教科書

別冊共 定價四〇錢
全二冊 送料 六錢

職員用 青年學校教練科指導書

別冊共 定價八〇錢
全二冊 送料 一〇錢

青年學校手帳

文部省新制定
最上の品質
最低の價格
模範準備版

男子用 特上製 (普及版) (模範標準版)

定價 八錢
一〇錢

女子用 特上製 (普及版) (模範標準版)

定價 八錢
一〇錢

上製は從來の型の精製、特製は新軍隊手牒式四方完全包製型

全國賣捌元

兵用圖書株式會社

東京市東區
九段 電話 二九九一
振替口座番 一八〇八八

東京市東區
麴町 電話 二九九一
振替口座番 一八〇八八

滿洲經濟地圖

滿洲事情案内所編纂
新聞紙四面大 九色刷極美
二百萬分ノ一人文圖と
經濟諸情勢案内圖とを
兼備せる至便の大地圖
(訂改) 折疊 實費 五〇錢
軸製 實費 一・五〇錢

權威滿蒙參考書

小林編纂部編	最新大滿洲國詳圖	軸折	一・五七〇
參謀本部編纂	滿蒙資源要覽	送價	一・〇〇
小林編纂部	北支中支詳圖	送價	三五
參謀本部編纂	日支會話	送價	二五
參謀本部編纂	日露會話	送價	三五
陸軍省藏版	日蒙會話	送價	五〇
外務省通商局	日本對外國通商地圖	送價	一・五八〇

【出版種目數千】

- 陸軍軍隊教科書
- 海軍軍隊教科書
- 學校教練教科書
- 青年訓練教練書
- 陸海軍諸參考書
- 參謀本部諸地圖
- 海軍水路部海圖
- 教授用外諸地圖
- 在鄉軍人會圖書
- 學校教練必携
- 滿蒙關係參考書

全國一書元

川流堂小又七
兵用圖書株式會社

電話九振一
口替八
座八
一〇
東八
九一
九一
番八

東麵永一
京町田ノ
市區町四

育生社・弘道閣・圖書目錄！

太田利一著	現代社會の動向と農村主要問題	二七〇頁 四六洋綴
尾崎久彌著	江戸小説の研究	五五〇頁 菊判上製
中西良夫著	子供繪卷の指導	四・五〇 送料二二
村林仁八著	遺傳の研究	三五〇頁 菊判上製
岡山秀吉著	竹工・挽物・玩具指物・彫刻・塗裝	五三〇頁 菊判上製
見坊太田著	實際農家副業大典	六六〇頁 四六判上製
日高次吉著	一般茶樹栽培と製茶	一七〇頁 四六洋綴
松井農博著	科學と趣味から見た金魚の研究	四五〇頁 菊判上製
松井農博著	實験金魚の愛玩と飼育法	二八〇頁 四六上製
山崎延吉著	山崎延吉全集(全七卷)	四〇〇頁 四六上製
山崎延吉著	我農生回顧錄	一・五〇 送料一二
解二宮尊德翁全集	全六卷 三千頁 菊判上製	廿一圓 送一・五〇

日本資本主義史論集

土屋喬雄著	日本資本主義史論集	三八〇頁 菊判上製
服部信夫著	日本マニファクチュア史論	二八〇頁 菊判上製
石濱知行著	特殊金融機關史論	四〇〇頁 菊判上製
尾崎竹猛著	日本憲政史論集	三九〇頁 菊判上製
森谷克己著	アジア的生產様式論	三五〇頁 菊判上製
關島共古島著	徭役勞働制の崩壊過程	五〇〇頁 菊判上製
ユバシ著	列強の戰時經濟政策	四二〇頁 四六上製
ヘルマンフランケ著	ナチスの戰爭論上	二二〇頁 送料一四
神田八郎著	煉乳及粉乳	三三〇頁 菊判上製
神田八郎著	乳と乳製品の營養學	三三〇頁 菊判上製
三島康七著	毛皮	二九〇頁 菊判上製
尾崎竹猛著	日本憲法制定史要	三〇〇頁 菊判上製
東京・神田・錦町三ノ二〇番	振替東京一三〇五七五番	二・五〇 送料一四

宮内省御藏版文部省本の同一頁縮刷

明治天皇御集全 昭憲皇太后御集全

◇卒業記念品、團體賞與品として大量注文殺到!!

附共録六三〇頁
特製三方金卷革
上製天金ビロード装
價五十五錢
普及版レザ
函入價四十錢
(送料各九錢)

新刊明治天皇御集全

上質紙印刷美装
三十錢(送六錢)

二宮翁夜話

殘篇共 價二十錢(送六錢)

富田高慶著

報德記

道歌解

二宮尊親著

報德分度論

以上五册合本

報德要典

菊半美裝
九二〇頁
金七十錢
(送十四錢)

◇贈呈！日暮硯野芹富國捷徑初篇合冊 切手十錢送れ

大藏次官
石渡莊太郎閣下序
大藏省・國稅課第一係長
片岡政一著

新增 稅務會計原理 附 北支事件特別稅解說

菊判總布裝 八百五十餘頁
正價四圓八十錢
送料(内地) 六十三錢
其他 六十二錢

權威ある最新の稅務會計原理出づ

著者は稅務會計なる部門の建設者である。稅務會計に關する有らゆる難問題は悉く本書に依つて解剖せられ其の原理を究めてゐる。本書の内容にすれば民間著者の類書の如きはイミテーションの域を脱しない。本書に依つて正しい回答を得られよ。著者の職務上の豊富な經驗と資料とは本書に溢れてゐる。版を重ねること四版五部を頒布したが今回全篇に亘り増額改訂し、臨時増徴法並新稅法を網羅し且北支事件特別稅法(特に物品特別稅)に付ても詳細なる解説を加へた。

「稅」主幹
久保平三郎著

例實 印紙稅法

菊判總布裝 總頁六百五十頁
定價四圓三十三錢
送料(内地) 六十三錢
外 地 六十二錢

印紙稅程難解の稅法はない、それは書式の形態よりもその使用するの方法に依つて納稅の課否が決せられるからである。當局が徹底的に檢舉の手を延ばしたならば一流會社銀行の机上にも必ずや犯則者ありと云うても過言ではあるまい。本書は會社商店に於て、現に使用しつゝある書式實例五百數十に、一々解剖のメスを加へたものであつて、本稅の大字引である。

辯護士
當山寬著

株式會社と其實務

菊判七百頁總布上製
定價七圓五十三錢
送料(内地) 五十五錢
外 地 五十三錢

本書は株式會社の生字引である。現在及將來株式會社に起り得べき實務に就ては一々實例と書式を以て説明し加ふるに法理と判例を示し就中設立、増資、減資、合併、解散等に關する實務に就ては盡して餘す所なきは勿論其の他會社百般の實務に關し全十三章五百項目に亘り細大洩れなく説明し盡してある。本書は多年三菱に在りて會社の實務に精通し現に辯護士として會社法の造詣深く斯法の權威者として法曹界に知られたる著者の苦心になれる書である。敢て會社經營者、株主、實務家各位に一本をお薦めしたい。

東京稅務監督
局法人係長 山本介太郎編

三五版四五〇頁
皮革上製
定價一圓五十錢
送料内地 八錢

ブ
騰寫印刷

帝都隨一の設備を有し親切てふ事をモットウに堅實な營業を致して居ります何卒御利用の程を
文精社プリント部
電話神田二五七二

九二七

京東替振
三三八二七

社精文

區田神市京東
六ノ二臺河駿

所行發

京東替振
番八一五五六

房書外内

區鄉本市京東
六五ノ二町木春

九二六

世界政治經濟情報

第一輯 列強の經濟的對戰準備
 第二輯 スペイン革命の全貌
 第三輯 最近の政治的難局
 第四輯 最近の極東情勢
 第五輯 最近の歐洲情勢
 第六輯 大英帝國當面の諸問題

- (譯六復澤熊)
- (1) 小説の本質 四六判 八錢
 - (2) 文藝の本質 四六判 八錢
 - (3) 文藝のジャンル 四六判 八錢
 - (4) リアリズム 四六判 八錢
 - (5) 文藝學の方法 四六判 八錢
 - (6) 短篇・長篇小説 四六判 八錢
 - (8) 戯曲の本質 一〇〇

文藝百科全書

高沖著	ニイチエと現代精神	一・五〇
山本著	ギリシア哲學者列傳	一・三〇
後藤著	哲學の生れるまで	一・〇〇
メル著	ゲ	二・五〇
田村著	近世日本交通史	二・〇〇
服部著	黒船前後	一・八〇
熊澤譯	リアリズム論争	〇・八〇
熊澤譯	リアリズム文學論	〇・八〇
熊澤譯	リアリズム文學論	〇・八〇
F・シ著	文藝學的發展と批判	一・八〇
高沖著	歐洲文藝の歴史的展望	一・五〇
相良著	歐洲美術の歴史	一・六〇
山田著	耕	一・五〇
耕	楽	一・五〇

堀江邑一譯 菊判四八〇頁
 價二・八〇 送一四

獨占資本と物價

今日の物價問題は、現代資本主義獨占資本の分析を離れては満足な解答は出ない。本書は單に現代の物價變動の原因、その影響の研究の最好資料である許りでなく、現代資本主義の真相を知る上の適切な案内書である。

熊澤復六譯 四六判二五〇頁
 價一・〇〇 送一〇

文學への道

文學とは何か？
 文學はどういふ要素から成立つてゐるか？
 といふ問に對して満足に答へてくれる便利な案内書である。これこそ新しき文學概論である。

法律研究學會篇

高文受験叢書第四篇

新體系を行政法總論解説

四六判並製
 三百八十頁
 定價金一圓二十錢
 送料金九錢

高文受験叢書第一篇・第二篇

本書は特に最新の所説及實例を取り入れ、各學説を掲げて批判し自己の態度を明かにし、成るべく法例を豊富にし、法文を適確に解釋するの力を養はしむることに意を用ひると共に、一面行政關係法規其他重要な問題に付て多くの註解を試み又出來得る限り各参考文献を示し、且つ從來施行せられたる各高等試験並に各大學の試験問題を蒐集して受験者の手引きに供する等、この行政法研究の困難なるを解決したものであつて、敢て一般受験者並に法律學生に一讀を望む。

法律研究學會篇

高文受験叢書第一篇・第二篇

天皇主體說ヲ中心トシタル帝國憲法解説

四六判並製カバー附
 各冊三八〇頁
 定價各金一圓廿錢
 送料金九錢

客觀說主觀說を對照とせる刑法總論解説

高文受験界には種々雑多の受験參考書が出てゐるが未だ受験生の要求を充分に満足せしめるものが無い、茲に於て我が法律研究學會は多年高文受験準備に惱める諸士の意見を參考として完全なる高文受験叢書の發刊を企圖した。右二書は機關說問題以來受験生の惱める憲法學說問題を解決し諸派亂立せる刑法總論の理論を比較検討して餘す處が無い。

清和書店

振替 東・替 振
 八五九八
 京番

東・京 東
 小川 町
 二

敬文堂書店

發行所 敬文堂書店
 振替 東・京 東
 三三三七七番

三〇七ノ三鴨集西區島豊京東	番七二二七九東京座口替振	店書崎長	版出書圖教督基
柏井 園著	基 督 教 史 (別冊全集)	價三〇・一四〇	
森ハルナツク	基督教神學及基督教の成立	價一〇・〇〇〇	
淺野 順一著	豫言者の研究	價一〇・一五〇	
福富啓泰 共著	ブルトマン著・イエス	價一〇・一四〇	
マヤアノ	聖パウロ	價一〇・一五〇	
征矢野 晃雄著	聖アウグスティヌスの研究	價一〇・二五〇	
高 桑 純 夫 著	聖トマス・アクィナスとその生涯及び思想	價一〇・一四〇	
角田 佳 敬 著	基督教とは何ぞや	價一〇・一四〇	
鈴木 傳助著	改革主義の信仰	價一〇・一四〇	
上田 丈 夫 著	カルヴェイニズム	價一〇・一三〇	
桑田 秀 延 著	基督教の中心問題	價一〇・一四〇	
フオルサイス 著	十字架の十字架性	價一〇・一四〇	
麻生 隆 義 著	十字架の神學	價一〇・一四〇	
山 谷 省 吾 著	我は三一の神を信ず	價一〇・二八〇	
高 倉 徳 太 郎 著	基督教世界觀	價一〇・一六〇	
高 倉 徳 太 郎 著	福音的基督教	價一〇・一〇〇	
高 倉 徳 太 郎 著	聖書の宗 教	價一〇・一〇〇	
高 倉 徳 太 郎 著	神の愛と神への愛	價一〇・一五〇	
高 倉 徳 太 郎 著	祈禱の戦場	價一〇・一五〇	
高 倉 徳 太 郎 著	決斷的信仰	價一〇・一五〇	
柏井 園著	基督の教訓及び人格	價一〇・一〇〇	
麻生 隆 義 著	パウロ書翰概説	價一〇・一〇〇	
淺野 順一著	詩篇選釋(第一卷)	價一〇・一五〇	
中川 景輝著	ロマ書の精神	價一〇・一五〇	
山 谷 省 吾 著	テサロニケ前・後書、ガラテヤ書	價一〇・一四〇	
同	コロリントン前書	價一〇・一五〇	
同	コロリントン後書	價一〇・一四〇	
高 倉 徳 太 郎 著	恩寵と眞實	價一〇・一五〇	
高 倉 徳 太 郎 著	恩寵と召命	價一〇・一四〇	
小 野 村 林 藏 著	土に芽ぐむ生命	價一〇・一五〇	
小 野 村 林 藏 著	神に憬動する心	價一〇・一四〇	
小 野 村 林 藏 著	歩道に立つ	價一〇・一四〇	
征矢野 晃雄著	信仰と道徳	價一〇・一四〇	
カール・ハイム 著	聖書の世界觀	價一〇・一〇〇	
藤田 孫太郎 著	プロテスタント神學	價一〇・一〇〇	
宮本 武彦 著	基督教的世界觀	價一〇・一〇〇	
著 者 不 詳	神と哲學的世界觀	價一〇・一〇〇	
松尾 圭 介 著	聖パウロの神學思想	價一〇・一〇〇	
由木・直方 共著	パスカル「パンセ」序説	價一〇・一〇〇	
帝大學生共助會編	森 明 選集	價一〇・一五〇	
川 添 繁 郎 著	病 床 の 樂 園	價一〇・一〇〇	
村 尾 圭 介 著	療 養 日 々 の 力 話	價一〇・一〇〇	
村 尾 圭 介 著	療 養 日 々 の 力 話	價一〇・一〇〇	
村 尾 圭 介 著	療 養 日 々 の 力 話	價一〇・一〇〇	

九三〇

文部省思想局推薦並選定 (昭和七年九月七日)

日本教育學

文部省思想局推薦並選定 (昭和七年九月七日)

文部省思想局推薦並選定 (昭和九年一月十五日)

人間學と國民教育

菊判上製 二五〇頁 定價二圓・送料十二錢

第十六版 菊判上製 四四二頁 定價貳圓八拾錢 送料二十錢

乞許自畫自讚……本書が「たゞ江湖に見ゆるや
歐米教育學模倣の濃霧は忽焉として四散し、
我が國民教育の根本原理が茲に初めて定立顯
揚せられ、昭和新日本の指導精神が炳乎とし
て耀くに至れり、宜なる哉、斯界の景仰と嘆
賞を恣にし、堂々第十四版の發兌を見たり。
乞御精讀教育學參考書……一應西洋教育思潮を
學習せられたる諸賢によつて、是が比較研究
を相願ひ、以て直ちに日本人を形成する教育
學の建設さるゝ日の一日も速かならんことを
希ふ。

文部省 近藤壽治著

教育の基礎としての現代哲學

菊判上製 三六六頁 定價貳圓五拾錢 送料十圓六錢

九三一

東京市日本橋區室町四番 寶文館 東京市日本橋區波堀通四番

！ づ 先 に 習

湯 川 弘 文 社

書 叢 生 學

錢六料送・錢五十三册各價定

算術重要問題解答	博物通論重要問題解答	化學重要問題解答	植物學重要問題解答	動物學重要問題解答	日本史重要問題解答	東洋史重要問題解答	西洋史重要問題解答	地理通論重要問題解答	世界地理重要問題解答	日本地理重要問題解答
幾何重要問題解答	英文法動詞の形と意味	受驗英文和譯註及ヒント	受驗英文和譯註及ヒント	新撰和文英譯問題解答	基礎英語問題選	一年生の英語單語集	二年生の英語單語集	三年生の英語單語集	受驗生英語重要問題及解答	附練習問題及解答

湯 川 弘 文 社

大阪市東區
大正三丁目
市南區
順正町
一丁目
丁二丁目
目九丁目
三五七〇

學 と 驗 受

湯 川 弘 文 社

書 叢 文 漢 國 釋 新

錢六料送・錢五十三册各價定

新釋 奧の細道	新釋 附芭蕉文集	新釋 增	新釋 謠	新釋 平家物語	新釋 太平記	新釋 保元平治物語	新釋 平治物語	新釋 徒然草	新釋 玉葉集	新釋 鈴屋つ	新釋 東西遊記	新釋 萬葉集	新釋 萬葉集	新釋 折たぐ柴の記	新釋 十訓抄	新釋 十六夜日記	新釋 春雨物語	新釋 古今和歌集	新釋 唐詩選
新釋 大學・中庸・孝經	新釋 唐宋八家文	新釋 先哲叢談	新釋 蒙求	新釋 文章軌範	新釋 古文真寶	新釋 現代詩歌選	新釋 山家集・金槐集	漢文解釋の要項	新釋 更科日記	新釋 竹取物語	新釋 駿臺雜話	新釋 新古今和歌集	新釋 神皇正統記	新釋 伊勢物語	新釋 樂府	附國文法試驗問題	新釋 枕草子	新釋 枕草子	新釋 花月草紙
新釋 日本外史	新釋 近古史談	新釋 十八史略	新釋 言志四錄	新釋 論	新釋 孟	新釋 小	新釋 山陽本	新釋 古事記	新釋 紫式部日記	新釋 名家紀行漢文選	新釋 近思錄	新釋 重要故事熟語集	新釋 源氏物語	新釋 東佐紀	新釋 枕草子	新釋 花月草紙	新釋 枕草子	新釋 花月草紙	新釋 花月草紙

湯 川 弘 文 社

大阪市東區
大正三丁目
市南區
順正町
一丁目
丁二丁目
目九丁目
三五七〇